

地域産業委員会  
令和2年7月15日

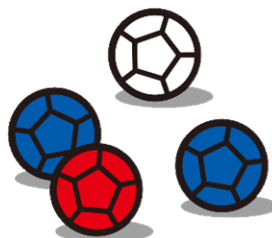
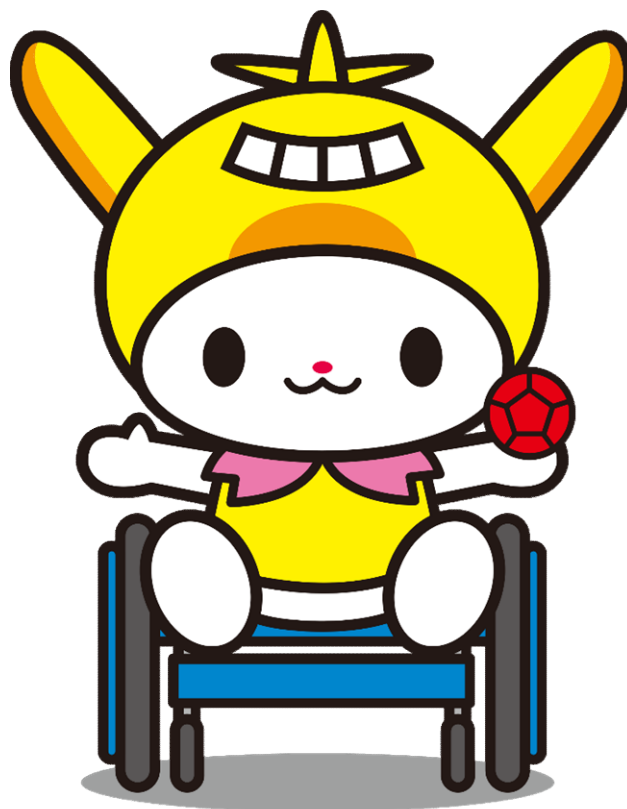
観光・国際都市部 資料1番

所管 観光課

# Compass



2020



©大田区

はねびん

大田区  
観光・国際都市部  
事業概要

## 大田区平和都市宣言

『平和って なあに  
しあわせな ことよ  
しあわせって なあに  
自由で楽しいくらしができること  
だから 世界中の人と 力をあわせて  
大切な 平和を守らなければ いけないの  
地球上どこへ行っても 笑顔があるように...  
この人類共通の願いをこめて 大田区は  
平和憲法を擁護し核兵器のない  
平和都市であることを宣言する』

昭和59年 8月15日 大田区

## スポーツ健康都市宣言

スポーツしよう  
みんな 心も からだも 元気にしよう

スポーツ楽しもう  
みんな 世界の人と 手をつなごう

スポーツで健康になろう  
いきいき 輝く笑顔いっぱい の まちにしよう

区民がスポーツを通じて健康で豊かに暮らし、  
まちが賑わいと活力を増していくことを願い、  
大田区をスポーツ健康都市とすることを宣言  
する。

平成24年 6月30日 大田区

## 国際都市おおた宣言 ～地域力で世界にはばたく～

おもてなしの翼を広げ  
世界中の人々を歓迎しよう  
暮らしが息づく多彩な魅力あるまちとして  
訪れる人を迎えます

ふれあいの翼を広げ  
多様な文化を分かち合おう  
互いの個性を認め誰もが活躍できる  
笑顔あふれるまちをつくります

みらいの翼を広げ  
豊かな明日をともにつくろう  
おおたが誇る匠の技が世界の期待に応え  
新しい産業をつくります

大田区は、日本のゲートウェイとして、  
地域の力を結集し、  
新たな時代を切り拓いて、  
世界にはばたく「国際都市おおた」を宣言する。

平成29年 3月12日 大田区

# 大田区における 「国際都市」の 基本的な考え方

- 1 国内で暮らし、学び、働く外国人、区を来訪する外国人にとって魅力的なまちであり、日本人が有する「思いやり」「おもてなし」といった精神がまちの表情に現れている都市であること。
- 2 多様な歴史、文化を有する外国人が一人ひとりの個性と能力を発揮できているとともに、多彩な交流により地域とつながり、地域の一員として共生が図られている都市であること。
- 3 羽田空港が国際化することにより、増加する在住外国人及び外国人観光客が安心して、暮らし、訪れ、回遊できている都市であること。
- 4 海外からたくさんの外国人が訪れる区として、大田区平和都市宣言を踏まえ、世界の人と力を合わせて、大切な平和を守る都市であること。
- 5 多彩な連携により地域内産業が国際化を活かしたビジネスを展開し、地域内産業が活性化され、にぎわいある都市であること。

## 目 次

1	令和2年度 観光・国際都市部の目標及び重点項目	1
2	大田区観光・国際都市部、(一社)大田観光協会、(一財)国際都市おおた協会、(公財)大田区文化振興協会、(公財)大田区スポーツ協会組織図	2
3	大田区観光・国際都市部、(一社)大田観光協会、(一財)国際都市おおた協会、(公財)大田区文化振興協会、(公財)大田区スポーツ協会事務分掌	4
4	観光・国際都市部事業別予算	6
5	各課事務事業一覧	
	(1) 観光課	9
	(2) 国際都市・多文化共生推進課	37
	(3) 文化振興課	54
	(4) スポーツ推進課	92
6	参考資料：各課の事業開始年度一覧	
	(1) 観光課	121
	(2) 国際都市・多文化共生推進課	122
	(3) 文化振興課	122
	(4) スポーツ推進課	123

### 【基準日等について】

令和2年6月1日を基準日とし、令和元年度の実績及び令和2年度の当初予算ベースでの事業計画を記載しています。ただし、令和2年度計画で既に実施済みの事業は、「実績記載」と表記しています。また、新型コロナウイルス感染拡大防止により、中止または延期が決定した事業についてはその旨を記載しています。

### 【東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の表記について】

本文中では「東京2020大会」と表記しています。

## 1 令和2年度 観光・国際都市部の目標及び重点項目

### 目標

新型コロナウイルス（以下、「新型コロナ」という。）の世界的な感染拡大により、世界経済は大恐慌以来の危機に直面し、本区においても、消費マインド冷え込みによる商店街への来客激減やインバウンドの消失、製造業における受発注機会の喪失等、区内経済は極めて厳しい局面に立たされている。

このような状況下、当部は、新型コロナとの共存という新しい日常への対応が求められる中、区の有する観光・国際・文化・スポーツといった分野における資源を総動員し、「区民の QOL(クオリティ・オブ・ライフ)」を高める事業を展開することが重要となる。また、明年に延期された東京 2020 大会を好機と捉え、本年度は新型コロナ収束を見据え最大限の波及効果を生み出す準備期間としてまいりたい。

当部の取り組み方針は、職員が一丸となり、「ベスト」を尽くし、「共創」し、「発信」していくことで、区政始まって以来の最大の難局を乗り越え、区の将来像「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」実現に向け邁進していく。

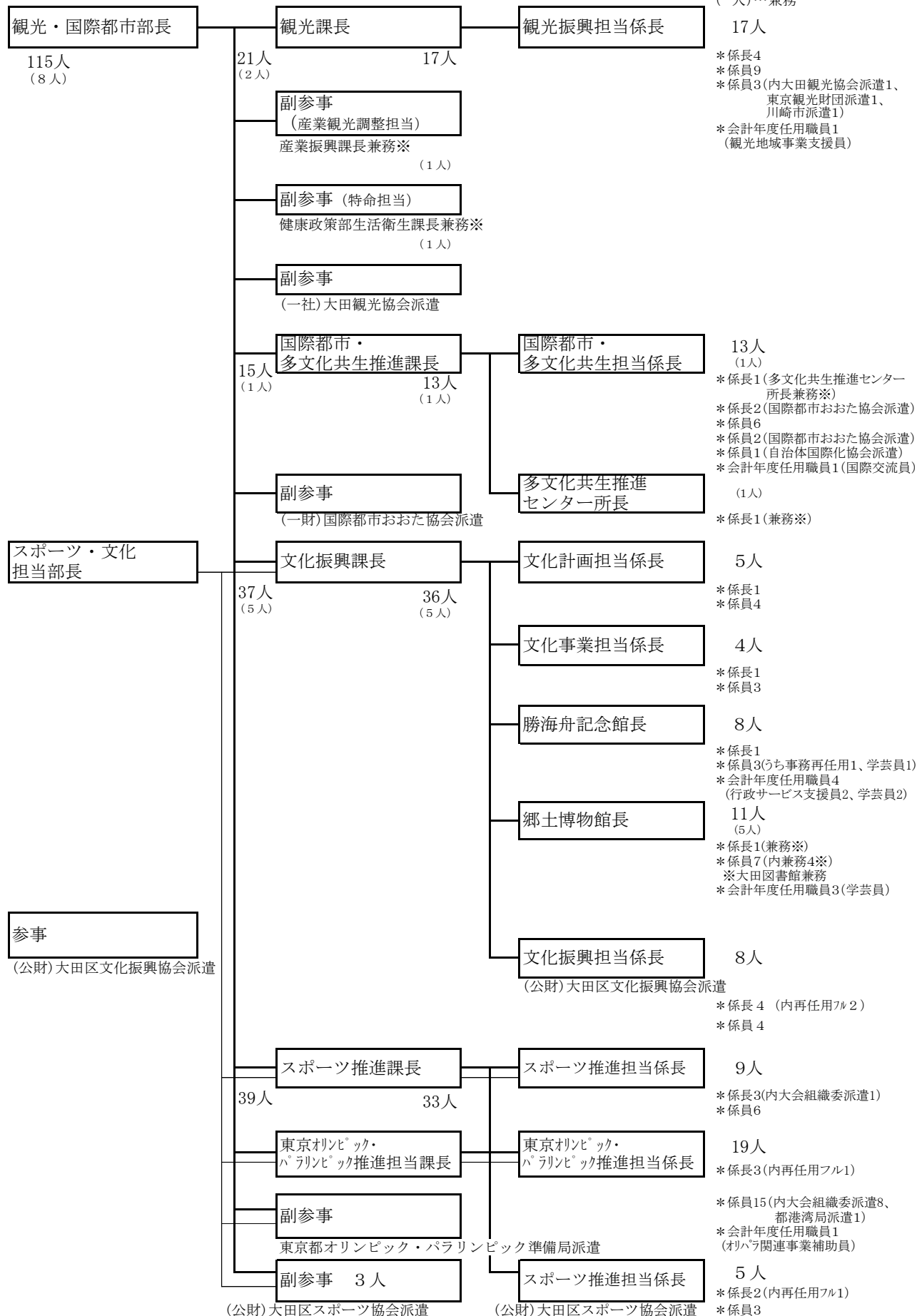
### 重点項目

- ① 大田区における MICE 誘致の推進
- ② 大田区公式 PR キャラクター「はねぴよん」の活用事業の推進
- ③ (一社) 大田観光協会との連携
- ④ 『「国際都市おおた」多文化共生推進プラン』の推進
- ⑤ 多文化共生のネットワークづくりの充実
- ⑥ (一財) 国際都市おおた協会との連携及び移転に向けた取組
- ⑦ 勝海舟記念館一周年企画展
- ⑧ 郷土博物館でのプレ“川瀬巴水”展と図録作成
- ⑨ 公演、イベントの中止に伴う文化発信 PR 動画作成と博物館・記念館のおうち時間用 PR 動画作成
- ⑩ スポーツ推進計画の推進
- ⑪ スポーツ実施率を維持するための施策の推進
- ⑫ 区民の大会への期待感を高めていくための気運醸成施策の実施
- ⑬ ボランティアのモチベーションを維持するための施策の実施

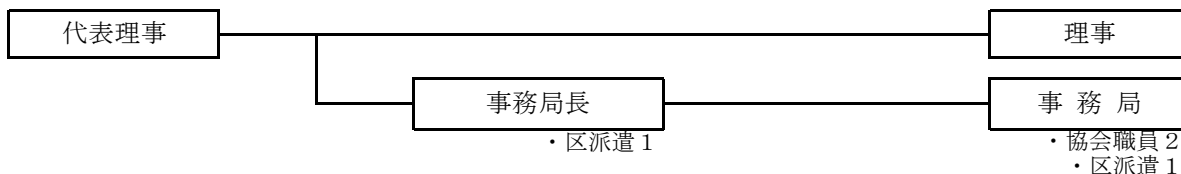
2 大田区観光・国際都市部、(一社)大田観光協会、(一財)国際都市おた協会、(公財)大田区文化振興協会、(公財)大田区スポーツ協会組織図

【大田区観光・国際都市部】

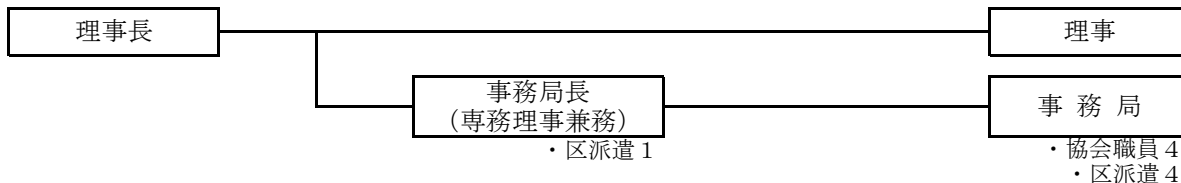
注\*…内訳人数  
(人)…兼務



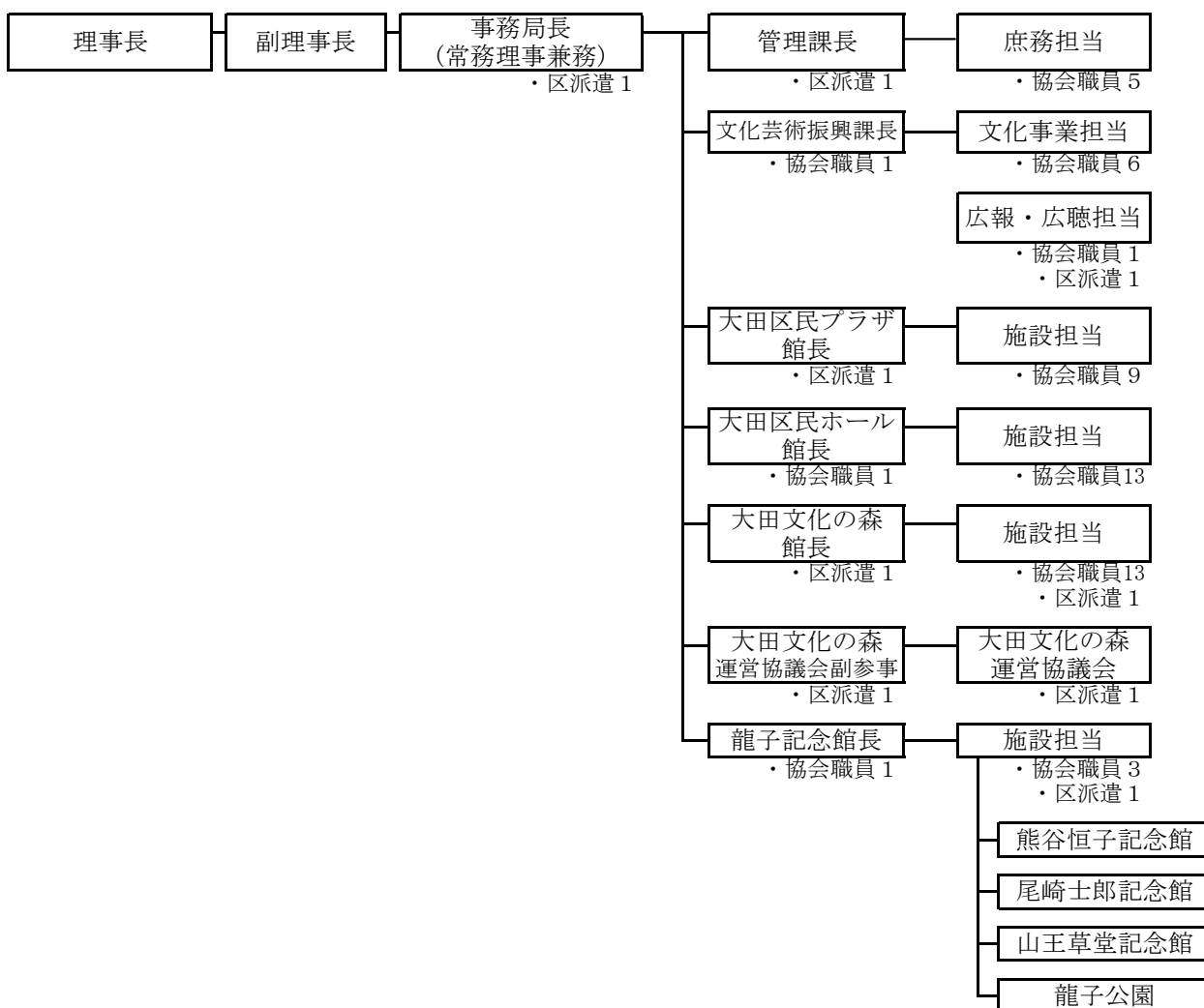
【一般社団法人 大田観光協会】 (協会職員2 区派遣2)



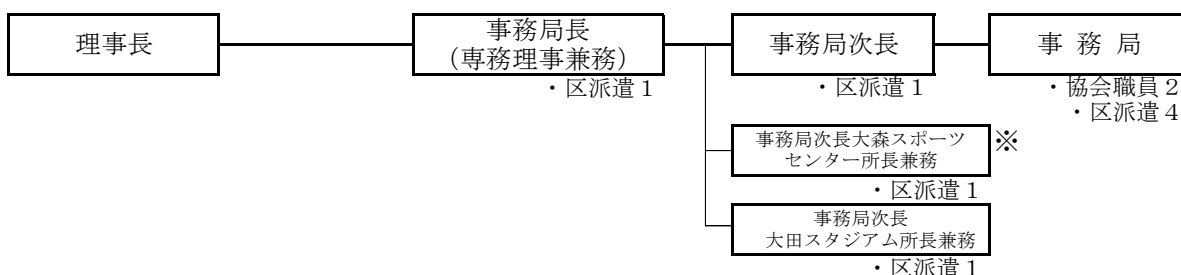
【一般財団法人 国際都市おおた協会】 (協会職員4 区派遣5)



【公益財団法人 大田区文化振興協会】 (協会職員53 区派遣9)



【公益財団法人 大田区スポーツ協会】 (協会職員2 区派遣8)



※ 大田スタジアム・大森スポーツセンターは共同事業体で指定管理業務を受託。

### 3 大田区観光・国際都市部、(一社)大田観光協会、(一財)国際都市おおた協会、 (公財)大田区文化振興協会、(公財)大田区スポーツ協会 事務分掌

#### 1 観光課

##### 観光振興担当

- (1) 部の政策立案、事業執行方針、事業計画及び事業の進行管理に関すること。
- (2) 部の事務事業の改善に関すること。
- (3) 行政組織及び職員定数に関する部の総括に関すること。
- (4) 部の事業に係る調査研究に関すること。
- (5) 議会に関する他部及び部内他課との連絡調整に関すること。
- (6) 部の庶務に関すること。
- (7) 予算及び決算に関する部の総括に関すること。
- (8) 他部及び部内他課との連絡調整に関すること。
- (9) 危機管理に関すること。
- (10) 議会に関する部の総括に関すること。
- (11) 観光振興施策の調査研究に関すること。
- (12) 観光振興施策に関すること。
- (13) 観光振興施策と他部門事業との連絡調整に関すること。
- (14) 観光関係団体との連絡調整に関すること。
- (15) 部内他課に属しないこと。

#### 2 国際都市・多文化共生推進課

##### 国際都市・多文化共生担当

- (1) 課の庶務に関すること。
- (2) 国際交流に関すること。
- (3) 国際都市に関すること。
- (4) 多文化共生に関すること。
- (5) 一般財団法人国際都市おおた協会に関すること。

##### 多文化共生推進センター

- (1) 公印の管守及び文書に関すること。
- (2) 服務、庶務及び経理に関すること。
- (3) 教室、多目的スペース等の利用に関すること。
- (4) 多文化共生推進センターの施設設備の維持管理に関すること。
- (5) 国際交流団体及び多文化共生ボランティアの支援に関すること。
- (6) その他必要と認める事業の実施に関すること。

#### 3 文化振興課

##### 文化計画担当

- (1) 課の庶務に関すること。
- (2) 文化振興に係る計画等に関すること。
- (3) 公益財団法人大田区文化振興協会に関すること。
- (4) 文化施設の管理、運営及び連携に関すること。
- (5) 区営アロマ地下駐車場に関すること。
- (6) 課内他係に属しないこと。

##### 文化事業担当

- (1) 文化振興に関すること（他係に属するものを除く。）。
- (2) 文化事業（平和都市宣言記念事業を含む。）に関すること。
- (3) 国内友好都市に関すること。

##### 勝海舟記念館

- (1) 公印の管守及び文書に関すること。
- (2) 庶務及び経理に関すること。
- (3) 職員の服務に関すること。
- (4) 資料の収集及び保管に関すること。
- (5) 資料の調査、研究、目録作成及び展示に関すること。
- (6) 館の情報発信及び事業の実施に関すること。
- (7) 館内取締り並びに施設の利用及び維持管理に関すること。
- (8) 他の博物館、学校、図書館等の教育、学術又は文化に関する関係機関等との連携に関すること。
- (9) 勝海舟基金に関すること。
- (10) 資料の寄贈及び寄託に関すること。
- (11) その他館の設置目的を達成するために必要と認めること。



## 郷土博物館

- (1) 公印の管守及び文書に関すること。
- (2) 庶務及び経理に関すること。
- (3) 職員の服務に関すること。
- (4) 館内取締り並びに施設及び設備の維持管理に関すること。
- (5) 調査及び統計に関すること。
- (6) 寄贈及び寄託資料の選定並びに受納及び返納に関すること。
- (7) 関係機関及び団体との連絡に関すること。
- (8) 資料（条例第2条第1号に規定する資料をいう。以下同じ。）の収集、整理及び保管に関すること。
- (9) 資料の目録、館報、報告書等の作成に関すること。
- (10) 資料の調査、研究及び展示に関すること。
- (11) 特別展、講習会、講演会、研究会等の開催に関すること。
- (12) 館の運営、利用促進等の協議会に関すること。
- (13) 大田区立大森海苔のふるさと館に関すること。
- (14) 他の博物館、学校、図書館等との協力に関すること。

## 4 スポーツ推進課

### スポーツ推進担当

- (1) 課の庶務に関すること。
- (2) スポーツ推進審議会に関すること。
- (3) スポーツ推進計画に関すること。
- (4) スポーツ健康都市宣言に関すること。
- (5) スポーツ推進委員に関すること。
- (6) スポーツ事業の実施及び奨励に関すること。
- (7) スポーツ指導者育成に関すること。
- (8) スポーツ推進に係る表彰に関すること。
- (9) 新スポーツ健康ゾーンの活性化に関すること。
- (10) 東京2020レガシー事業に関すること。
- (11) 公益財団法人大田区スポーツ協会に関すること。
- (12) 大田区総合体育館に関すること。
- (13) 大森スポーツセンターに関すること。
- (14) 大森本町複合施設の共有部分に関すること。
- (15) 大田スタジアムに関すること。
- (16) 課内他係に属しないこと。

### 東京オリンピック・パラリンピック推進担当

- (1) 東京オリンピック・パラリンピック大田区推進本部等の事務に関すること。

## 5 一般社団法人大田観光協会

- (1) 観光に関する事業
- (2) まちの魅力を演出する事業
- (3) 観光資源の調査研究、情報の収集・提供及び振興に係る事業
- (4) 産業振興に関する事業
- (5) 国際文化交流の推進
- (6) まちの特性を活かした新しい観光資源の開発・創出
- (7) その他当法人の目的を達成するために必要な事業

## 6 一般財団法人国際都市おおた協会

- (1) 多文化共生の推進に関する事業
- (2) 国際交流の推進に関する事業
- (3) 国際人財育成に関する事業
- (4) 国際協力に関する事業
- (5) 上記各事業に関する情報収集、調査研究及び広報
- (6) 上記各事業の推進のため、大田区及び他の公共機関等から受託する事業
- (7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

## 7 公益財団法人大田区文化振興協会

- (1) 文化芸術の振興に資する公演及び展示等の実施に関する事業
- (2) 文化芸術活動の支援、協働及び育成に関する事業
- (3) 文化芸術資源の調査、収集、保存及び活用に関する事業
- (4) 文化芸術の活性化を図るための情報収集と発信に関する事業
- (5) 文化芸術の拠点施設の管理運営に関する事業
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

## 8 公益財団法人大田区スポーツ協会

- (1) スポーツ、レクリエーションの推進及び健康増進のための事業
- (2) スポーツ、レクリエーションに関する普及啓発及び顕彰に関する事業
- (3) スポーツ、レクリエーションの指導者及び団体の育成に関する事業
- (4) スポーツ、レクリエーションに関する各種教室及び大会の開催
- (5) 大田区から受託する区立スポーツ施設の管理運営に関する事業
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

#### 4 観光・国際都市部事業別予算

(単位：千円)

##### 【観光課】

款	項	目	中事業	小事業	令和2年度	令和元年度	前年度比
総務費							
	観光国際費				311,966	285,752	26,214
	観光国際総務費				70,627	58,346	12,281
		職員人件費			70,627	58,346	12,281
	観光振興費				241,339	227,406	13,933
	おおたの観光魅力創出事業				133,358	115,774	17,584
		来訪者受け入れ環境の整備			62,503	44,207	18,296
		観光まちづくりの支援			70,855	71,567	△ 712
	おおたの観光魅力発信事業				43,357	51,827	△ 8,470
	観光情報センター等の運営				58,017	53,940	4,077
	観光課事務費				6,607	5,865	742
課予算額合計					311,966	285,752	26,214

##### 【国際都市・多文化共生推進課】

款	項	目	中事業	小事業	令和2年度	令和元年度	前年度比
総務費							
	観光国際費				228,204	120,760	107,444
	文化国際費				228,204	120,760	107,444
		姉妹・友好都市交流事業			9,268	6,670	2,598
		中国北京市朝陽区等との交流の推進			5,448	5,964	△ 516
		アメリカ合衆国セーラム市との交流の推進			3,820	706	3,114
	国際都市事業の推進				2,808	2,790	18
		国際都市事業			2,808	2,790	18
	(一財) 国際都市おおた協会の運営				181,801	90,457	91,344
		運営費補助			55,558	49,570	5,988
		事業費補助			33,134	40,887	△ 7,753
		施設運営費			93,109	0	93,109
	国際交流事業				1,675	1,905	△ 230
		交流事業費			1,675	1,905	△ 230
	国際都市・多文化共生推進課事務費				487	7,576	△ 7,089
	多文化共生推進事業				32,165	11,362	20,803
		多文化共生のネットワークづくり			32,165	11,362	20,803
課予算額合計					228,204	120,760	107,444

【文化振興課】

款	項	目	中事業	小事業	令和2年度	令和元年度	前年度比
総務費							
			観光国際費		2,602,879	2,788,258	△ 185,379
			文化国際費		2,549,134	2,080,468	468,666
			平和都市宣言記念事業		7,151	67,747	△ 60,596
			(公財)大田区文化振興協会の運営		222,093	202,351	19,742
				運営費補助	125,245	116,942	8,303
				事業費補助	96,848	85,409	11,439
			地域文化の振興		6,252	5,881	371
			大田区民ホール等管理運営費		316,085	277,678	38,407
				大田区民ホール等施設管理	292,109	277,061	15,048
				駐車場管理運営費	23,976	617	23,359
			文化施設管理運営費		1,353,906	1,235,768	118,138
				管理代行費	829,973	846,328	△ 16,355
				業務委託費	22,495	21,931	564
				その他施設費	501,438	367,509	133,929
			OTAふれあいフェスタ		47,163	45,093	2,070
			地域間交流事業		1,410	1,264	146
			文化祭		2,122	2,122	0
			文化振興課事務費		1,191	1,276	△ 85
			博物館管理運営費		320,169	79,387	240,782
				管理運営費	288,318	63,268	225,050
				事業費	31,851	16,119	15,732
			大森海苔のふるさと館の運営		59,590	56,403	3,187
			勝海舟記念館の運営		112,684	105,498	7,186
			絵画等保管拠点の維持管理		99,318	0	99,318
			文化施設建設費		53,745	707,790	△ 654,045
			勝海舟記念館の整備※1		53,745	707,790	△ 654,045
課予算額合計					2,602,879	2,788,258	△ 185,379

※1：令和元年度には、繰越明許費219,424千円含む。

【スポーツ推進課】

款	項	目	中事業	小事業	令和2年度	令和元年度	前年度比
総務費							
			観光国際費		1,002,935	962,393	40,542
			スポーツ振興費		1,002,935	962,393	40,542
			(公財)大田区スポーツ協会運営費補助		52,957	52,160	797
			スポーツ教室		10,227	10,430	△ 203
				小・中学生スポーツ教室	4,563	4,557	6
				障がい者スポーツ教室	3,645	3,639	6
				成人スポーツ教室	2,019	2,234	△ 215

【スポーツ推進課 (続き)】

款	項	目	中事業	小事業	令和2年度	令和元年度	前年度比
				スポーツ奨励	4,814	4,814	0
				地域スポーツクラブ	1,092	1,092	0
				スポーツ奨励事業	3,494	3,494	0
				寿ハイキング	228	228	0
				指導者養成	446	454	△ 8
				ラジオ体操指導者養成講習会	195	194	1
				スポーツ指導者養成講習会	251	260	△ 9
				区民スポーツ大会	17,470	17,584	△ 114
				都民体育大会等支援	3,833	3,824	9
				団体事業後援	800	848	△ 48
				スポーツ推進委員	9,965	9,706	259
				スポーツ推進審議会	364	364	0
				スポーツ健康都市宣言記念事業	16,223	16,210	13
				OTAウォーキング	1,235	1,555	△ 320
				区民スポーツまつり	9,461	9,128	333
				おおたスポーツ健康フェスタ	5,527	5,527	0
				スポーツ推進計画	0	0	0
				新スポーツ健康ゾーン活性化事業	2,268	1,988	280
				スポーツ推進広報事業	3,587	3,432	155
				東京2020レガシー事業	9,709	0	9,709
				スポーツ推進課事務費	5,113	2,020	3,093
				事務費	87	47	40
				運動場使用料過年度還付金	40	0	40
				大森スポーツセンター使用料過年度還付金	47	47	0
				大森スポーツセンター借地料	14,137	14,137	0
				大田スタジアム維持管理	2,627	20,632	△ 18,005
				大森本町複合施設維持管理	208,488	149,393	59,095
				大森スポーツセンター維持管理	12,743	79,626	△ 66,883
				大田区総合体育館維持管理	2,498	30,829	△ 28,331
				スポーツ施設管理代行	416,235	432,760	△ 16,525
				大森スポーツセンター	78,605	87,850	△ 9,245
				大田区総合体育館	184,771	181,455	3,316
				大田スタジアム	152,859	163,455	△ 10,596
				東京オリンピック・パラリンピック推進事業	208,344	111,135	97,209
課予算額合計					1,002,935	962,393	40,542
部予算額合計					4,145,984	4,157,163	△ 11,179

## 5 各課の事務事業一覧

### (1) 観光課

区は平成31年3月に、観光振興を通じて、区への愛着、地域活力の向上、地域経済の活性化の実現を目指す「大田区観光振興プラン2019-2023」を策定し、東京2020大会を契機としたさらなる誘客に向け、各種施策に取り組んでまいりました。しかし、今般の世界的な新型コロナ感染拡大は、観光業を始めとする区内経済全体に甚大な影響を及ぼしています。

このような状況下、当課は、区内各課、区民、観光事業者、関連産業・団体との連携を一層強め、観光を通じて速やかな区内経済復興の一助となる施策に率先して取り組むとともに、新型コロナ収束後も見据え、区民にとっては区へのさらなる愛着心（シビックプライド）の醸成につなげ、来訪者にとっては区の魅力を余すことなく体感して「大田区ファン」になっていただけるよう、実効性ある観光のまちづくりを着実に進めてまいります。

予算事務事業名	事業名	頁
<b>観光振興費</b>		
<b>おおたの観光魅力創出事業</b>		
来訪者受け入れ環境の整備		
	1 大田区ウェルカムショップ事業	10
	2 大田区まちかど観光案内所事業	12
	3 公衆無線LAN（Wi-Fi環境）運用保守	12
	4 大田区観光案内サイン推進事業	14
	5 大田区観光紹介用パンフレット	14
	6 大田区観光振興プラン2019-2023	16
	7 来訪者向け観光コンテンツ及び推奨ルートの造成	16
観光まちづくりの支援		
	8 一般社団法人 大田観光協会補助事業	17
	9 川崎市連携事業	21
	10 大田の観光にぎわい創出事業補助金	22
<b>おおたの観光魅力発信事業</b>		
	11 羽田空港を起点としたインバウンド誘致事業	24
	12 Facebook ページ「Visit Ota-Tokyo」等における情報発信	25
	13 MICE 推進事業	26
	14 メディアを活用した観光情報等の発信	27
	15 大田区観光 PR 特使事業	29
	16 大田の魅力を活用した地域にぎわい事業	30
	17 観光 PR のための展示及び PR ツール等の制作	32
	18 羽田空港「空の日イベント」連携事業	32
	19 大田区公式 PR キャラクター「はねぴょん」の活用	33

予算事務事業名	事業名	頁
	20 ナイトタイムコンテンツによる地域にぎわい事業	33
<b>観光情報センター等の運営</b>		
	21 大田区観光情報センターの運営	34
	22 羽田空港第3ターミナル 大田区観光情報コーナーの運営	35
<b>観光課事務費</b>		
	23 観光関連事業者等との連携 (大田区観光推進連絡協議会運営)	36

## 1 大田区ウェルカムショップ事業

2年度予算額 5,995 千円 (元年度予算額 3,520 千円)

「来訪者が快適に滞在し、食事や買い物を楽しめるまち」を目指し、区が提供する支援メニューを活用して、国内外からの来訪者を積極的に受入れる店舗・施設を「大田区ウェルカムショップ」として登録しています。

### 【大田区ウェルカムショップの主な役割】

- ・国内外からの来訪者に対して、寄り添ったサービスを提供する。
- ・区から提供させていただく資料やセミナーを接客に活用し、接客力の向上を図る。
- ・大田区ウェルカムショップステッカーを利用者から見えやすい場所に掲示する。



### 【2年度計画】

#### (1) 来訪者受入対応セミナーの開催（まちかど観光案内所と合同）

大田区ウェルカムショップ・まちかど観光案内所登録店舗を対象とし、新型コロナウイルス収束の推移を注視しながら、区内外からの来訪者の傾向やニーズの把握を図るとともに、with コロナ・after コロナの視点での対策等を習得していただくことを目的としたセミナーを実施します。

#### (2) 来訪者受入対応に関する調査【新規】

大田区ウェルカムショップ・まちかど観光案内所登録店舗を対象とし、区民を含む来訪者受入の現況や必要な支援等に関する調査を通じて、利用者のニーズにあった支援となるよう見直しを行うとともに、マイクロツーリズムの方途を検討し、積極的な来訪者受入を推進します。

#### (3) デジタルサイネージ及びタブレットの活用【新規】

after コロナに備え、国内外からの来訪者受入体制整備及び多言語対応力強化を目的とし、日本語を含む多言語に対応したタブレット端末を大田区ウェルカムショップ・まちかど観光案内所登録店舗等へ貸与し、観光利便性を高めます。また、大田区観光情報センターに設置したデジタルサイネージを用いて観光情報や緊急時情報等を、日本語を含む多言語で発信します。

#### (4) おもてなしハンドブック改訂【新規】

大田区ウェルカムショップ・まちかど観光案内所登録店舗に配布している、国内外からの来訪者受入のためのおもてなしハンドブック（日本語、英語、中国語（繁体字・簡体字）、韓国語、タイ語の5か国語）を改訂します。

掲載情報の更新や、緊急時の情報発信ツールの追加等を行い、当面は国内からの来訪者等の利便性向上に供します。



おもてなしハンドブック

#### 【元年度実績】

##### (1) 登録店舗の拡充

- ・登録店舗数：281 か所（令和2年3月31日現在）  
うち元年度の新規登録 20 か所

##### (2) 24時間多言語コールセンター利用状況（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

- ・電話通訳：172 件
- ・翻訳サービス：75 件

※令和元年度をもって廃止し、大田区観光情報センターへの問合せに統合しました。

##### (3) 外国人旅行者等受入対応セミナーの実施

ア 災害発生！あなたは観光客の安全を守るために何をしますか？/多言語コールセンター案内

- ・実施日：令和元年8月7日（水）
- ・参加者数：16人

成果：参加者からは、「災害時対応について意識するきっかけになった。（宿泊施設）」「区外在住従業員が大田区内で災害が発生した際の対応について理解を深められた。（交通事業者）」との声がありました。

イ 東京2020大会に向けた訪日外国人受入対応セミナー/情報交換会/

東京2020大会時の区の取組説明

- ・実施日：令和2年2月5日（水）
- ・参加者数：13人

成果：参加者からは、欧米や中国からの観光客を中心にキャッシュレス決済が進んでいる現状を受け、「今までキャッシュレスへの対応を考えていなかったが、今後検討したい。」との意見があがりました。



「災害発生！あなたは観光客の安全を守るために何をしますか？」



「東京2020大会に向けた訪日外国人受入対応セミナー」

## 2 大田区まちかど観光案内所事業

2年度予算額 750 千円 （元年度予算額 720 千円）

来訪者が区内のあらゆる場所で手軽に観光情報を入手できるまちを目指して、観光マップやパンフレットの配布、近隣にある観光資源等の簡単な案内等にご協力いただける店舗・宿泊施設等を「大田区まちかど観光案内所」として登録しています。

### 【大田区まちかど観光案内所の主な役割】

- ・区が提供する観光マップ・パンフレット等を可能な範囲で店舗に配架し案内を行う。
- ・店舗・施設利用者以外に対しても、可能な範囲でトイレ、休憩スペースを提供する。
- ・大田区まちかど観光案内所ステッカーを利用者から見えやすい場所に掲示する。

### 【2年度計画】

#### (1) 来訪者受入対応セミナーの開催（ウェルカムショップと合同）

【再掲 大田区ウェルカムショップ事業】

#### (2) 来訪者受入対応に関する調査【新規】

【再掲 大田区ウェルカムショップ事業】

#### (3) 登録店舗・施設への支援

- ・近隣の観光案内に活用していただけるよう、必要に応じて観光マップ・パンフレット等を提供します。



### 【元年度実績】

- ・登録店舗数：286 か所（令和2年3月31日現在）  
うち元年度の新規登録 11 か所
- ・登録区施設等：73 か所（令和2年3月31日現在）  
うち元年度の新規登録 3 か所

## 3 公衆無線 LAN (Wi-Fi 環境) 運用保守

2年度予算額 6,718 千円 （元年度予算額 5,457 千円）

訪日外国人をはじめ、日本人区民も含めた誰もが無料かつ簡易な手続きで利用できる公衆無線 LAN サービス「OTA CITY FREE Wi-Fi」を平成 27 年 12 月から開始しました。Wi-Fi のポータル画面から大田区公式観光サイトに自動接続させることにより、区の観光情報を広く発信しています。1 日あたりの利用時間は 60 分で 1 日何回でもご利用いただけます。

また、災害時も災害情報にアクセスできる等の通信手段として活用可能なため、区民や帰宅困難者の安全安心の確保にも寄与します。



【2年度計画】

(1) 運用保守の実施

- ・OTA CITY FREE Wi-Fi の運用保守を行います。

(2) 認証方法の変更

- ・Wi-Fi 利用開始時の認証方法をメールリターン方式に変更しセキュリティレベルを高めます。



このステッカーが貼ってある場所周辺で繋がります。

【元年度実績】

(1) 運用保守の実施

以下の表の施設等について運用保守を実施しました。

【OTA CITY FREE Wi-Fi 設置区施設、区内主要駅一覧及び拠点別利用数】

No	施設名	アクセスポイント数	令和元年度(回)	平成30年度(回)
1	羽田空港第3ターミナル大田区観光情報コーナー	1	30,070	26,515
2	大田区観光情報センター	1	5,207	5,199
3	大田区産業プラザPiO 観光・産業情報コーナー	1	6,753	9,203
4	大田区民ホール・アプリコ	1	11,190	9,196
5	大田区総合体育館	2	12,284	10,904
6	大森スポーツセンター	1	7,254	5,084
7	郷土博物館	1	1,903	2,191
8	龍子記念館	1	700	569
9	馬込文士村資料展示室	1	2,882	2,386
10	大森 海苔のふるさと館	1	1,861	1,606
11	多摩川台公園古墳展示室	1	676	401
12	大田文化の森	1	8,116	6,226
13	新井宿特別出張所内観光情報コーナー	1	2,542	2,064
14	大田区青少年交流センター (ゆいっつ) *1 ※元年度新設	15	7,027	—
15	本庁舎 1階、2階	3	60,000	47,132
16	JR大森駅 東・西口	2	229,279	199,681
17	JR蒲田駅 東・西口	2	269,347	282,862
18	京急蒲田駅 東・西口	2	145,065	137,963
設置合計 18 拠点		38 台	802,156	749,182

\*1 大田区青少年交流センター (ゆいっつ) については、地域力推進部で運用保守を行っています。

※上記ほか区内に OTA CITY FREE Wi-Fi を提供している民間店舗等があります。

## 4 大田区観光案内サイン推進事業

2年度予算額 19,822 千円 (元年度予算額 15,146 千円)

区民はもとより、外国人旅行者や障がい者、高齢者など大田区を訪れる人々が、安心して区内を回遊して、観光やまち歩きを楽しめるように観光案内サインを整備しています。観光案内サインには、観光資源や観光拠点等を日本語だけでなくピクトグラム・記号、多言語でも表記しているほか、観光情報や防災情報などにリンクするQRコードを掲出して、様々な情報提供も行っており、区民・来訪者にとどまらず新型コロナ収束後に復活が期待されるインバウンド対応ともなっています。

### 【2年度計画】

#### (1) 新規設置

- ・池上本門寺エリア (池上駅)

#### (2) 盤面更新

- ・蒲田エリア、池上本門寺エリア、京急蒲田エリア、大森町駅エリア、梅屋敷駅エリア

### 【元年度実績】

#### (1) 新規設置

- ・洗足池周辺エリア  
大拠点用サイン：1基  
中拠点用サイン：1基  
誘導サイン：4基

#### (2) 盤面更新

- ・羽田エリア (東側)  
大拠点用サイン：2基  
中拠点用サイン：3基
- ・池上本門寺エリア  
大拠点用サイン：2基



## 5 大田区観光紹介用パンフレット

2年度予算額 18,187 千円 (元年度予算額 16,280 千円)

大田区の魅力を紹介する様々な観光紹介用パンフレットを作成し、国内外に対して大田区の観光情報を発信しています。今年度は新型コロナの収束を見据え、区民や近隣諸都市の来訪者を対象とするマイクロツーリズムに対応した内容が掲載されている、既存パンフレットを増刷します。

### 【2年度計画】

マイクロツーリズムを対象とした既存パンフレットを増刷するとともに、整理・統合を図ります。

## 【元年度実績】

区民及び観光客等に対し区内の魅力を発信し、区内回遊及び区内消費拡大を促進するため、観光紹介用パンフレットを最新情報に更新のうえ、増刷しました。また、区内の多彩かつディープな楽しみ方を提案するため、「朝活」と「ナイトエコノミー」をテーマとした「大田区観光ガイド」の新シリーズを作成しました。

### (1) 「大田区観光ガイド」(日本語版)の内容修正及び増刷

大田区観光ガイド Vol. 3 「お気に入りスイーツ」

- ・作成部数：10,000部

### (2) 「Ota City Guide Book」及び「Ota City Guide Map」(外国語版)の内容修正及び増刷

ア Ota City Guide Book

- ・作成部数：中国語(繁体字)5,000部

イ Ota City Guide Map

- ・作成部数：日本語10,000部、英語5,000部、中国語(繁体字)3,000部、中国語(簡体字)3,000部、韓国語3,000部、タイ語1,000部

### (3) 「蒲田ガイド」の一部改訂及び増刷

- ・作成部数：日本語5,000部、英語3,000部、中国語(繁体字)3,000部

### (4) 「大田区観光ガイドブック」の一部改訂及び増刷

- ・作成部数：日本語5,000部、英語3,000部

### (5) 「大田区観光ガイド」(日本語版)の新規作成

大田区観光ガイド Vol. 7 「朝と夜をもっと楽しむ」

- ・作成部数：40,000部



大田区観光ガイド Vol. 7  
「朝と夜をもっと楽しむ」

成果：大田区観光紹介用パンフレットは、飲食店やホテル等の大田区ウェルカムショップ、大田区まちかど観光案内所を通じて、区民及び来訪者への配布のほか、イベント等で活用されています。

「たべる」・「さんぽ」・「あそぶ」をテーマとした「大田区観光ガイド」(日本語版)の人气が高く、区内の魅力あるスポットや商店の情報を発信できました。中でも、パンやスイーツなど「たべる」をテーマにしたパンフレットの配布数が多く、区内の消費拡大に寄与しています。また、区外の公共施設、JNTO 海外事務所(北京、上海、香港、デリー、ジャカルタ、シンガポール、バンコク、クアラルンプール、シドニー、ニューヨーク、ロサンゼルス、ローマ、ロンドン、マドリード、フランクフルト、パリ、モスクワ、台北、ソウル)でもパンフレットの配架等によりインバウンド向けにPRを行っています。

## 6 大田区観光振興プラン 2019－2023

2年度予算額0千円 (元年度予算額0千円)

区は、東京2020大会開催にともなう訪日外国人の増加等を背景に、今後予想される様々な変化に的確に対応し、実効性ある観光振興の取組を行うことにより、区への愛着、地域活力の向上、地域経済の活性化の実現を目指す「大田区観光振興プラン2019－2023」を平成30年度に策定しました。

令和元年度には同プラン推進のための2020年度までの2年間の「重点計画（前期）」を策定し、今年度は「重点計画（前期）」の効果検証の実施と東京2020大会の延期ならびに新型コロナ収束後を見据え対応する「重点計画（後期）」を策定します。

### 【2年度計画】

#### (1) 「重点計画（前期）」の効果検証の実施及び「重点計画（後期）」の策定

「重点計画（前期）」の効果検証を実施します。

また、東京2020大会及び新型コロナ収束後に対応し、

①区内経済の活性化、②シビックプライドの醸成、③区の認知度・イメージ向上、に重きを置いた「重点計画（後期）」を策定します。



### 【元年度実績】

#### (1) 「大田区観光振興プラン2019－2023 重点計画（前期）」の策定

2019年、2020年度を前期2か年とした重点計画を策定しました。

## 7 来訪者向け観光コンテンツ及び推奨ルートの造成【事業終了】

(元年度予算額3,085千円)

外国人観光客等に対し、回遊性を向上させるための魅力的な観光コンテンツを発掘するとともに推奨ルートを造成し、滞在時の満足度の高い具体的な楽しみ方を提案しました。

### 【元年度実績】

#### (1) 観光コンテンツの発掘及び推奨ルートの造成

外国人観光客等に対し、区内の回遊性を向上させるための魅力的な観光コンテンツを発掘するとともに、推奨ルートの造成を目的としてモニタリング調査を行いました。

- ・実施期間：令和元年8月27日（火）～10月24日（木）
- ・実施件数：21件（延べ29人、11か国）

成果：人気の「とんかつ」が外国人観光客にも評価が高く、「とんかつ」を軸に池上本門寺、洗足池、城南島等を回遊するツアーは、その他のコンテンツに比べて満足度が高く誘客率の高いルートとなることがわかりました。

## (2) 外国人観光客向けタクシーモニターツアー

商店街と連携し、タクシーを利用した外国人観光客等の回遊や消費を促進するための魅力的な推奨ルートモニターツアーを実施しました。

第1回：令和元年8月5日（月） 池上エリア（モニター：2人）

池上本門寺、商店街散策、そば打ち・陶芸（絵付け）体験

第2回：令和元年8月16日（金） 洗足池エリア（モニター：4人）

洗足池公園、商店街散策、浴衣着付け・囲碁体験

第3回：令和元年10月28日（月） 城南島エリア（モニター：4人）

城南島海浜公園、大田市場、アートファクトリー城南島見学

成 果：本事業で造成したコースは、モニターから一定の評価を得ており、新型コロナ収束後を見据えながら、外国人に好評のスポットと周辺プログラムをパッケージにしていく上での貴重な材料となりました。

## (3) 宿泊施設関係者向け区内回遊ツアー

区内の宿泊先で区の観光資源を外国人観光客等の宿泊者へ積極的に情報提供していただくようにするため、宿泊施設関係者向けの回遊ツアーを実施しました。

・実施日：令和2年1月28日（火）

・コース：池上本門寺⇒勝海舟記念館⇒洗足池公園⇒とんかつ食べ比べ⇒アートファクトリー城南島⇒大田区観光情報センター

・参加者数：16人

成 果：ホテル等の関係者に、区内の魅力的な観光資源及びグルメ、お土産を具体的にPRし体験してもらうことで、宿泊者へ積極的な情報提供をしていただく契機となりました。

# 8 一般社団法人 大田観光協会補助事業

2年度予算額 46,855 千円 （元年度予算額 45,567 千円）

（一社）大田観光協会は、区の持つ地域特性を活かした観光事業を行い、文化芸術・スポーツの振興及び産業・地域の活性化を促進することを目的に平成15年11月に設立された団体です。

区は、（一社）大田観光協会の実施する事業を支援することで、民間視点での区内経済活性化・地域活性化を取り入れた観光事業振興を行います。今年度は、新型コロナ影響下に対応した柔軟な事業運営と収束を見据えた事業構築を区とともに行っていきます。

- ・名 称：一般社団法人 大田観光協会
- ・住 所：大田区南蒲田一丁目20番20号 大田区産業プラザ2F
- ・電 話：03-3734-0202 ファックス：03-3734-0203 メール：info@o-2.jp
- ・ホームページ：https://www.o-2.jp/

## 【2年度計画】

### (1) おおた商い観光展

大田区、(公財)大田区産業振興協会等と主催する「おおた商い観光展」で、浴場、ホテル、交通事業者、観光まちづくり団体等と連携して区民及び近隣諸都市の来訪者に向け、感染症対策にも留意しながら、大田区の魅力をPRする企画展示等を行います。

### (2) 蒲田映画祭

大正から昭和初期にかけて映画撮影の一大拠点であった映画撮影所があり、映画館がひしめき、映画の街と言われた蒲田の歴史を顕彰するとともに、貴重なレガシーとして区内外に発信するため、当時の映画上映会やトークショーを行います。

### (3) 大田の魅力PR事業

新型コロナ収束の推移を見定めながら、主にマイクロツーリズムの観点からまち歩きに関する情報誌の発行やまち歩きツアー、イベントを実施し、地域の魅力を区民及び近隣諸都市の来訪者が再発見する機会を提供します。

### (4) 水辺の賑わい事業

区民及び近隣諸都市からの来訪者を対象に大森ふるさとの浜辺公園、京浜運河、多摩川を利用した水辺のイベントや、カヌー教室、カヌーツーリングなど、大田区の水辺を観光資源とした事業を推進します。

### (5) くりらぼ多摩川運営事業

「モノづくりのまちづくり」を行うための拠点として、オープンDAY、町工BAR、ワークショップなどモノづくりに係る多様なイベントを区民及び近隣諸都市の住民を対象に実施します。

### (6) おおたオープンファクトリー

おおたのモノづくりの魅力を広くPRするため、主に武蔵新田・下丸子近辺の工場や、大田区内の工場アパート等を一般開放する「おおたオープンファクトリー」を観光の視点から実施します。このイベントに合わせて町工場の技術を活かした製品づくり(モノたま)や各種ツアーを新型コロナ対策も図りながら実施することにより、産業支援にもつなげます。

### (7) 観光まちづくり事業

区内で活動する観光ガイドグループ等と連携するほか、マイクロツーリズムの観点から観光まちづくりに寄与する人材育成を行い、観光まちづくりの担い手を増やします。研修会やガイド養成講座のフォローアップ研修を実施し、ボランティアガイドの支援、地域と連携したイベントの実施・出店を行います。

### (8) ホームページ管理運営

(一社)大田観光協会ホームページの内容を充実するとともに、FacebookやTwitterの運営等を通じて、大田の魅力を広く発信し、マイクロツーリズム推進に基づく区内外からの誘客を図ります。

### (9) 観光パンフレット等の発行

区内のイベントや観光スポット等の魅力を紹介する情報誌・観光マップの作成やデジタル化の検討を行い、大田区観光情報センター、大田区産業プラザ(PiO)観光・産業情報コーナー、大田区まちかど観光案内所、大田区ウェルカムショップ等で配布することで区民のシビックプライドを醸成するとともに区内外からの誘客につなげます。

## 【元年度実績】

### (1) おおた商い観光展

- ・開催日：令和元年10月19日（土）、20日（日）
- ・会場：大田区産業プラザ
- ・内容：テーマ 「観光まちづくり×まちめぐり」  
会場の2階小展示ホールに、地域を紹介することに加えて、「観光まちづくりプラットフォーム」の構築をめざし、交通事業者4社のほか、地域団体と連携。  
ミニステージで、ものづくりワークショップやトークショーなどを開催。
- ・来場者数：10,815人
- ・成果：観光まちづくりの担い手が一堂に会する場所を創出し、地域の「観光」について関心のある方々の活躍の場を提供することができました。また、地域に関心のある方やまちづくり活動がしたいという方々に向けて有用な情報を発信し、区民のシビックプライドの醸成につながりました。

### (2) 蒲田映画祭

- ・開催期間：令和元年9月28日（土）～30日（月）、10月5日（土）、6日（日）、14日（月・祝）  
10月17日（木）、19日（土）、20日（日）
- ・会場：蒲田プラザ・アペア、大田区民ホール・アプリコ、大田区産業プラザPi0ほか
- ・内容：パネル展示、映画上映、トークショー（来場者数：延べ3,248人）
- ・成果：区内外から幅広い来場者を集めて「映画のまち・蒲田」のPRを行うことができました。  
地域の多くの関係団体等との協働によりシビックプライドの醸成にも寄与しました。

### (3) 大田の魅力PR事業

#### ア 大田区さんぽの作成・発行

テーマ：第5号 大森今昔さんぽ、第6号 アートさんぽ、第7号 大森海苔さんぽ

#### イ 出展事業：池上本門寺 春まつり、大蒲田祭、池上祭、池上招福市

#### ウ おおた さ・く・ら ウィーク 2020

- ・開催日：令和2年3月20日（金・祝）～4月7日（火）  
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月8日（水）～10日（金）は中止
- ・内容：おおたの桜スタンプラリー、みんなで作るおおたの桜フォトギャラリー
- ・スタンプラリー参加者数：延べ203人
- ・成果：まちあるきの新コースは、商店街への立ち寄りを強化することで来訪者が増加し、経済活性化に寄与しました。出展事業においては、地域へ出向くことで、観光に関して関心のないイベント参加者への啓発につながりました。  
スタンプラリーは、期間が短縮されたものの区内の桜の名所と商店街とを巡るコースを拵え区内経済の活性化に寄与しました。

#### (4) 水辺の賑わい事業

ア TOKYO CANOE FESTIVAL in OTA 2019

- ・実施日：平成31年4月20日（土）、21日（日）
- ・会場：大森ふるさとの浜辺公園
- ・内容：カヌー体験会、カヌーツーリング、カヌーポロデモンストレーション
- ・参加者数：延べ500人

イ カヌー教室の実施

- ・開催回数：20回 ※うち6回は、新型コロナ感染拡大防止のため中止
- ・参加者数：延べ57人

ウ その他（イベント出展等）

- ・しながわ運河まつり出展：平成31年4月6日（土）、7日（日）
- ・おおた商い観光展2019出展：令和元年10月19日（土）、20日（日）
- ・OTAふれあいフェスタ出展：シーカヤック・ツーリング、カヌー体験等 参加者数：147人
- ・第6回丸子の渡し祭り出展：台風19号の影響により開催中止
- ・教育機関等カヌー教室実施：5回
- ・成果：大田区の優れた地域資源である水辺（環境）のうち、主に臨海部の魅力と楽しみ方について、気軽に参加できるカヌー体験やイベントへの出展等の実施を通じ、区内外の参加者（延べ600人）に水辺の観光資源の可能性を実感していただきました。

#### (5) くりらぼ多摩川運営事業

- ・内容：モノづくりの情報交換、交流の場づくりの提案や工場見学、ワークショップ等
- ・来場者数：延べ2,647人
- ・町工BAR・たまりBAR開催回数：4回（参加者数：延べ102人）
- ・ワークショップ等イベント開催回数：10回（参加者数：延べ516人）
- ・成果：オープンデイや各種イベント等の実施を通じて、来館者が大田のモノづくりに興味を持つきっかけづくりをすることができました。

#### (6) おおたオープンファクトリー

- ・開催期間：令和元年11月16日（土）～24日（日）、令和2年2月14日（金）、21日（金）
- ・会場：下丸子・武蔵新田駅周辺企業、工和会館、くりらぼ多摩川、プラムハイツ千鳥集会室、矢口特別出張所、ギャラリー南製作所、空音舎ほか
- ・内容：工場見学、体験型ツアー（仲間回し）、モノづくりたまご販売、まちめぐり・工場巡りツアー、トートラリー、食品サンプル製作体験、くりらぼワークショップ等
- ・参加工場：53社
- ・参加者数：延べ4,850人
- ・成果：地域のモノづくりマインドの醸成とともに、区内外の来訪者誘致及び大田区のモノづくりの魅力を広く発信することができました。また、他エリアでの同取組と連携して事業実施を行うことで、大田区のエリアセールスにつながりました。



### (7) 観光まちづくり事業

- ・ガイドツアーの実施：羽田空港ガイドツアー、まち歩き等合計 21 回（参加者数：延べ 2,383 人）
- ・大田区まち歩きネットワーク活動の支援
- ・区内観光ガイド講座修了生へのフォローアップ研修・企画に関する支援
- ・成 果：個人、グループなどの様々なニーズに沿った区内観光スポットや商店街等をめぐるツアーをコーディネートし、利用者の拡大につながりました。また、ガイドの相談窓口として、案件ごとにきめ細かな助言等を行うことで、ガイドの安心感向上につながることができました。

### (8) ホームページ管理運営

区内外の来訪者誘致を図るため、(一社)大田観光協会のホームページを充実させ、大田区の魅力や観光資源をPRしました。また、イベントカレンダー、Facebook、google+にてイベント情報を発信しました。

- ・成 果：ホームページをリニューアルし、より多くの観光情報を発信できるようになりました。Facebook を積極的に更新し、よりリアルタイムでの情報を発信できました。
- ・年間アクセス件数：リクエスト数：5,851,090 件、ページビュー数：956,589 件
- ・ホームページアドレス：<https://www.o-2.jp/>
- ・Facebook 管理：年間投稿数 243 件 全体いいね数：1,891 件

### (9) 観光パンフレット等の発行

No	情報媒体物	内容	発行部数
1	大田の観光（季刊誌） A3 両面4色 2折	各号ごとにスポット、テーマを決めて制作した季刊誌	夏（6月） 15,000 部 秋（9月） 15,000 部 冬（12月） 15,000 部 春（3月） 15,000 部 特別号（3月） 10,000 部
2	大田観光イラストマップ A3 両面4色 ジャバラ折	大田区内の観光スポットをイラストで紹介するマップ	20,000 部

## 9 川崎市連携事業

2年度予算額 1,000 千円 （元年度予算額 1,000 千円）

区は、「大田区と川崎市との産業連携に関する基本協定」を平成 25 年度に締結しました。この協定に基づき、平成 27 年度に発足した「大田区・川崎市観光まちづくり連携事業実行委員会」を中心に、両都市共通の魅力を柱とした観光 PR 事業を実施し、新たな誘客につなげるなど、協力関係を強化しています。

### 【2年度計画】

大田区と川崎市共通の観光資源を活用したイベントなどを新型コロナへの対応に留意しつつマイクロツーリズムの観点から検討します。

## 【元年度実績】

### (1) 工場見学・工場夜景バスツアー

おおたのモノづくりを体感できるおおたオープンファクトリー、本物の飛行機を間近で見られる JAL 工場見学 SKY MUSEUM や川崎の工場夜景を楽しめるバスツアーを実施しました。

ア おおたオープンファクトリー&川崎工場夜景ツアー

- ・実施日：令和元年11月16日（土）
- ・参加者数：34人

イ JAL 工場見学 SKY MUSEUM&川崎工場夜景ツアー

- ・実施日：令和元年12月19日（木）
- ・参加者数：42人

成 果：ツアーには、両都市以外からの参加者も多く、共通の観光資源である工場の魅力を発信することができました。

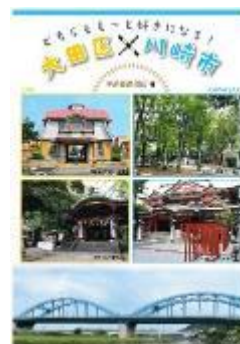


工場見学・川崎工場夜景ツアー

### (2) 大田川崎パンフレットの作成

両地域の住民及び来訪者に対して、興味喚起及び回遊の促進を図るとともに、地域のにぎわいを創出するため、両地域を紹介するパンフレットを作成しました。

- ・作成部数：日本語版 10,000 部 英語・中国語版各 2,000 部
- ・配架先：区施設、大田区観光情報センター、ウェルカムショップ等
- ・成果：両地域の魅力を連携して発信することで、相互に誘客、回遊及び消費活動の促進につなげることができました。



大田川崎パンフレット

## 10 大田の観光にぎわい創出事業補助金

2年度予算額 23,000 千円 （元年度予算額 25,000 千円）

地域が主体となって大田の観光資源を活かし、新たな水辺のにぎわいや地域のにぎわいを創出する事業や、産業観光を推進する事業者を支援することにより、区への来訪者誘致の促進及び区民のシビックプライド醸成による地域活性化を図る事業です。今年度は新型コロナ感染対策の徹底を実施者に求めつつ、にぎわいの創出を目指します。

## 【2年度計画】

補助対象事業は以下の4区分とし、それぞれの条件を満たす事業に対し、経費の一部を補助します。

- ・新たな水辺のにぎわいを創出する事業
- ・新たな地域のにぎわいを創出する事業
- ・上記「新たな地域のにぎわいを創出する事業」のうち広域連携をする事業
- ・産業観光受入環境整備事業

【元年度実績】

事業全体：9事業

(1) 新たな水辺のにぎわいを創出する事業：2事業

対象事業名	実施日	内 容 (概 要)
水辺のにぎわい事業	11月2日(土)	京浜運河沿いの倉庫壁面へのプロジェクションマッピング等の実施。 約4,000人の来場を集め、臨海部の新たなにぎわいを創出。
江戸前づくし水辺パーティー	1月4日(土) ～1月5日(日)	屋形船内でプロジェクションマッピング等の実施。 「羽田七福神稲荷めぐり」イベントと連携し、来場者約3,400人を集め、羽田地域の活性化を図った。

(2) 新たな地域のにぎわいを創出する事業：4事業

対象事業名	実施日	内 容 (概 要)
移動型イベントブース 羽田シティガーデン	7月～2月の 間で計4日開催	区内外イベントで大田区の商品販売等を目的とした移動型ブースの出店。 約14,400人の来場を集め、区内の産業振興を支援した。
ふるはま ビーチ×ビーチフェス	9月29日(日) (中止)	大森ふるさとの浜辺公園のビーチとスポーツ施設を使い、飲食、文化、親水性、スポーツをコンテンツとしたイベント。 当日天候不良により中止。
キャンドルナイト in ふるさとのほまべ	10月13日(日)	大森ふるさとの浜辺公園でキャンドルライトなどを灯した光の演出。 約2,000人の来場を集め、大森ふるさとの浜辺公園の認知度向上に貢献。
国際都市おおた芸術祭	11月23日(土)～ 11月24日(日)	蒲田西口駅前広場で地域住民てづくり市や世界のダンスと音楽パフォーマンス等の実施。 計50か国の方々と約3,300人の区民が参加し、出会いの場を創出。

(3) 上記「新たな地域のにぎわいを創出する事業」のうち広域連携をする事業：なし

(4) 産業観光受入環境整備事業：3事業

対象事業名	実施日	内容(概要)
工場見学者のための受入体制の確立	10月～12月の間で計5日開催	工場の見学者用ヘルメット等の購入及び説明用パンフレットの作成。 京浜島の工場における見学受入7社、105人の見学。
ワークショップのための施設整備と受入体制の確立	10月26日(土) 11月30日(土)	梅屋敷駅近くの会場でワークショップや展示会を開催。 両日合わせ約100人が参加、町工場の業務内容や現状を産業者から直接聞くことで、「モノづくりのまち大田」の理解促進に貢献。
工場見学及びワークショップの拡充と認知度アップのための工場見学受入ツール等の作製	9月～2月の間で計5日開催	京浜島工業団地での工場見学のためのパンフレット作製と受入ツールの準備。 新宿小学校・金融機関から約100人の見学者受入、ものづくりの楽しさを伝えた。

## 11 羽田空港を起点としたインバウンド誘致事業

※令和元年度：周辺地域と連携したインバウンド誘致事業  
2年度予算額 3,085 千円 (元年度予算額 1,832 千円)

新型コロナ感染拡大防止に伴う入国規制等の影響で、インバウンド誘致は現在厳しい状況にあります。with コロナに対応しつつ、収束後も見据え、国際都市おたの魅力を発信する観光PRを実施します。

### 【2年度計画】

新型コロナ収束後を見据え、訪日外国人旅行者に向けた、羽田空港周辺の自治体等と連携した広域的かつ複合的なプロモーション事業を実施します。

#### (1) 周辺自治体等と連携した訪日外国人向けプロモーション

・連携先と共同でパンフレット(デジタルブック)を作成し、海外旅行博等でPRします。

※新型コロナ感染拡大防止のため縮小

#### (2) 海外メディアやインフルエンサーの招請

※新型コロナ感染拡大防止のため中止

### 【元年度実績】

#### (1) 海外における出展事業

- ・出展先：台湾・台北
- ・名称：日本の観光・物産博 2019
- ・出展期間：令和元年6月20日(木)～22日(土)
- ・来場者数：約15万人(主催者発表)
- ・連携先：川崎市(ブースの共同出展)
- ・成果：来場者に羽田空港からのアクセスの良さ、大田区観光情報センターでの文化体験、商店街等について、パンフレットやノベルティを活用しPRしました。大田区について知らない人も多く、シティセールス及び区来訪へのアピールをしました。



日本の観光・物産博 2019

## (2) 海外インフルエンサー等の招請

ア タイ王国メディア関係者 1人

- ・招請期間：令和元年10月18日（金）
- ・連携先：品川区、川崎市、東急電鉄株式会社
- ・展開先：Facebook、Pantip（タイWEBサイト）
- ・SNS発信回数：4回

イ 中国人ブロガー 1人

- ・招請期間：令和元年8月4日（日）
- ・連携先：神奈川県
- ・展開先：Weibo（中国SNS）、マーファンウォー（中国旅行サイト）
- ・SNS発信回数：3回

## (3) 周辺自治体等と連携したパンフレット等の作成

ア 個人旅行者向けフリーペーパーへの掲載

台湾・香港・韓国・中国・タイ・シンガポールからの個人旅行者向けフリーペーパー「地球の歩き方 Good Luck Trip 東京」（2019年12月号）に12ページの記事を掲載しました。その記事を活用し、台湾の観光客を対象としたパンフレット「歓迎來到東京的當地美食路線！」を作成しました。

イ Night & Morning amazing spots!! South of Tokyo, Japan

神奈川県内及び大田区内のナイトタイムエコノミー（モーニングタイムも含む）に関連する施設や祭り・花火等のイベントを紹介した英語の冊子を作成し、区内及び神奈川県内（115か所）に配架しました。

## 12 Facebook ページ「Visit Ota-Tokyo」等における情報発信【統合により廃止】

（元年度予算額 2,507 千円）

令和元年度まではFacebook ページ「Visit Ota-Tokyo」において、大田区公式観光サイト等と連動した海外（主に英語圏）に向けた情報発信を行いました。運用にあたっては、民間事業者のネットワーク及び外国人に向けた情報発信のノウハウ等を活用し、より効果的な観光PRを図りました。

2年度は、大田区公式観光サイトと事業統合し、国内外に向けた情報発信力をより強化します。

### 【2年度計画】

「14 メディアを活用した観光情報等の発信」に統合（P27 参照）

### 【元年度実績】

「14 メディアを活用した観光情報等の発信」に記載（P27 参照）

## 13 MICE 推進事業

2年度予算額 8,698 千円 (元年度予算額 7,224 千円)

当面は新型コロナ収束の推移を注視しながら、中小規模の多様な会議に対応した MICE (※) や MICE 開催に伴う区内での宿泊・飲食等への誘導により、区の地域経済の活性化及び認知度向上を図ります。また、関係部署との緊密な連携による MICE 推進体制を構築します。

※MICE とは、企業等の会議 (Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行 (Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議 (Convention)、展示会・見本市、イベント (Exhibition/Event) の頭文字であり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称です。

### 【2年度計画】

#### (1) MICE 事業構築

##### ア 大田区 MICE 誘致準備会の運用

有識者、観光・産業実務関連者により設置された会議体の運用を通じて、MICE 誘致の準備を行います。

##### イ 大田区ヘッドクォーター運営委託業務 (予定)

大田区への MICE 誘致に当たって、MICE に関する情報の集約、施設や宿泊施設等の手配、産業分野への情報提供を一元的に行う機関 (ヘッドクォーター) は、今後の新型コロナ収束後を見据え、設置可否の判断を行います。

##### ウ (仮称) 大田区 MICE ビューローの設置・運用 (予定)

「大田区 MICE 誘致準備会」を「(仮称) 大田区 MICE ビューロー」に名称を変更し、区、ヘッドクォーターとともに新型コロナ収束状況に合わせ近隣諸都市に向けた MICE 誘致活動を行う予定です。また、庁内関係部局で構成した大田区 MICE 推進庁内検討会議を開催して、区内の施設・会場を使用する MICE の誘致について検討します。

#### (2) MICE 推進の取組

##### ア 大田区 MICE 開催支援助成金の募集

MICE 誘致活動の一端として、当面は新型コロナ収束に向けた状況に対応しながら、近隣諸都市からの集客を目的とした開催に要する経費 (会場借上げ費等)、観光体験・ツアー催行経費、特産品購入経費等を支援・助成します。

##### イ 国際 MICE エキスポ (IME) への出展 (予定)

新型コロナ禍の影響を注視し、国内最大級の MICE 商談会「国際 MICE エキスポ」が開催された際には出展し、収束後の国際 MICE の区内開催に向けた準備を行います。

#### (3) MICE 勉強会、人材育成講座 (予定)

当面はマイクロツーリズムに重きを置き、近隣諸都市からの MICE 誘致に係る知識等を習得する MICE 関連事業者向け勉強会を実施します。また、区職員を東京都・(公財) 東京観光財団主催の職員向け人材育成講座に参加させ、新型コロナ収束後を見据えた人材育成を図ります。

## 【元年度実績】

### (1) 大田区 MICE 推進会議の設置・運用

MICE 誘致を組織的（産学公民連携）に推進するため、学識経験者、民間事業者等により構成される会議体を設置し、会議（5回）を実施し、「大田区における MICE 誘致の戦略とあり方」を策定しました。

### (2) MICE 支援助成制度の実施

令和元年 11 月 18 日付け「大田区 MICE 開催支援助成金要綱」を制定し、1 件の助成金を交付しました。

### (3) MICE 先進自治体への視察

MICE 誘致に実績がある福岡県福岡市・久留米市・北九州市、山口県下関市の 4 都市を視察しました。自治体とヘッドクォーターの連携体制など MICE 誘致について学び、次年度以降の MICE 誘致推進の参考としました。

### (4) 人材育成講座への参加

MICE 誘致に係る知識等を習得するため、東京都・(公財) 東京観光財団主催の MICE グローバル人材育成（基礎）へ職員が参加しました。

## 14 メディアを活用した観光情報等の発信【統合により新設】

※令和元年度：大田区公式観光サイト運用保守  
2 年度予算額 9,669 千円（元年度予算額 6,279 千円）

大田区の認知度向上、興味・関心の喚起を目的とする大田区公式観光サイトと、Facebook ページ「Visit Ota-Tokyo」をより緊密に連携させて相乗効果を図るため、令和元年度まで別事業であった「Facebook「Visit Ota-Tokyo」等における情報発信（P25 参照）」と「大田区公式観光サイト運用保守」を令和 2 年度より「メディアを活用した観光情報等の発信」として統合し、日本人を含めた観光客等への情報発信力をより強化します。

また、各マスメディアへの情報提供にも積極的に取り組むことで、国内外への大田区の魅力発信強化を図ります。さらに、with コロナに対応し、区民や近隣諸都市からの来訪者を対象としたマイクロツーリズムに焦点を当てた観光情報を発信するとともに、新型コロナウイルス収束後を見据え、回復が期待されるインバウンドに向け、来日前に旅行プランに組み込んでもらえるよう、外国人視点でのコンテンツを制作・発信します。これらの運用にあたっては、民間事業者のネットワーク及び情報発信のノウハウ等を活用し、より効果的な観光 PR を実施します。

### (1) 大田区公式観光サイト

- ・対応言語：日本語・英語・中国語（繁体字・簡体字）・韓国語・タイ語・フランス語
- ・URL：<https://ota-tokyo.com>

### (2) Facebook ページ「Visit Ota-Tokyo」

- ・対応言語：英語

### (3) 国内外マスメディアへの定期的な情報提供

- ・提供言語：日本語・英語

## 【2年度計画】

### (1) 大田区公式観光サイト

- ・言語別のトップページ改修やイベントページの充実、モバイルユーザーがより使いやすいページレイアウトへの再構築を行います。

### (2) Facebook ページ「Visit Ota-Tokyo」

- ・大田区公式観光サイトと事業統合し、効果的に大田区の魅力発信を行います。

### (3) 国内外マスメディアへの定期的な情報提供

- ・シティプロモーションの観点から、マスメディア向けに定期的な情報発信を行います。

## 【元年度実績】

### (1) 大田区公式観光サイト

サイトの運用、コンテンツの追加を行いました。

- ・年間延べページビュー数：584,468件
- ・コンテンツ投稿数：25回

### (2) Facebook ページ「Visit Ota-Tokyo」

- ・通算リーチ数（閲覧数）：505,357件（令和元年度）
- ・通算いいね数：10,357件（令和2年3月31日時点）
- ・コンテンツ投稿数：36回



大田区公式観光サイト



Facebook ページ「Visit Ota-Tokyo」



## 15 大田区観光 PR 特使事業

2年度予算額 155 千円 （元年度予算額 128 千円）

大田区の魅力を区の内外に発信するため、区にゆかりがあり、文化・芸術、芸能、スポーツ等各界で活躍・活動している個人 16 人及び 3 団体等に「大田区観光 PR 特使」を委嘱しています。それぞれの活躍の場や機会を通じて、区の魅力を広く発信してもらうことで、区の認知度向上や観光振興を図っています。

### 【個人】

	氏名	活動分野
1	井上 幹彦	文化・芸術分野（馬込文士村）
2	岩井 克文	国際交流分野（グローバルビジネス）
3	エカート ステファン	国際交流分野（グローバルビジネス・教育）
4	河原 裕子	国際交流分野（「世界一大きな絵」）
5	小林 裕明	国際交流分野（ネパール）
6	近藤 和幸	文化・芸術分野（銭湯）
7	近藤 忠夫	国際交流分野（大連市）
8	千葉 謙吾	国際交流分野（カンボジア）
9	原 圭介	産業分野（スイス）
10	細貝 淳一	産業分野（下町ボブスレープロジェクト）
11	守岡 喜一	国際交流分野（インド）
12	山本 恵美子	国際交流分野（教育）
13	湯澤 元一	文化・芸術分野（太鼓）
14	三笑亭 夢太朗	文化・芸術分野（落語）
15	高橋 ひとみ	文化・芸術分野（演劇）
16	高橋 勝次	スポーツ分野（キックボクシング）

### 【団体・その他】

	団体名	概要
1	シクラメン	3MC+1 トラックメイカーの男性 4 人組 アーティスト
2	東京羽田ヴィッキーズ 女子バスケットボールクラブ	女子プロバスケットボールチーム
3	プロバスケットボールチーム アースフレンズ東京Z	男子プロバスケットボールチーム
4	はねぴょん	大田区公式 PR キャラクター

## 【2年度計画】

大田区観光 PR 特使と連携して、引き続き大田の魅力を国内にとどまらず、海外へも広く発信します。

## 【元年度実績】

### (1) シクラメン（歌手）

大田区観光 PR 曲及び区内各所で撮影したミュージックビデオの制作をはじめ、国際都市おおたフェスティバル in「空の日」羽田への出演、ライブ会場における区内店舗を紹介するリーフレットの作成・配布等、区内外に向けた大田区の PR を行いました。

### (2) 東京羽田ヴィッキーズ女子バスケットボールクラブ（女子プロバスケットボールチーム）

試合時における観光パンフレットの配布や、区内商店街との連携、地域イベントへの積極的な参加により大田区を PR。また、区立小中学校におけるスポーツ教育支援や地域における貢献活動を行いました。

### (3) アースフレンズ東京Z（男子プロバスケットボールチーム）

試合時に PR ブースを設置し、観光パンフレットの配布などを行い、全国各地で大田区を PR。また、区立小中学校におけるスポーツ教育支援や区内産学連携の取組等、地域における貢献活動を行いました。

### (4) 高橋 勝次氏（キックボクサー）

令和2年1月24日に、世界キックボクシング協会（WKBA）世界スーパーライト級王者の高橋勝次氏を観光 PR 特使に委嘱しました。



シクラメンによるステージ  
(国際都市おおたフェスティバル in「空の日」羽田)



高橋 勝次氏  
観光 PR 特使委嘱式

## 16 大田の魅力を活用した地域にぎわい事業

2年度予算額 5,250 千円 （元年度予算額 2,750 千円）

大田区にゆかりのある映画・ドラマ作品又は区内の観光資源等を活用し、当面は新型コロナ収束の推移を注視しながらマイクロツーリズムの推進による区の認知度向上、区への誘客及び回遊・消費向上につなげる事業を実施します。また、区民の地域に対する愛着・誇りを高める取組を行い、区民による区外に向けた大田区観光推奨を促します。

## 【2年度計画】

### (1) 地域 PR 事業

大田区に関連のある映画・ドラマ作品又は区内の観光資源等を活用して事業を実施するとともに、メディア等での露出向上を図り、区の認知度向上及び近隣諸都市からの誘客を促進します。また、区民自身の事業参加により、区の魅力の再発見を促すことも目的とします。

### (2) 広域的連携事業

観光資源の一部を共有する品川区と連携して事業を実施することで、相乗・発信効果を高め、近隣諸都市からの区への誘客、にぎわいの創出を図ります。

## 【元年度実績】

### (1) 地域 PR 事業

洗足池周辺エリア回遊イベント

- ・実施期間：令和元年9月7日（土）～11月30日（土）
- ・内容：勝海舟記念館の開館を契機とし、洗足池を拠点にした回遊促進のため、洗足池周辺エリアの飲食店等のクーポンを添付した冊子「おさんぽ手帖」を制作しました。また、勝海舟記念館開館日には、洗足池駅前で地元商店によるマルシェの開催及びポートハウス屋上の開放や特別抽選会などを実施しました。
- ・協力店舗数：23店
- ・クーポン回収実績：1,528枚
- ・成果：「おさんぽ手帖」のクーポンが話題となり、近隣住民のみならず東急沿線地域から、洗足池周辺エリアに誘客を促進することができました。

### (2) 大田・品川地域 PR 事業（広域的連携事業）

ア 東海道浮世絵スタンプラリー

- ・実施期間：令和元年12月10日（火）～令和2年2月2日（日）
- ・参加者数：延べ271人

イ 東海道おたのしみウォーク

- ・実施日：令和2年1月26日（日）
- ・参加者数：146人

ウ 中原街道沿いを歩いて楽しむ「歴史と商店街さんぽ」

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

エ 東海道エリアガイド増刷

- ・増刷数：10,000部

成果：両地域に共通する観光資源である、東海道エリアを歩くことにより、両地域の魅力発信とにぎわい創出に相乗効果が生まれました。

## 17 観光 PR のための展示及び PR ツール等の制作

2 年度予算額 2,098 千円 (元年度予算額 1,306 千円)

with コロナに対応したマイクロツーリズムに焦点を当て、観光 PR のための展示と PR ツール等の制作を行います。

### 【2 年度計画】

#### (1) 展示物・掲示物制作・改定費

- ・パンフレットの配架やパネル・ポスターなどを用いた企画展示等を実施します。

#### (2) 大田区 PR ツール等製作費

- ・展示物やイベントなどで配布するノベルティ等を製作します。

#### (3) イベント等出展業務委託

- ・各イベントにおいて、PR や物販等の出展委託をします。

### 【元年度実績】

#### (1) 展示物・掲示物制作・改定費

- ・イベント出展用パネル制作等

#### (2) 大田区 PR ツール等製作費

- ・大田区観光 PR 用オリジナルバッグ製作等

## 18 羽田空港「空の日イベント」連携事業

※令和元年度：「空の日」イベントでの「国際都市おおた」PR 事業  
2 年度予算額 1,814 千円 (元年度予算額 22,829 千円)

大田区は、平成 29 年 3 月に「国際都市おおた」を宣言し、「未来へ躍動する国際都市 おおた」の実現に向けて、「観光の魅力」「多文化共生の大切さ」「産業の力強さ」を結集し、「地域の力」を活かして推進しています。

羽田空港で開催される「空の日」フェスティバルと連携することで新型コロナ収束後を見据えて、「国際都市おおた」をより広く国内外にアピールするとともに、来場した区民の皆様が「世界とつながるおおた」を体感し、大田区への誇り・愛着を持ち、来年開催予定の東京 2020 大会に向けたおもてなし意識を醸成していただけるよう取り組みます。

### 【2 年度計画】

- ・実施日：令和 2 年 9 月下旬 (予定)
- ・会 場：羽田空港周辺会場
- ・主 催：(仮称) 羽田空港「空の日イベント」実行委員会・大田区
- ・内 容：国内旅行者等に向けた大田区プロモーション、国際交流ブース出展等

#### 【元年度実績】

- ・実施日：令和元年9月28日（土）
- ・会場：羽田空港旧整備場地区
- ・主催：国際都市おおたフェスティバル in 「空の日」 羽田実行委員会・大田区
- ・内容：世界各国の特産品の販売、日本の伝統文化体験、空港関係団体による展示・販売、国内先端産業の展示、世界の音楽パフォーマンス、郷土芸能の披露など
- ・来場数：約30,000人

### 19 大田区公式 PR キャラクター「はねぴょん」の活用

2年度予算額 4,588 千円 （元年度予算額 6,975 千円）

大田区公式 PR キャラクター「はねぴょん」を積極的に活用することにより、大田区の魅力を区内外に発信し、シティプロモーションを推進するとともに、区民の大田区への愛着を高めていきます。

#### 【2年度計画】

区内外のイベント出演や、グッズの販売、専用 Twitter の運用などを行います。

#### 【元年度実績】

専用 Twitter の運用、着ぐるみの貸出、デザイン使用申請の受付、グッズ販売などを行いました。

- ・Twitter フォロワー数：3,619 件（令和2年3月31日現在）
- ・着ぐるみ貸出件数：115 件
- ・デザイン使用申請件数：476 件
- ・グッズ製作：10 種類
- ・グッズ販売場所：29 か所

### 20 ナイトタイムコンテンツによる地域にぎわい事業【新規】

2年度予算額 8,000 千円

新型コロナ感染拡大によるインバウンド消失及び東京 2020 大会延期に伴い、当初のナイトタイムコンテンツによるにぎわい創出から事業内容を変更し、国内旅行者向けに運行するラッピング電車実施に合わせ、駅の装飾や商店街 PR を行い、区内商店街等への誘客を図ります。

#### 【2年度計画】

- ・実施期間：令和2年9月～11月（予定）
- ・内容：鉄道事業者、商店街と連携し、駅の装飾及び商店街回遊事業等

## 21 大田区観光情報センターの運営

2年度予算額 55,619 千円 （元年度予算額 51,538 千円）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年4月8日から当面の間、営業時間短縮及び業務の縮小

京急蒲田駅直結の商業施設内に「来訪者と『まち・ひと』をつなぐ観光拠点」をコンセプトとした、大田区観光情報センターを設置し、観光案内をはじめ、来訪者のニーズに合わせたサービス（日本文化体験、物販・展示等）を提供しています。また、来訪者に対し、区内の様々な場所を案内することで、回遊性の向上を図るとともに、区内の多種多様な物品やお土産等の展示・販売を通じ区民の皆様にも大田区の魅力を再発見していただいています。

また、区民や区内観光事業者を対象に「おもてなし外国語講座」等を実施し外国人旅行者等への受入気運の醸成を図っています。

- ・名称：大田区観光情報センター
- ・住所：大田区蒲田四丁目 50 番 11 号 ウィングキッチン京急蒲田M2F
- ・営業時間：9：00～21：00（年中無休）
- ・電話：03-6424-7288
- ・URL：<https://tokyoactivity.com/ja/>
- ・開設日：平成27年12月11日（金）
- ・サービス内容：
  - ア 観光案内：国内外の言語による大田区の観光案内
  - イ 展示・物販：展示・物販を通じた大田区の観光・食・技術のPR
  - ウ 日本文化体験：茶道、華道、折り紙体験等の日本文化体験の実施（有料・無料あり）
  - エ イベント等を通じた区民と来訪者の交流促進
  - オ Wi-Fi ルーターレンタル業務

### 【2年度計画】

- ・インバウンド回復が見込めない現在、まずは区内の観光資源等を再発見いただける展示やワークショップ等、区民の皆様にも区へのさらなる愛着と誇りを感じていただき、魅力発信の担い手となっていただけるような取組を行います。
- ・大田区ウェルカムショップ・まちかど観光案内所との連携を強化し、新型コロナウイルス収束後までは区民及び近隣諸都市からの来訪者を対象とした区内回遊性向上及び消費活動促進を図ります。
- ・区内宿泊施設等と連携し、客室利用案内に大田区観光情報センターの周知ページを追加していただく等、主に日本人の区内宿泊者に向け、より効果的な広報を行います。
- ・デジタルサイネージを活用し、観光案内及び災害時等における情報発信のさらなる充実を図ります。

### 【元年度実績】

- ・ 来場者数：69,648人（うち外国人5,697人）
- ・ 観光相談件数：4,425件（うち外国人2,855件）
- ・ 文化体験利用者数：有料体験149人（うち外国人141人）、無料体験1,722人（うち外国人1,623人）  
無料書道体験を開始（令和2年1月から）
- ・ 実施企画：企画展・イベント等：32回実施、「おもてなし外国語講座」：41回実施

成果：「大田のお土産100選」の販売では、食品を中心に売上が好調で、国内外へのギフトとして購入いただく方が多くなりました。新たな試みとして区内障がい者支援施設で作られた「おおむすび」商品を販売し、地元の方を中心に好評となるなど、区内事業者・施設と連携した展示・イベントを企画・実施し、区内循環の強化が図られました。また、七夕やクリスマス等季節のワークショップには、国内外問わず多くの来館者が参加し、センターの認知度が向上しました。



## 22 羽田空港第3ターミナル大田区観光情報コーナーの運営

2年度予算額2,398千円（元年度予算額2,402千円）

※新型コロナ感染拡大防止のため、令和2年4月11日から5月31日まで営業休止

羽田空港第3ターミナル2階国際線到着ロビーに大田区の観光情報コーナーを設置し、パンフレットの配布、産業関連の展示を通じて、観光情報を発信し、大田区への誘客を図っています。また、東京観光財団が運営する東京観光情報センターと大田区観光情報センターとの連携も行っています。

- ・ 名称：羽田空港第3ターミナル大田区観光情報コーナー
- ・ 所在地：大田区羽田空港二丁目6番5号羽田空港第3ターミナル2階到着ロビー「東京観光情報センター」内
- ・ 営業時間：5：30～25：00（年中無休）
- ・ 内容：大田区の観光・産業展示・パネル等展示、観光パンフレットの配布



### 【2年度計画】

- ・ 新型コロナ収束後を見据えながら、大田区への誘客のための観光PRを実施します。
- ・ 今後の新型コロナ収束後に向けて、訪日外国人旅行者にインパクトのあるディスプレイを検討・設置準備していきます。

#### 【元年度実績】

- ・食品サンプルの展示から、羽田空港から蒲田エリアまでのジオラマの展示へ入れ替えしました。
- ・成 果：国際線利用者へ区の観光情報を発信し、認知度向上及び誘客を図りました。

## 23 観光関連事業者等との連携（大田区観光推進連絡協議会運営）

2年度予算額 327 千円（元年度予算額 940 千円）

区内観光関連事業者・関連機関との連携を図り、大田区の観光振興を推進することを目的とし、情報交換等を行っています。会員間の連携を強化するとともに、大田区の観光魅力の創出や誘客、回遊促進の検討を行っていきませんが、新型コロナ禍に直面している本年はマイクロツーリズム等、今できる観光の可能性について検討します。

#### 【2年度計画】

- （1）観光推進連絡協議会の開催 1回予定
- （2）区内施設・観光資源に関する視察の実施 1回予定

#### 【元年度実績】

- （1）観光推進連絡協議会の開催 1回
- （2）区内施設・観光資源に関する視察の実施
  - ・開催日：令和2年2月26日（水）  
※新型コロナ感染拡大防止のため中止
  - ・場 所：ヤマトクロノゲート、ANA 整備工場、勝海舟記念館、ゆいっつ、大田スタジアム
  - ・概 要：区が保有する観光資源への理解を深めることで新たな魅力を発見し、観光客誘客、回遊促進につなげるため、バスによる区内視察。



## (2) 国際都市・多文化共生推進課

羽田空港を抱える大田区には、100 か国を超える国から多くの外国人来訪者が訪れ暮らしており、社会経済活動のグローバル化の進展や入管法の改正に伴い、新型コロナ感染症拡大収束後は再び外国人区民及び外国人来訪者数は増加に転じることが予想されます。その一方、外国人区民が抱える課題は多様化しており、そうした生活ニーズに対応し、誰もが安心かつ快適に過ごせる共生のまちづくりをめざしています。

区は平成31年3月に『「国際都市おおた」多文化共生推進プラン』を策定し、多文化共生施策に加え、国際交流・国際理解に関する施策も多く盛り込み事業を展開しています。

今後とも、庁内関係部局や国際交流団体、ボランティア、民間など様々な主体との連携を強固にして、日本人区民も外国人区民もそれぞれが持つ多様な個性と能力を発揮し、誰もが安心かつ快適に生活できる活力ある地域づくりとともに、「国際都市おおた」の存在感を国内外に発信する事業を進めていきます。

予算事務事業名	事業名	頁
<b>文化国際費</b>		
<b>姉妹・友好都市等交流事業</b>		
	1 中国北京市朝陽区等との交流の推進	37
	2 アメリカ合衆国セーラム市との交流の推進	39
<b>国際都市事業の推進</b>		
	3 国際都市事業	40
<b>(一財) 国際都市おおた協会の運営</b>		
	4 一般財団法人国際都市おおた協会の運営 (運営費補助・事業費補助・施設運営費)	42
<b>国際交流事業</b>		
	5 交流事業費(その他の海外都市との交流)	51
<b>多文化共生推進事業</b>		
	6 多文化共生のネットワークづくり	51

### 1 中国北京市朝陽区等との交流の推進

2年度予算額 5,448 千円 (元年度予算額 5,964 千円)

大田区と朝陽区の交流は、昭和51年(1976年)に区長が朝陽区を訪問し、友好交流をしたことをきっかけに、その後、両区長の相互訪問や青少年交流を積み重ね、日中平和友好条約締結20周年を迎えた平成10年(1998年)9月に友好都市となり、交流が続いています。

大田区と大連市は、平成21年(2009年)10月に友好協力関係都市となり交流を行っています。

今年度は、日中両国の相互理解と友好を深めるため、北京市朝陽区の第9回朝陽区日中青少年友好訪問団受入の予定でしたが、新型コロナ感染症の影響により中止します。大連市からの青少年代表団の受入は、現時点では予定しています。

## 【2年度計画】

### (1) 第9回朝陽区日中青少年友好訪問団受入（中止）

- ・期 間：令和2年8月21日（金）～25日（火）
- ・内 容：表敬訪問、大田区内視察、学校交流など
- ・参加者数：12人（青少年10人、引率2人）（予定）

### (2) 大連市青少年代表団受入（予定）

- ・期 間：令和3年2月17日（水）
- ・内 容：表敬訪問、区内小中学校との交流など
- ・参加者数：50人（予定）

## 【元年度実績】

元年度は次の5つの訪問団の受入れを行いました。青少年交流では、派遣した大田区の学生は中国の学生と交流することで国際的な視野を養い、受入れでは区内小中学生が交流を通じて、国際理解を深めることができました。代表団受入では、区内福祉施設の視察等を通じて、日本の福祉制度を紹介するとともに、中国で生じている課題について、情報交換を行い、互いの知見を深めることができました。

### (1) 大連市政治協商会議代表団受入（王副主席一行）

- ・期 間：令和元年4月23日（火）
- ・内 容：表敬訪問、区内福祉施設視察など
- ・参加者数：6人

### (2) 大連市青少年代表団受入（美育研学・・・大連市の青少年を中心とした、青少年交流、文化交流を行う、大連市中日友好協会主催の交流事業）

- ・期 間：令和元年7月17日（水）
- ・内 容：区内小中学校との交流、青少年の芸術文化交流など
- ・参加者数：400人

### (3) 第10回大田区日中青少年友好訪問団派遣

- ・期 間：令和元年8月1日（木）～8月7日（水）
- ・内 容：表敬訪問、北京市内視察・大連市内視察、学校交流、ホームステイなど
- ・参加者数：12人（内引率2人）

### (4) 大連市代表団受入（譚書記一行）

- ・期 間：令和元年11月13日（水）
- ・内 容：表敬訪問
- ・参加者数：11人

### (5) 大連市外字弁公室代表団受入（黎主任一行）

- ・期 間：令和元年12月4日（水）
- ・内 容：表敬訪問、区内福祉施設視察など
- ・参加者数：2人



第10回大田区日中青少年友好訪問団派遣の  
北京市内視察時の記念写真

## 2 アメリカ合衆国セーラム市との交流の推進

2年度予算額 3,820 千円 （元年度予算額 706 千円）

大森貝塚を発見したモース博士は、セーラム市にあるピーボディー科学アカデミー（現ピーボディー・エセックス博物館）の第3代館長だったことを縁に、昭和59年、大田区立郷土博物館とピーボディー博物館（現ピーボディー・エセックス博物館）が姉妹館提携をしました。それが発展して、平成3年、大田区とセーラム市は姉妹都市となり、交流を続けています。

姉妹都市セーラム市との交流を深めるため、隔年で公募した区民を派遣するとともに、セーラム市民訪問団の受け入れを支援しています。今年度は派遣の予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により中止します。

### 【2年度計画】

#### （1）第24回セーラム市区民親善訪問団派遣（中止）

- ・期 間：令和2年11月の約1週間
- ・内 容：市庁舎、ピーボディー・エセックス博物館、学校等訪問、ホームステイ、セーラム市民との交流会、セーラム市近郊を観光（旅費は団員負担）
- ・参加者数：20人程度

### 【元年度実績】

#### （1）セーラム市民訪問団受入

- ・期 間：令和元年7月2日（火）～7月15日（月・祝）
- ・内 容：区長・区議会表敬訪問、学校訪問、区民交流会、区内・都内見学、茶道・着付体験など
- ・参加者数：14人
- ・成 果：区内国際交流団体「大田セーラムクラブ」が中心となり、各行程への随行や滞在中のホームステイを行いました。また、一般公募区民との「区民交流会（たこ焼きパーティー）」を通し、草の根交流を深め、今回、参加いただいた方々からは、「アメリカ文化をもっと知りたい」、「英語を頑張りたい」、「今回出会えたセーラムの友人に会いに行きたい」等の声をいただき、地域での「国際都市おおた」の推進に資する事業となりました。



令和元年度セーラム市民訪問団歓迎会



セーラム市民訪問団の茶道体験の様子

### 3 国際都市事業

2年度予算額 2,808 千円 （元年度予算額 2,790 千円）

「国際都市おおた」推進に向け、区民をはじめとする「地域力」との連動した取組や国内外への情報発信を行います。併せて、区役所各部局との調整・連携を図り、全庁的な取組につなげていきます。

#### 【2年度計画】

##### （1）国際都市連携調整会議

平成 31 年 3 月に新たに策定された『「国際都市おおた」多文化共生推進プラン 2019-2023 年度版』に掲げられた計画事業を着実に実行していくための全庁的な検討の場として実施します。

・回 数：2 回程度開催予定

##### （2）18 色の国際都市事業の実施

国際都市・多文化共生推進課と 18 特別出張所が地域団体と連携しながら各地域の独自性を生かし、「国際都市おおた」を実感できるような取組を地域とともにイベント等を通して行っていきます。これにより地域力の向上を図り、さらに、「国際都市おおた」の存在感向上につなげることで、地域力と国際都市間での自律的な好循環が生み出されるよう地域をサポートしていきます。

##### （3）国際都市おおた大使（来～る大田区大使）

18 歳以上の区内在住・在勤等、大田区にゆかりのある外国籍の方等を国際都市おおた大使として委嘱します。

国際交流・多文化共生・観光・文化・スポーツ・産業・教育の分野から、大田区の魅力を SNS 等を通じて国内外へ発信します。大田区主催のイベントにも参加いただき、国際交流や多文化共生を推進します。

##### （4）「国際都市おおた」啓発活動

各国との国際交流や各種イベント事業の中で、「国際都市おおた」を啓発していく PR 用グッズを配布します。

#### 【元年度実績】

##### （1）国際都市連携調整会議

・内 容：平成 30 年度「大田区多文化共生推進プラン」推進状況調査結果について  
海外からの視察等の対応について  
意見の聴取（調整会議委員への国際都市おおたに関するアンケート実施）

・構 成 員：各部庶務担当課長

・開 催 日：令和 2 年 3 月 9 日（月）グループウェアを用いて実施

・成 果：各部における様々な取組をとりまとめ、検討する場となりました。2 年度は、『「国際都市おおた」多文化共生推進プラン 2019-2023 年度版』策定後、はじめての各部での取組状況の報告を予定しています。

## (2) 18色の国際都市事業の実施

- ・内 容：各特別出張所が国際都市事業と位置付けたイベント等の実施
- ・実施回数：16回（中止7回：荒天による中止1回、新型コロナ感染拡大防止による中止6回）
- ・成 果：各地域が独自性を生かした国際交流・多文化共生のイベント等を実施することで、地域力の向上と「国際都市おおた」のアピールにつなげることができました。



【大森東特別出張所】  
第9回いつつのわふれあい祭り



【入新井特別出張所】  
入新井盆踊り大会

## (3) 国際都市おおた大使（来～る大田区大使）

- ・人 数：28人
- ・出身国・地域：11か国・地域 アメリカ（4人）、イタリア（2人）、インドネシア（8人）、スウェーデン（1人）、タイ（2人）、台湾（2人）、中国（5人）、トルコ（1人）、フィリピン（1人）、ベトナム（1人）、パラグアイ（1人）
- ・活動件数：43件
- ・成 果：これまで委嘱されたことのない1か国（トルコ）が加わり、区の魅力をさらに国内外に44件発信することができました。

※（累計24か国・地域で101人を任命）



令和元年度国際都市おおた大使 委嘱

## (4) 「国際都市おおた」啓発用品の配布

「国際都市おおた」をPRする啓発グッズ（国際都市おおた宣言を記載したメモ帳など）を製作し、各国との国際交流や各種イベント事業で配布しました。OTAふれあいフェスタ2019では、ワークショップや区企画参加者へ景品引換券を渡し、国際交流団体出店エリアで啓発グッズを受け取るよう工夫しました。これにより、国際交流エリアでの回遊性を向上させ、多くの方に国際都市おおたを体感いただくことができました。

## 4 一般財団法人国際都市おおた協会の運営（運営費補助・事業費補助・施設運営費）

2年度予算額 181,801 千円 （元年度予算額 90,457 千円）

一般財団法人国際都市おおた協会は、大田区における持続的な国際交流と多文化共生の推進を担う組織として、平成29年12月に設立されました。協会は、外国人や外国の文化を様々な分野の地域力と結び付け、地域における多文化共生、国際交流、国際人材育成、国際協力等の充実を図る活動を行っています。

- ・名称：一般財団法人 国際都市おおた協会
- ・住所：大田区山王二丁目3番7号 大森まちづくり推進施設 4階
- ・電話：03-6410-7981
- ・ファックス：03-6410-7982
- ・メール：info@ota-goca.or.jp
- ・ホームページ：https://www.ota-goca.or.jp/

【2年度計画】※新型コロナウイルス感染拡大収束の動向を見据えながら、柔軟な事業運営を行います。

### (1) 相談・情報提供

外国人区民等に対し、多言語による相談窓口を設置し、情報提供を含めた生活相談を行います。

- ・場所：大田区多文化共生推進センター（mics おおた内）
- ・開設時間：月曜日～金曜日 10:00～17:00

第1・第3日曜日 13:00～17:00

※ただし、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）及び大田区消費者生活センター臨時休館日は休業します。

#### ア 一般相談

※その他の言語は、要相談

言語	月	火	水	木	金
英語	10:00～17:00	10:00～17:00	10:00～17:00		10:00～17:00
中国語	10:00～17:00	10:00～17:00		10:00～17:00	10:00～17:00
タガログ語	10:00～17:00				10:00～17:00
ネパール語			10:00～17:00		
ベトナム語				10:00～17:00	

#### イ 専門相談

弁護士による法律相談（事前予約制）

開設時間		担当
第1・3日曜日	13:00～17:00	弁護士等・各言語通訳者

## ウ 区内転入者に対する生活情報支援

外国籍の転入者向けに日本の生活習慣・ルール・マナーの情報提供を行います。

言語	曜日	時間
英語	金曜日	13:00～14:00
中国語	火曜日	
タガログ語	月曜日	
ネパール語	水曜日	
ベトナム語	木曜日	

### (2) 通訳・翻訳

区立小中学校をはじめとする区内にある公的施設等へ通訳者を派遣します。また、行政情報の多言語化をはじめとする公的文書の翻訳を行うほか、区へ提出する文書の翻訳協力を行います。

### (3) 日本語学習の支援

- ・生活上の基本的な日本語を学ぶための初級日本語講座や、海外から転入した子どもをはじめとする不就学・未就学の子など、小中学校への就学時にサポートを要する様々な子どもたちを支援することも日本語教室などを開催します。
- ・外国籍保護者を対象に学校プリントを読むときのコツや学校特有の単語の意味等を学ぶための講座を開催します。
- ・ボランティア日本語教室で活動している人や入門講座修了者を対象にスキルアップのための講座を開催します。
- ・外国籍の子どもの学習支援を行うボランティアを養成するための講座を行うとともに、同講座の受講生が指導経験を積む場として、夏休みの宿題や自由研究のサポートをする教室を開催します。

### (4) 災害時外国人支援ボランティア養成

災害時に通訳・翻訳等により外国人支援を行うボランティアを募集・登録し、養成・スキルアップのための講座や訓練を開催します。

### (5) 多文化共生の意識啓発

多様な文化や価値観への理解を深めるための講座やワークショップを実施し、区民一人ひとりの多文化共生意識の醸成と相互理解・交流への促進を行います。

### (6) 地域における国際交流

日本語学習者に学習成果を発表する場を提供する「日本語でスピーチ」、世界の文化や日本の伝統文化を体験し交流ができる多文化交流会、外国人留学生などが日本人の家庭を訪問し、日本人の生活文化を体験できるホームビジットイベントを開催し、地域住民同士の相互理解と交流を促します。

### (7) 国際交流ボランティアの活躍支援

- ・国際交流ボランティアの登録を行うとともに、スキルアップ講座を開催します。また、国際交流ボランティアの中で実行委員会をつくり、地域で活躍する外国人の取材記事を作成するほか、交流会を開催し、国際交流ボランティア同士の連携や親睦を深めます。
- ・外国籍の国際交流ボランティアを講師とした語学講座を開催します。

### (8) 就労・定着支援（福祉編）

外国人が福祉施設で働くために必要な日本語やマナー等を学ぶ講座・ワークショップを開催し、定着の支援を行います。

(9) 国際協力の意識啓発

区立小中学校と連携して、JICA 青年海外協力隊員経験者などの海外駐在経験者を講師に招き、講演会を開催します。

(10) 広報紙の発行

協会のニュースレター（年4回予定）とリーフレットを発行します。

(11) 公式 SNS による情報発信【新規】

Twitter、Facebook、Instagram、LINE 公式アカウントを運用し、イベント・講座情報や災害発生時の緊急情報などを随時発信します。

(12) 多言語情報紙の作成（国際都市・多文化共生推進課事業）

外国人区民が必要とする区政情報をまとめた「Ota City Navigation」を6か国語（やさしい日本語、英語、中国語、タガログ語、ネパール語、ベトナム語）で作成し、発信します。

※年8回、各回4,950部を発行予定

(13) 世界の国の情報発信【新規】（国際都市・多文化共生推進課事業）

各国の文化紹介等の記事を作成し、異文化理解を促進します。

(14) 国際都市おおた協会本部及び多言語相談窓口の移転

令和4年度の移転に向けて、内装の実施設計等を行います。

【元年度実績】

(1) 多言語相談窓口の運営

ア 多言語相談

外国人が日常生活で直面する様々な課題（在留資格、税金、医療・保険、結婚、労働等）に関する相談を多言語で受け付けるとともに、的確に関係機関につなげる形で支援を行いました。

- ・対応言語：英語、中国語、タガログ語、ネパール語、ベトナム語

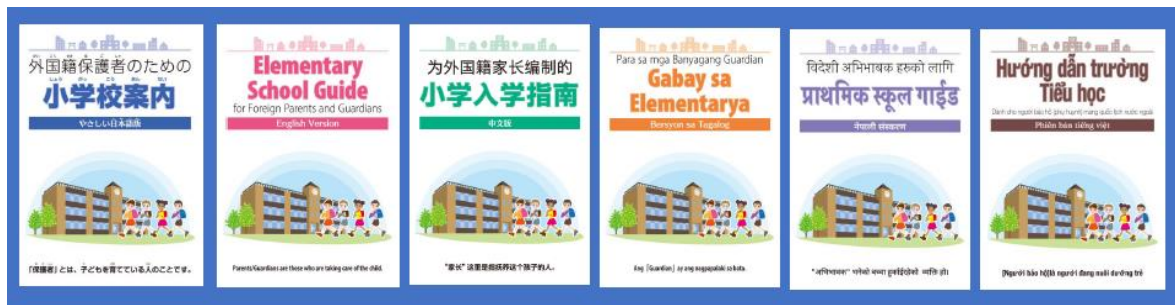
※そのほかの言語については、事前予約にて対応しました。（対応言語：スペイン語、ロシア語、フランス語、ベンガル語、ウルドゥー語など）

- ・相談件数：2,586件

イ 外国籍保護者のための学校案内の作成

日本の教育制度や学校生活における習慣等を多言語で分かりやすく伝えるための小学校案内を作成しました。同案内は、協会ホームページにアップし、ダウンロードしてできるようにしました。また、紙冊子として購入を希望される方には、協会事務所にて1冊300円（印刷代）で販売しています。

【対応言語：やさしい日本語、英語、中国語、タガログ語、ネパール語、ベトナム語】





## (2) 通訳者派遣及び翻訳・校正

外国人の保護者が参加する小中学校の三者面談や保育園の保護者会、区が実施する子どもの健診などに通訳者を派遣し、円滑にコミュニケーションが図られるよう支援しました。また、行政情報の多言語化をはじめとする公的文書の翻訳を行うほか、婚姻手続き等で区に提出する文書の翻訳を実施しました。

- ・通訳者派遣件数：142 件
- ・翻訳件数：817 件
- ・校正件数：89 件

## (3) 2020 おもてなし健康通訳ボランティア育成講座

日時	事業内容・実績
全3回 6月8日(土)～ 22日(土)	[第1回] おもてなし健康通訳の基礎について ・受講者：16人 [第2回] 実際の場面を想定したロールプレイ ・受講者：15人 [第3回] 実際の場面を想定したロールプレイ等 ・受講者：16人

### 【(1)～(3) 主な成果】

- ・多言語相談窓口では相談者のニーズにあわせ、母語によるきめ細かい相談対応や通訳・翻訳による支援を行い、地域での円滑な生活に寄与しました。
- ・英語による健康通訳ボランティア育成講座を通じて通訳者の基本的なスキルを学ぶとともに、真夏の東京2020大会開催時に熱中症等、体調不良となる外国人を想定し、それらの方々を支援できる人材を育成しました。

## (4) 災害時外国人支援

日時	事業内容・実績
6月30日(日)	【災害時外国人支援ボランティア講習会「基礎講習」】 ①大田区の防災対策についての講義 ②災害時の外国人支援、やさしい日本語についての講義 ・受講者：41人
8月25日(日)	【災害時外国人支援ボランティア講習会「普通救命講習」】 心肺蘇生、AED、異物除去、止血法などの講習 ・受講者：10人
8月31日(土)	【災害時外国人支援ボランティア講習会「防災・災害に関する通訳のポイント講座」】 災害時の通訳の注意点などについて学ぶ講座 ・受講者：17人
9月15日(日)	【外国人のための応急救護訓練】 119番通報、AED、応急担架の作り方などの訓練 ・参加者：外国人15人 ・通訳等サポート：災害時外国人支援ボランティア10人
10月3日(木)	【災害時外国人支援ボランティア講習会「翻訳シミュレーション訓練」】 東京都国際交流委員会から依頼された文書を翻訳する訓練 ・参加者：12人
10月26日(土)	【外国人のための防災訓練(蒲田国際フェスティバル2019)】 起震車体験、煙体験、AED訓練、119番通報訓練、消火器訓練等 ・通訳等サポート：災害時外国人支援ボランティア5人

【主な成果】

災害時外国人支援ボランティア向けの各種講習会を開催するとともに、外国人の応急救護訓練や蒲田国際フェスティバル2019にも通訳サポート等としてボランティア参加していただき、知識・技能の両面のスキルアップにつなげました。

(5) 日本語学習の支援

ア 日本語教室

日時	事業内容・実績
通年開催 (在籍期間は原則6か月以内)	【おおたこども日本語教室】 小中学校への就学に向けて、ひらがな・カタカナ・漢字の読み書きなど、学校生活に必要な言葉を学ぶ教室 [蒲田教室] 受講者：64人（うち、40人就学） [大森教室] 受講者：15人（うち、12人就学）
[第1期] 全8回 4月7日（日） ～6月2日（日） [第2期] 全9回 8月4日（日） ～9月29日（日）	【初級日本語講座】 ひらがなやカタカナの読み書き、簡単な会話など、生活上の基本的な日本語及び緊急・災害時の対応方法について学ぶ講座 [第1期] 受講者：27人 [第2期] 受講者：20人
全5回 10月21日（月） ～11月25日（月）	【中級日本語講座「学校プリントを読もう」】 学校で配布されるプリントの読み方のコツや学校特有の単語の意味等を学ぶ講座 ・ 受講者：12人

【主な成果】

- ・おおたこども日本語教室では、外国にルーツのある子どもたちが不安に思う言葉の壁を取り払い、円滑な就学につながるよう支援しました。
- ・初級日本語講座を通じて、地域で暮らす上で必要不可欠となる、生活上の基本的な日本語の習得に繋がりました。
- ・中級日本語講座「学校プリントを読もう」では、プリントに書かれている内容の理解だけでなく日本の学校生活に対する外国籍保護者の理解を深めることができました。

イ 日本語ボランティアの養成

日時	事業内容・実績
全10回 9月20日（金） ～11月22日（金）	【日本語ボランティア入門講座】 日本語ボランティアを新しく始めたい人や基本を学び直したい人のための基礎的な講座 ・ 受講者：31人
[第1回] 12月5日（木） [第2回] 12月10日（火） [第3回] 12月21日（土）	【日本語ボランティアステップアップ講座】 すでに地域のボランティア日本語教室で活動している人や入門講座修了者を対象としたスキルアップのための講座 [第1回] 受講者：12人 [第2回] 受講者：8人 [第3回] 受講者：13人

【主な成果】

各受講者のレベルに沿った養成講座を開催することで、日本語ボランティア全体のスキルアップを図りました。また、他のグループで活躍している人の話を聞く機会を得て刺激を受けるとともに、ボランティアの方々のつながりの形成に役立てることができました。

(6) 多文化共生の意識啓発と相互理解の促進

ア 国際理解講座・ワークショップ

日時	事業内容・実績
7月18日(木)	【国際理解講座「ごはんを通して世界を覗くーワークショップ“地球の食卓”】 食事をテーマに世界の多様性や資源・健康に関する世界の現状を考える講座 ・受講者：19人
8月24日(土)	【国際理解講座「となりのアフリカ」】 アフリカの基本情報や魅力、日本とのつながりなどを学ぶ講座 ・受講者：40人
1月25日(土)	【国際理解講座「世界と日本の子どものために」】 国内外の子どもの貧困について学ぶ講座 ・受講者：26人

【主な成果】

いろいろな国が持っているポテンシャルや抱える問題などへの理解を深めることで、国際理解・多文化共生の意識醸成につなげました。

イ 日本の生活習慣・マナー講座

日時	事業内容・実績
[ネパール編] 7月28日(日)	外国人が円滑な地域生活を送るため、日本の居住マナーやごみの出し方などを母語で学ぶ講座 ・受講者：ネパール編：12人 中国編：9人
[中国編] 12月7日(土)	

【主な成果】

各講座の実施を通じて、外国人は他国の生活習慣や文化を座学形式では学びにくいことが分かり、区内転入者に対する生活情報支援という、新たな形態での提供につなげました。

ウ おもてなし講座

日時	事業内容・実績
[アメリカ編] 5月26日(日) [中国編] 6月9日(日) [韓国編] 6月23日(日) [インド編] 7月7日(日) [ドイツ編] 7月21日(日)	東京2020大会に向けて、外国の文化や習慣などを理解し、おもてなしの方法を学ぶ講座 受講者：アメリカ編38人、中国編29人、韓国編26人、インド編24人、ドイツ編33人

【主な成果】

各講座を通じて外国の生活・文化への理解を深めることで、国際理解・多文化共生の意識醸成につなげました。

(7) 地域における国際交流

ア 日本語でスピーチ

日時	事業内容・実績
12月1日(日)	日本語を母語としない日本語を学習中の外国人等が自分の考えを日本語でスピーチ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発表者：10人</li> <li>・ 参観者：95人</li> <li>・ 実行委員：国際交流ボランティア7人</li> <li>・ 協力者：国際交流ボランティア5人</li> </ul>

【主な成果】

日頃の日本語学習の成果を出せるスピーチコンテストを開催することで、参加者の日本語学習意欲の向上や日本人区民との交流につなげました。また、国際交流ボランティアが実行委員や協力者として活躍することで、ボランティアの人材育成・交流を促進しました。

イ 多文化交流会

日時	事業内容・実績
[1日目] 9月8日(日) [2日目] 9月14日(土)	【多文化交流会～多様性の国ブラジルを知ろう～】 [1日目] ブラジル文化講座・おもてなし講座・ポルトガル語講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加者：28人</li> </ul> [2日目] ブラジル打楽器演奏体験ワークショップ等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加者：28人</li> </ul>
9月28日(土)	【多文化交流カフェ(国際都市おおたフェスティバル in「空の日」羽田)】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交流員：国際都市おおた大使7人、国際交流ボランティア3人</li> <li>・ 協力者：国際交流ボランティア6人</li> <li>・ 来場者：96組202人</li> </ul>
10月26日(土)	【多文化交流会「JAPAN DAY」(蒲田国際フェスティバル2019)】 ①日本文化体験ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加者：77人 ・ 協力者：国際交流ボランティア9人</li> </ul> ②日本の遊び体験(折り紙、けん玉等) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協力者：国際交流ボランティア1人</li> </ul> ③世界のお茶会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交流員：大田区国際交流員1人、国際都市おおた大使2人</li> <li>・ 協力者：国際交流ボランティア2人</li> </ul> ④外国人のための防災訓練 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協力者：災害時外国人支援ボランティア5人、おもてなし健康通訳ボランティア養成講座修了者1人</li> </ul>
11月2日(土)	【世界を知るワークショップ(OTAふれあいフェスタ2019)】 ①多言語による絵本の読み聞かせ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加者：43人(子ども23人、保護者20人)</li> <li>・ 協力者：国際交流ボランティア4人</li> </ul> ②英語で工作～サンクスギビングのターキーを作ろう～ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加者：17人</li> </ul>
12月8日(日)	【「外国人向け日本料理教室 おせち料理を作ろう!」】 おせち料理6品(栗きんとん等)の調理を通して日本文化を体験 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加者：外国人19人、日本人6人</li> </ul>

### 【主な成果】

日本人区民と外国人区民がそれぞれの自国の文化や料理などを紹介し合い、交流できる場を設けることにより、相互の文化などを尊重し理解する国際交流を推進しました。

※以下の講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としました。

- ・世界の文化講座&料理教室「タイ王国」（3月1日）

### ウ ホームビジットイベント

日時	事業内容・実績
1月19日（日）	外国人が日本人家庭を訪問して交流 ・ホストファミリー：11家庭 ・参加者：外国人30人

### 【主な成果】

区内の留学生を中心とする参加者が、日本人区民の各家庭で、「茶道」「かるた」「お互いの国や家族の話」などを通じて交流しました。参加者からは、自国の普段の生活では体験できないことや日本人家庭での生活習慣などが聞けて、大変有意義であったとの声が寄せられました。ホストファミリーからは、家にある世界の国々について書かれた本を見ながらそれぞれの国のことを教えてもらった、はじめは緊張気味だった子どもたちもすぐに打ち解け、良い国際交流の場になったとの感想を述べられました。

## （8）グローバル人材の育成

### ア 国際交流ボランティアの登録・活躍支援

日時	事業内容・実績
全12回 10月15日（火） ～11月26日（火）	【外国人の国際交流ボランティアが教える英会話講座】 自分のことを話す、ロールプレイ、文法と発音、フリートーク等 ・受講者：10人

### 【主な成果】

外国人の国際交流ボランティアが講師となり、英会話初級者を対象とする講座を開催しました。講師となるボランティアの方の活躍支援に加え、受講者は実践的な英会話の練習ができたため、双方にとって実りある講座となりました。

### イ 国際交流ボランティアの育成

日時	事業内容・実績
8月31日（土）	【通訳基礎講座】 通訳の基本、ボランティア通訳の役割、実践等 ・受講者：33人
2月1日（土）	【インタビュー記事執筆講座】 国際交流ボランティアがインタビューや記事執筆の基本的なスキルを身につける講座 ・受講者：9人

### 【主な成果】

地域の多文化共生を推進する上で、その重要な担い手となるボランティアの育成につなげることができました。

※以下の講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としました。

- ・翻訳基礎講座（3月7日、21日）

(9) 外国人の就労支援（ビジネス日本語教室）

日時	内容・実績
全4回 9月5日（木） ～26日（木）	【介護の日本語ワークショップ】 介護の専門用語、丁寧な言葉、介護記録の読み方・書き方、申し送りの聞き方・仕方など ・受講者：11人
全5回 1月25日（土） ～2月22日（土）	【外国人向け介護の日本語講座】 介護の仕事に興味がある外国人や介護施設で働いている外国人のための講座（入門コース、記録・申し送りコース） ・受講者：入門コース15人、記録・申し送りコース10人

【主な成果】

介護の仕事に特化した日本語ワークショップ・講座により、既に介護現場に従事している人には日頃の疑問の解決や勉強方法の習得に、新たに始めようと考えている人たちにはモチベーションの向上に寄与する取組となり、区内介護施設における人材確保・育成に貢献しました。

(10) 専門機関との連携（国際協力体験講演会）

日時・場所	内容・実績
12月14日（土）	JICA シニア海外力隊員経験者の体験談などを聞き、子どもたちが世界の状況等を学ぶ 小学6年生（3クラス83人）の総合学習の授業で実施

【主な成果】

「国際都市おおた」の未来を担う子どもたちが海外に興味を持ち、グローバルな視点や意識を育むことができました。

(11) 広報紙・情報紙の発行

日時・場所	内容・実績
通年	○協会のニュースレターを4回（各回1,000部）発行し、区内の高校や日本語学校等に配布した。 ○外国人区民向けに「Ota City Navigation」を5言語（やさしい日本語、英語、中国語、タガログ語、ネパール語）で8回（各回4,500部）発行し、区の施設（特別出張所、地域庁舎等）や区内の日本語学校等に配布した。

【主な成果】

ニュースレターの発行により、協会の活動報告や事業予定を広く周知するとともに、外国人が必要とする区政情報を集約した「Ota City Navigation」を多言語で発行することにより、区内の外国人が必要とする情報を適宜・的確に届けました。



多文化交流会～世界を知るワークショップ～  
多言語による絵本の読み聞かせ



ホームビジットイベント

## 5 交流事業費（その他の海外都市との交流）

2年度予算額 1,675 千円 （元年度予算額 1,905 千円）

外国との友好親善を図るため、海外諸都市からの代表团・視察団の受入れ等を行います。

### 【2年度計画】

海外諸都市からのオファーに対し、随時対応を予定。

### 【元年度実績】

（1）中国・大連市学生訪問団（諾雅・・・放課後に、マナーやヒューマンスキル等を勉強する大連市内の民間学校）来日

- ・日 程：令和元年7月29日（月）
- ・内 容：東京国際空港（羽田空港）国際線ターミナルの案内
- ・参加者数：34人（引率1人、学生33人）
- ・成 果：小学生を中心とした訪問団が羽田空港を見学する際に、東京国際空港ターミナル(株)(TIAT)と協力し、案内を行うことで、区内にある羽田空港の理解を深め、区のイメージアップとともに友好関係の推進を図ることができました。

## 6 多文化共生のネットワークづくり

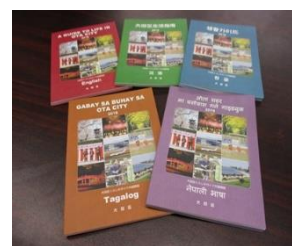
2年度予算額 32,165 千円 （元年度予算額 11,362 千円）

外国人区民に対し、身近な生活情報を多言語で提供するなど、地域で安心して生活できるよう支援するとともに、多文化共生社会の実現に向けて、多様な団体との連携・協働を図ります。

### 【2年度計画】

（1）くらしのガイド外国語版の作成及び配布

転入外国人を対象にした区政情報及び生活情報誌を、3年に1度作成しています。2年度は「くらしのガイド外国語版 2021」を、英語、中国語、ハングル、タガログ語、ネパール語にベトナム語を新たに加え、6言語で作成、配布を行う予定です。



くらしのガイド外国語版 2018

（2）多文化共生推進協議会

多文化共生社会の実現に向けて、外国人区民、日本人区民、国際交流団体、学識経験者等によって、具体的な課題を協議し、その課題解決に向けた提言を区にしていきます。

令和2年度は、第V期の2年目となります。

- ・回 数：4回開催予定

（3）国際交流団体の活動支援

区内で活躍する国際交流団体の活動を支援するとともに、各団体間の連携を深めるため、連絡会を開催し、情報及び意見交換を行います。

#### (4) 国際交流施設の運営及び活用

※新型コロナ感染症拡大防止のため、以下の施設を使用停止

- ・mics おおた 令和2年4月1日～5月31日
- ・山王会館 令和2年4月1日～6月7日

国際交流関連事業を行う施設として、mics おおた及び山王会館の3・4階部分を管理・運営します。

#### (5) タブレット端末を介した通訳サービスの配置

日本語のわからない方への更なる窓口サービス拡充のため、10言語通訳クラウドサービスとして本庁舎・特別出張所などにある既存のタブレット端末7台に加え、新たに13言語対応の18台を配置し、窓口機能を充実させます。

#### (6) 国際交流員の配置

国際交流員は、地域の国際交流活動のため自治体等に配属される職員です。

区では、国際交流員の活用を通じて、「国際都市おおた」にふさわしい多彩な国際交流・多文化共生事業を展開していきます。

### 【元年度実績】

#### (1) 多文化共生推進協議会

- ・内 容：多文化共生の推進に関することを討議
- ・開催日：令和元年10月25日（金）、12月9日（月）、令和2年1月31日（金）
- ・成 果：令和2年度の提言書策定に向け、3回の議論を通じて、現在大田区が抱える多文化共生の区への提言に結びつく課題を抽出しました。

#### (2) 国際交流団体の支援

- ・内 容：国際交流団体連絡会
- ・第1回：令和元年6月24日（月）  
参加団体：13団体  
参加者数：15人
- ・成 果：意見交換を通じて、区事業へのご協力をお願いするとともに、団体が抱える課題を共有いただく機会となりました。また、連絡会を通じて、普段個々に活動する団体間のネットワークづくりの場とすることができました。

#### (3) 「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座

- ・内 容：東京都と共催で、外国人とのコミュニケーションに関する基礎知識や、外国人に対する「おもてなし」の心を身につける講座を実施しました。
- ・日 程：令和2年2月2日（日） 参加者数：54人
- ・対 象：大田区内在住・在勤・在学のいずれかで、15歳以上の方
- ・成 果：映像やグループワークを通して、参加者の異文化コミュニケーション能力や「おもてなし」の意識を向上させることができ、ボランティアの拡充や質の向上を図ることができました。講座修了者には、東京都より「外国人おもてなし語学ボランティア」の登録証と缶バッジが付与されました。今後は、東京2020大会の開催時はもちろん、日常生活においても、外国人が安心して大田区で生活・滞在できる環境を整える国際交流推進の担い手として、また、大田区の地域をあげてのおもてなしを担う人材として、幅広い分野で活躍していただける契機となりました。



(4) 国際交流施設の運営及び活用

- ・年間利用件数：2,089件（内訳 mics おおた 452件、山王会館 1,637件）
- ・年間利用人数：延べ39,753人（内訳 mics おおた 8,162人、山王会館 31,591人）
- ・成 果：外国人区民が言語や文化の違いにより不安を感じることがないように、日本語習得や日本社会に関する学習支援をはじめとしたコミュニケーション支援の場として活用しました。また、国際交流団体等の活動場所として、日本語教室の開催や会議・打合せ等で利用いただくとともに、姉妹都市訪問団等との交流を図る場として活用することができました。

(5) タブレット端末を介した通訳サービスの導入

- ・年間利用件数：718件
- ・年間利用時間：153時間1分
- ・成 果：税金、年金・保険、転入・転出・戸籍など、外国語での様々な相談に対応し、窓口サービスの充実を図ることができました。



タブレット端末を介した通訳サービス

・主な相談内容、対応言語

	相談内容	件数
1	税金	170
2	年金・保険	157
3	転入・転出・戸籍	91
4	子育て・出産	43
5	マイナンバー	42

	対応言語	件数
1	英語	334
2	中国語	252
3	ネパール語	44
4	ベトナム語	27
5	タガログ語	20

(6) 国際交流員の配置

- ・内 容：一般財団法人自治体国際化協会が主管する外国青年招致事業（JET プログラム）により選抜された、日本に関心のある海外の人材を「国際交流員」（非常勤職員）として雇用しました。
- ・成 果：各種イベントへの参加や学校訪問、海外姉妹都市との交流事業等を通して、区の国際化や「国際都市おおた」の魅力向上に貢献しました。

### (3) 文化振興課

区の文化振興は、平成 31（2019）年 3 月に策定した大田区文化振興プランにおいて「文化を愛し育み創造する、にぎわいのあるまち大田区～地域力を生かした多様な文化とのふれあい～」というまちの将来像を目指すとし、その中で「だれもが文化に触れ、豊かな暮らしを送る」「誰もが地域に魅力を感じ、楽しむ」「誰もが地域で自分らしく生きがいをもって暮らす」という 3 つの具体的な姿を設定しています。

このプランに基づく基本目標のもとで、各種施策を実施しています。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、公演やイベントの休止、博物館、記念館をはじめとする文化施設の休館などがあり、文化活動の機会が制約を受ける環境です。そのような状況であっても、文化の持つ心豊かな時間の醸成、想像力を育み、生きる力を生み出し、人と人とのつながりや交流の輪を広げ、コミュニティが形成される事業を推進していきます。

予算事務事業名	事業名	頁
<b>文化国際費</b> （このほか事務事業には「文化振興課事務費」があります。）		
平和都市宣言記念事業	1 平和都市宣言記念事業	54
（公財）大田区文化振興協会の運営	2 大田区文化振興協会の運営	56
地域文化の振興	3 地域文化の振興	56
大田区民ホール等管理運営費	4 大田区民ホール等管理運営	58
文化施設管理運営費	5 文化施設管理運営	59
OTAふれあいフェスタ	6 OTAふれあいフェスタ	69
地域間交流事業	7 地域間交流事業	69
文化祭	8 文化祭	70
博物館管理運営費	9 郷土博物館の管理運営	72
	10 郷土博物館の事業	72
大森 海苔のふるさと館の運営	11 大森 海苔のふるさと館の運営	82
勝海舟記念館の運営	12 勝海舟記念館の運営	87
<b>文化施設建設費</b>		
勝海舟記念館の整備	13 勝海舟記念館の整備事業	91

#### 1 平和都市宣言記念事業

2 年度予算額 7,151 千円 （元年度予算額 67,747 千円）

区は、昭和 59（1984）年 8 月 15 日に世界の恒久平和と人類の永遠の繁栄を願い、平和都市宣言をいたしました。平和の尊さや大切さを若い世代に語り継ぎ、戦争のない平和なまちを未来へ引き継ぐため各種事業を実施しています。

### (1) 花火の祭典

区では、昭和62(1987)年から「JAZZ コンサートの夕べ」としてコンサート、式典、花火の打ち上げを始めました。その後、平成9(1997)年に、大田区平和都市宣言記念事業「花火の祭典」として名称を改め、令和元年で32回を迎えました。この事業は、(公財)大田区文化振興協会との共催により実施をしています。2年度は当初「東京2020大会」実施に伴う見送りにより、「平和の記念式典」のみを実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により式典の開催も中止となります。

#### 【2年度計画】平和の記念式典

- ・開催日：令和2年8月15日(土) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・会場：大田区民ホール・アプリコ

#### 【元年度実績】

- ・開催日：令和元年8月15日(木) ※台風10号による荒天のため中止
- ・会場：西六郷四丁目地先(多摩川河川敷)

### (2) 平和・原爆のパネル展

広島及び長崎の原爆の日に合わせてパネル展示を行い、核のない世界の実現と戦争の悲惨さを伝えます。

#### 【2年度計画】

- ・開催期間：令和2年8月6日(木)～11日(火) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・会場：本庁舎1階ロビー

#### 【元年度実績】

- ・開催期間：令和元年8月6日(火)～19日(月)
- ・会場：本庁舎1階ロビー

### (3) 平和の映画キャラバン

区内児童等を対象に地域で生命と平和の大切さを伝えます。

【2年度計画】令和3年1月～2月、区内児童館 10か所予定

【元年度実績】令和2年1月～2月、区内児童館 9か所



花火の祭典



平和・原爆のパネル展

## 2 公益財団法人 大田区文化振興協会の運営（運営費補助・事業費補助）

2年度予算額 222,093 千円 （元年度予算額 202,351 千円）

※事業の詳細は「5 文化施設管理運営」に掲載（P59 参照）

## 3 地域文化の振興

2年度予算額 6,252 千円 （元年度予算額 5,881 千円）

区内にある多様な地域文化に触れる機会を提供することで、区民が地域への愛着と誇りを持ち、にぎわいのある暮らしを実現します。

### （1）文化振興推進協議会

次期文化振興プラン策定への提案及び助言と区の文化振興の推進に関して審議し、その結果を区長に報告することを役割としています。

#### 【元年度実績】

- ・開催日：令和元年5月17日（金）

### （2）文化振興プランに関する懇話会

大田区文化振興プランの評価として、区と（公財）大田文化振興協会および区の文化活動に参加された方と懇話会を開催し、文化活動へのご意見を伺います。

#### 【2年度計画】

- ・文化活動に参加された方を対象に実施予定（2事業）

#### 【元年度実績】

- ・開催日：令和2年3月18日（水）

### （3）おおたの文化フェア（展示会）

区内の文化団体等からの協力のもと、大田区の歴史・文化を紹介することを目的に展示会を開催します。

#### 【2年度計画】

- ・開催期間：令和3年2月～3月に実施予定

#### 【元年度実績】

- ・開催期間：令和2年2月26日（水）～3月10日（火） ※新型コロナ感染拡大防止のため中止

#### (4) 洗足池 春宵の響

笛や囃子等の鑑賞を通じ、日本の伝統芸能にふれる機会を区民に提供し、伝統文化の魅力を発信します。会場：洗足池西岸「池月橋」

##### 【2年度計画】

- ・実施日：令和2年5月12日（火） ※新型コロナ感染拡大防止のため延期
- ・延期日：令和2年10月中旬を予定
- ・来場者数：約2,000人予定
- ・内容：会場周辺での光の演出効果を充実させ、「春宵の響」独特の情緒ある演出により来場されている方々に感動を与えます。今年度の楽曲にも、ピアノ演奏を取り入れ、幻想的な雰囲気の中、日本の伝統芸能と洋楽の競演を披露します。また、来年に延期が決まった「東京2020大会」に関連する曲目を演奏することで大会の気運醸成を図ります。なお、当事業は「東京2020参画プログラム」の公認事業として位置づけ実施します。



幻想的な池月橋で笛を演奏

##### 【元年度実績】

- ・実施日：令和元年5月15日（水）
- ・来場者数：約2,000人
- ・内容：昨年も、笛・お囃子・謡・ピアノの演奏のほか、三味線を伴奏とする浄瑠璃を新たに加え、演奏の幅を広げる趣向を取り入れました。当日は、勝海舟記念館開館の気運醸成を図る取組として、来場者から「勝海舟」にちなんだお題をいただき、即興で演奏するなど、来場者と一体となったステージとしました。

#### (5) 大田区伝統工芸士認定制度

様々な芸術・芸能等の文化を下支えする伝統工芸士の社会的評価の向上を図り、被認定者の実績等を区民に周知することで、伝統工芸への興味・関心を喚起します。

##### 【2年度計画】

- ・12月中旬 認定審査会実施

##### 【過去の実績（認定者数）】

- ・29年度：5人  
本阿弥光州氏（刀剣研磨）  
宮崎静花氏（日本刺繍）  
伊東孝夫氏（東京三味線）  
春原敏雄氏（江戸表具）  
吉澤均氏（江戸和竿）
- ・30年度：1人  
町田久美子氏（手描友禅）
- ・元年度：2人  
黒川朋子氏（紹ざし）  
中山健氏（和裁）



認定式の様子

(6) 夏休み 博物館・記念館回遊ラリー

【2年度計画】※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

博物館・記念館回遊ラリーを実施することで大田区内の博物館・記念館の存在を知ってもらい、実際に訪れてもらうことで、楽しみながら文化、芸術に触れるきっかけをつくります。

- ・開催日時：令和2年7月18日（土）～8月23日（日）
- ・開催場所：郷土博物館、大森 海苔のふるさと館、龍子記念館、熊谷恒子記念館、山王草堂記念館、尾崎士郎記念館、炭ギャラリー、五十嵐健治記念洗濯資料館（白洋舎）、昭和くらしの博物館、多摩川台公園古墳展示室、
- ・対象者：区内小中学生（小学生は親子での参加）

【元年度実績】

- ・開催日時：令和元年7月20日（土）～8月25日（日）
- ・参加者数：549人

※参加者の声（抜粋）

- ・回遊ラリーをきっかけに、散歩や自転車で大田区を回りました。楽しかったです！（6歳男子）
- ・ほとんどの施設に初めて訪ねました。どちらも見応えのあるところばかりで、もっと早くに来ればよかったと思うほどでした。（42歳女性）
- ・少しわかりやすい地図を用意してくれるとうれしいです。（12歳女性）
- ・昭和のくらしについては、自分が育った頃のことを今と重ね合わせ、いろいろ感じるものがありました。（52歳男性）

**4 大田区民ホール等管理運営**

2年度予算額 316,085千円 （元年度予算額 277,678千円）

大田区民ホール・アプリコの地域冷暖房システム（空調）経費、また、ホール、駐車場などを含んだ共同開発施設「アロマスクエア街区」の管理運営のための費用（負担金）を支出しています。

また、アロマスクエア地下2階の区営アロマ地下駐車場の指定管理者管理代行経費を支出しています。

■区営アロマ地下駐車場の概要（平成10年11月5日供用開始・蒲田五丁目37番4号）

項目	概要
収容台数	297台
利用時間	午前7時～午後11時 *1月1日～1月3日及び保守点検日は休業
車両制限	高さ2.1m以下（施設構造上）、長さ5.3m以下（条例上）、幅2.0m以下
利用料金	【午前7時～午後11時、～4時間30分】100円/15分
	【駐車後24時間まで】最大1,800円
元年度実績	【駐車台数】160,038台 【料金収入】168,120,270円（区への納付金115,180,648円）

## 5 文化施設管理運営

2年度予算額 1,353,906 千円 (元年度予算額 1,235,768 千円)

大田区の文化振興施策を推進するため、(公財)大田区文化振興協会は、指定管理者として、大田区民プラザ、大田区民ホール・アプリコ、大田文化の森、熊谷恒子記念館、龍子記念館の管理代行業務を行っています。また、龍子公園、山王草堂記念館、尾崎士郎記念館の管理運営については、一部業務を委託しています。

※新型コロナ感染拡大防止のため、以下の施設を休館及び使用停止

- ・大田区民プラザ、大田区民ホール・アプリコ、大田文化の森  
令和2年4月9日から5月31日まで各室場の使用停止  
上記期間以外は要請により一部室場の使用停止
- ・山王草堂記念館 令和2年3月3日から5月31日まで休館
- ・熊谷恒子記念館、龍子記念館 令和2年3月2日から6月1日まで休館

### (1) 文化芸術の振興に資する公演及び展示等の実施に関する事業

施設の規模や地域性を活かし、大田区民プラザ、大田区民ホール・アプリコ、施設外等で、様々な事業を行っています。

ア 文化芸術の振興に資する公演事業

【2年度計画】【元年度実績】

ジャンル	2年度計画	元年度実績
音楽(クラシック、ジャズ、ポップス等)	12事業	14事業
伝統芸能・演芸(狂言、文楽、落語等)	4事業	4事業
演劇・舞踊(演劇、ダンス、バレエ等)	3事業	3事業
美術	2事業	3事業
区連携(春宵の響、ふれあいフェスタ、おおた和の祭典、東京2020パラリンピック応援コンサート)	4事業	3事業

《区連携事業について》

- ・洗足池 春宵の響(P57参照)、OTAふれあいフェスタ(P69参照)

・おおた和の祭典:多様な日本の伝統文化・芸術を「見る」「聞く」「触れる」「体験する」を通して、子どもや外国人を含む来場者へ、日本文化に親しむ機会を提供します。

※新型コロナ感染拡大防止のため中止

- ・東京2020パラリンピック応援コンサート:東京2020大会に向けて、障がい者に対する理解を深めるとともに、障がいの有無にかかわらず、誰もが文化芸術を楽しめる共生社会の実現を目指します。

イ 文化芸術の振興に資する展示事業

区内在住作家の作品をアプリコに展示するとともに、年数回、龍子記念館や熊谷恒子記念館等において、テーマ別に展示するなど、区民が身近な場所で芸術作品に触れられる機会を提供しています。

【2年度計画】【元年度実績】

事業名	種別	2年度計画	元年度実績
アプリコ・アートギャラリー	絵画	通年4期	通年4期
大田区在住作家美術展 (併催)チャリティー・オークション	平面・立体	10月30日 ～11月6日	11月1日～8日(本展) 入場者数4,775人
龍子記念館	日本画		入場者数9,489人
特別展		隔年開催	特別展10～12月3,120人
名作展		I期4～7月 ※8月まで延長 II期12～3月	I期4～7月2,094人 II期7～10月2,499人 III期12～3月1,776人
東京2020大会企画展		I期7～8月 ※令和3年7月ま で延期 II期9月 ※地域連携企画展 I期として実施	
地域連携企画展		I期9月 II期10～11月	
熊谷恒子記念館	かな書		入場者数 2,912人
かなの美展		I期4～7月 ※10月まで延長 II期7～10月 ※中止	I期4～7月735人 II期8～12月1,003人 III期1～3月1,174人
開館30周年記念展		前期11～12月 後期12～3月	
ギャラリートーク (龍子記念館、熊谷恒子記念館)	日本画 かな書	毎月各1回	龍子記念館11回419人 夏休み子ども向けギャ ラリートーク4回72 人 熊谷恒子記念館9回90 人

※龍子記念館ギャラリートークは、年13回開催予定のうち2月23日・3月22日の2回、熊谷恒子記念館ギャラリートークは、年11回開催予定のうち2月22日、3月28日の2回を、新型コロナ感染拡大防止のため中止しました。



## ウ 文化芸術の振興に資する普及事業（各種講座・啓発事業）

子どもをはじめ、多くの区民が身近な場で、文化芸術の楽しさ・素晴らしさを感じられるよう、学校や地域での公演、講習、コンサート等を実施します。また、事業実施を通じ、若手や地域ゆかりのアーティストの発掘に努め、活動の機会や発表の場を提供します。

### 【2年度計画】

- ・ 無料公演：プラザ映画鑑賞会（2回）  
    ※内1回（4月分）は、新型コロナ感染拡大防止のため中止  
    アプリコお昼のピアノコンサート（5回）  
    ※内1回（5月分）は、新型コロナ感染拡大防止のため中止  
    馬込文士の足跡をたずねて（2回・山王草堂記念館）  
    ※内1回（5月分）は、新型コロナ感染拡大防止のため中止
- ・ 講座：記念館講座（4回・大田文化の森）  
    夏休みワークショップ（令和2年8月・龍子記念館、熊谷恒子記念館）
- ・ 出張講座：大田区JHSウインドオーケストラ（令和2年9月～令和3年3月）  
    大田区学校出張講座（旧：大田区学校出張コンサート） 通年  
    フレンドシップ福祉施設訪問事業（年2回）
- ・ 動画配信：オンラインあーとシアター（通年）

### 【元年度実績】

- ・ 公演：プラザ映画鑑賞会（2回・入場者数：189人）  
    ※内1回（2月26日）は、新型コロナ感染拡大防止のため中止  
    アプリコお昼のピアノコンサート（4回・入場者数：延べ1,645人）  
    ※内1回（3月18日）は新型コロナ感染拡大防止のため延期  
    演劇ワークショップ（練習10回・公演令和元年12月22日）  
    パフォーマンスキッズ・トーキョー（練習10回・公演令和元年9月1日）
- ・ 講座：記念館講座（4回・入場者数：延べ207人）  
    ※内1回（3月15日）は、新型コロナ感染拡大防止のため中止  
    初めての日本画講座（2期10回・入場者数：40人）  
    夏休みワークショップ（令和元年8月4日 龍子記念館：30人、  
    令和元年8月10日、11日 熊谷恒子記念館：32人）参加者数：延べ62人
- ・ 出張講座：大田区JHSウインドオーケストラ（令和元年9月～令和2年3月）  
    参加校：全10校（大森第一中・大森第三中・大森第七中・大森第八中・大森第十中、  
    糀谷中・東蒲中・羽田中・馬込東中・安方中）  
    訪問練習（各2回）、合同練習（全8回）  
    ※内、2回の合同練習及び春風コンサート（令和2年3月29日）は、新型コロナ感  
    染拡大防止のため中止  
    大田区学校出張コンサート（令和元年9月～12月）  
    参加校：東糀谷小・東調布第一小・大森第三小・馬込小・東調布第三小・開桜小  
    馬込第三小・仲六郷小（参加者数 8校・2,448人）

(2) 文化芸術活動の支援、協働及び育成に関する事業

地域文化振興支援事業として、大田区で文化芸術活動を行う団体等の活動を助成、支援します。  
このほか、大田文化の森運営協議会の活動支援も行っています。

【元年度実績】

- ・共催事業：11 事業、入場者数 8,019 人※区を除く、区内文化団体との共催
- ・後援事業：6 事業、入場者数 13,803 人

※内、共催1、後援1事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(3) 文化芸術資源の情報収集と発信に関する事業

大田区文化情報誌「Art Menu」：隔月年6回※内、1回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止  
大田区文化芸術情報誌「Art Bee Hive」年4回※内、1回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止  
このほか、大田区文化振興協会ホームページやTwitter、Instagram、YouTube、おおた区報等で、管理を行う施設での公演情報や地域の文化芸術情報を発信していきます。

(4) 文化芸術の拠点施設の管理運営に関する事業

指定管理者管理代行による収入と支出【元年度実績】

施設名	使用料等収入額	補助金支出	管理代行・業務委託費支出
大田区民プラザ	77,873,946 円	202,351,000 円	265,497,000 円
大田区民ホール・アプリコ	112,965,530 円		183,495,000 円
大田文化の森	45,188,535 円		292,249,000 円
熊谷恒子記念館	199,970 円		16,995,000 円
龍子記念館	2,369,000 円		88,092,000 円
山王草堂・尾崎士郎・龍子公園			23,931,000 円
合計	238,596,981 円	202,351,000 円	870,259,000 円

■施設別利用実績 大田区民プラザ（昭和62年10月31日開設・下丸子三丁目1番3号）

区分	午前		午後		夜間		合計		利用者数 (人)
	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	
大ホール	325	238	326	235	333	173	984	646	83,185
	73.2%		72.1%		52.0%		65.7%		
小ホール	335	196	339	244	343	178	1,017	618	30,137
	58.5%		72.0%		51.9%		60.8%		
展示室	337	166	341	246	343	157	1,021	569	21,044
	49.3%		72.1%		45.8%		55.7%		
リハーサル室	338	302	345	258	345	164	1,028	724	13,185
	89.3%		74.8%		47.5%		70.4%		
美術室	344	272	346	298	345	4	1,035	574	4,648
	79.1%		86.1%		1.2%		55.5%		
第1会議室	343	288	346	291	345	167	1,034	746	9,553
	84.0%		84.1%		48.4%		72.1%		

区 分	午 前		午 後		夜 間		合 計		利用者数 (人)	
室 場 名	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)		
	利 用 率		利 用 率		利 用 率		利 用 率			
第2会議室	344	258	346	272	345	127	1,035	657	7,847	
	75.0%		78.6%		36.8%		63.5%			
第3会議室	342	217	344	176	344	49	1,030	442	4,768	
	63.5%		51.2%		14.2%		42.9%			
第4会議室	344	312	346	303	345	205	1,035	820	7,681	
	90.4%		90.7%		87.6%		59.4%			
第1和室	344	297	346	286	345	208	1,035	791	4,249	
	86.3%		82.7%		60.3%		76.4%			
第2和室	344	307	346	305	345	185	1,035	797	3,724	
	89.2%		88.2%		53.6%		77.0%			
茶 室	344	26	346	43	345	2	1,035	71	226	
	7.6%		12.4%		0.6%		6.9%			
第1音楽 スタジオ	1回2時間単位で1日5区分利用						1,697	920	17,272	
							54.2%			
第2音楽 スタジオ	1回2時間単位で1日5区分利用						1,699	1,154	6,824	
							67.9%			
体 育 室	186	176	271	265	271	265	728	706	9,931	
	94.6%		97.8%		97.8%		97.0%			
オートテニス	1回30分単位で月・水曜は午前6区分、金曜は全日23区分									3,878
トレーニング ルーム										17,090
卓 球	1回1時間単位で月・水曜は午前2区分、金曜は全日11区分									2,473
合 計										247,715

■大田区民ホール・アプリコ（平成10年12月11日開設・蒲田五丁目37番3号）

区 分	午 前		午 後		夜 間		合 計		利用者数 (人)
室 場 名	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	
	利 用 率		利 用 率		利 用 率		利 用 率		
大ホール	317	242	317	268	315	189	949	699	231,057
	76.3%		84.5%		60.0%		73.7%		
小ホール	318	237	318	276	315	241	951	754	38,396
	74.5%		86.8%		76.5%		79.3%		
展 示 室	319	247	320	262	317	213	956	722	41,552
	77.4%		81.9%		67.2%		75.5%		

区 分	午 前		午 後		夜 間		合 計		利用者数 (人)
	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	
室 場 名	利 用 率		利 用 率		利 用 率		利 用 率		
Aスタジオ	1回2時間単位で1日5区分利用						1,599	1,206	22,310
	75.4%								
Bスタジオ	1回2時間単位で1日5区分利用						1,599	1,363	11,089
	85.2%								
合 計									344,404

■大田文化の森 (平成13年11月3日開設・中央二丁目10番1号)

区 分	午 前		午 後		夜 間		合 計		利用者数 (人)
	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	
室 場 名	利 用 率		利 用 率		利 用 率		利 用 率		
ホ ー ル	299	172	307	190	316	134	922	496	35,792
	57.5%		61.9%		42.4%		53.8%		
展 示 コーナ	342	140	343	144	343	134	1,028	418	10,751
	40.9%		42.0%		39.1%		40.7%		
多目的室	253	110	264	221	269	120	786	451	25,990
	43.5%		83.7%		44.6%		57.4%		
第1集会室	270	230	271	234	271	139	812	603	6,381
	85.2%		86.3%		51.3%		74.3%		
第2集会室	270	210	270	215	271	92	811	517	7,441
	77.8%		79.6%		33.9%		63.7%		
第3集会室	269	187	270	213	269	56	808	456	6,363
	69.5%		78.9%		20.8%		56.4%		
第4集会室	267	145	270	189	269	57	806	391	5,588
	54.3%		70.0%		21.2%		48.5%		
控 室	269	98	269	118	271	58	809	274	975
	36.4%		43.9%		21.4%		33.9%		
和 室	269	241	271	234	271	119	811	594	7,041
	89.6%		86.3%		43.9%		73.2%		
調 理 室	263	109	264	137	267	48	794	294	2,559
	41.4%		51.9%		18.0%		37.0%		
美 術 室	269	90	270	235	270	57	809	382	5,871
	33.5%		87.0%		21.1%		47.2%		
工 芸 室	270	126	270	158	270	20	810	304	2,041
	46.7%		58.5%		7.4%		37.5%		

区 分	午 前		午 後		夜 間		合 計		利用者数 (人)
	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	
室 場 名	利 用 率		利 用 率		利 用 率		利 用 率		
第1音楽 スタジオ	1回2時間単位で1日5区分利用						1,697	1,512	10,836
							89.1%		
第2音楽 スタジオ	1回2時間単位で1日5区分利用						1,696	1,313	9,414
							77.4%		
第3音楽 スタジオ	1回2時間単位で1日5区分利用						1,714	1,400	9,026
							81.7%		
第1スポーツ スタジオ	342	304	344	283	343	241	1,029	828	11,065
	88.9%		82.3%		70.3%		80.5%		
第2スポーツ スタジオ	1回1時間単位で1日13区分利用						4,433	2,856	5,711
							64.4%		
運営協議会 主催事業 全館使用事業	【全館】8月2日・3日「文化の森夏祭り」								5,583
大田区事業 全館使用事業	【全館】4月28日 大田区子どもガーデンパーティ等 2事業								4,722
合 計									173,150

■大田文化の森 情報館

区 分	登録者数 (人)		貸出者数 (人)	貸出冊数 (冊)		AV (枚)	合 計
	新規	累計		図書	雑誌		
図書コーナー	1,606	10,820	142,439	341,599	12,647	25,162	379,408
区 分	利用者数 (人)						
	体験コーナー	インターネット	創作活動コーナー	合 計			
マルチメディア コーナー	8,022	17,967	167	26,156			

■龍子記念館（平成3年11月3日開設・中央四丁目2番1号）

日本画の巨匠・川端龍子の躍動感ある作品を展示する美術館です。建物も自身の設計によるものです。旧宅、アトリエ、庭園（龍子公園）も時間限定で公開しています。

事業名	2年度計画	元年度実績
名作展Ⅰ	I期 令和2年4月～7月 ※8月まで延長	平成31年4月27日～令和元年7月15日 入場者数2,094人
名作展Ⅱ	Ⅱ期 令和2年12月～令和3年3月	令和元年7月27日～10月6日 入場者数2,499人
名作展Ⅲ		令和元12月21日～令和2年3月22日 入場者数1,776人 ※新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館のため3月1日までの人数
東京2020大会企画展	I期7～8月 （延期2021年7～8月） Ⅱ期9月 （地域連携企画展Ⅰ期として実施）	
地域連携企画展	I期9月 Ⅱ期10～11月	
特別展	隔年開催	令和元年10月26日～12月1日 入場者数3,120人
ワークショップ	夏休みこども向けワークショップ 令和2年8月 子ども向けワークショップ 令和3年3月	令和元年8月4日 参加者数30人  令和2年3月8日 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
講座	記念館講座 令和3年1月 公園案内ボランティア講座 令和2年5月～6月 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期 地域連携事業「名作展鑑賞ガイド」	令和2年2月15日 参加者数91人 令和2年2月～3月 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止  令和元年7月6日 参加者数55人

【元年度実績】

入館者数11,069人（大人3,052人、小人219人、高齢者5,664人、幼児94人、招待者等2,040人）

※大人：16歳以上65歳未満、小人：6歳以上16歳未満、高齢者：65歳以上、幼児：6歳未満

■熊谷恒子記念館（平成2年4月1日開設・南馬込四丁目5番15号）

現代女流かな書の第一人者として活躍した熊谷恒子が、生前住んでいた自宅を改装し運営しています。優美な書の作品や旧書齋、遺品などの関連資料を展示しています。

事業名	2年度計画	元年度実績
かなの美展Ⅰ	Ⅰ期 令和2年4月～7月 ※10月まで延長	平成31年4月27日～令和元年7月15日 入場者数735人
かなの美展Ⅱ	Ⅱ期 令和2年7月～10月 ※Ⅰ期延長のため中止	令和元年7月27日～12月1日 入場者数1,003人
かなの美展Ⅲ		令和2年1月4日～4月12日 入場者数1,174人 ※新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館のため3月1日までの人数
開館30周年記念展	前期 令和2年11月～12月 後期 令和2年12月～令和3年4月	
コラボレーション展示	かなの美展Ⅰ、後期開館30周年記念展で実施予定 各回1か月 ※かなの美展Ⅰの4・5月開催のコラボレーション展示は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	令和元年4月27日～6月2日 467人 令和元年7月27日～9月1日 309人 令和2年3月3日～29日 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
ワークショップ	夏休みこども向けワークショップ 令和2年8月	令和元年8月10・11日 入場者数32人
講座	記念館講座 令和2年12月	令和2年1月18日 入場者数51人

【元年度実績】

入館者数3,395人（大人831人、小人47人、高齢者2,106人、幼児45人、招待者等366人）

※大人：16歳以上65歳未満、小人：6歳以上16歳未満、高齢者：65歳以上、幼児：6歳未満

■龍子公園（平成16年7月1日開設・南馬込四丁目4番11号）

画室を公開し、旧宅と庭園を併せて公園として開設しています。

画室（木造平屋建）、旧宅（木造2階建）、庭園

【2年度計画】

1日3回の公園案内を職員及び公園案内ボランティアで実施します。

馬込大桜まつり等地域イベントと連携し、公園を開放します。

【元年度実績】入館者数3,238人

■山王草堂記念館（昭和63年4月20日開設・山王一丁目41番21号）

日本初の総合雑誌「国民之友」を発行した徳富蘇峰の旧宅の一部とゆかりの資料を保存・公開した記念館です。原稿や書簡など関係資料を展示しています。

「国民之友」：明治20（1887）年創刊の日本で最初の総合雑誌

【2年度計画】

- ・月1回ギャラリートークを実施します。
- ・「馬込文士の足跡をたずねて」を2回実施します。  
※5月実施分は新型コロナ感染拡大防止のため中止
- ・記念館講座を実施します。(令和3年2月)
- ・展示の一部をリニューアルします。

【元年度実績】入館者数7,188人(大人6,713人、小人475人)

- ・月1回ギャラリートークを実施しました。参加者85人  
※3月実施分のギャラリートークは新型コロナ感染拡大防止のため中止
- ・「馬込文士の足跡をたずねて」で、講演会を1回実施しました。(令和元年5月19日 12人)  
※令和2年3月21日実施分は新型コロナ感染拡大防止のため中止
- ・記念館講座を実施しました。(令和元年12月14日 65人)

■尾崎士郎記念館(平成20年5月1日開設・山王一丁目36番26号)

尾崎士郎は「人生劇場」などの作品で知られる作家であり、馬込文士村の中心的人物でした。本記念館は、晩年の約10年を過ごした旧宅跡に書斎を復元して開館し、エネルギーに満ちた執筆活動を感じる資料を建物の外から観覧する形で展示しています。

「人生劇場」:昭和8(1933)年に都新聞で連載し、昭和10(1935)年に刊行した小説

【2年度計画】

- ・月1回ギャラリートークを実施します。
- ・記念館講座を実施します。(令和3年3月)
- ・展示の一部リニューアルを実施します。

【元年度実績】

- ・月1回ギャラリートークを実施しました。参加者85人  
※3月実施分のギャラリートークは新型コロナ感染拡大防止のため中止
- ※3月15日予定の記念館講座は、新型コロナ感染拡大防止のため中止

■龍子記念館・龍子公園

大森駅より東急バス荏原町駅入口行き白田坂  
下バス停下車徒歩2分  
都営浅草線西馬込駅南口から徒歩約15分

■熊谷恒子記念館

大森駅より東急バス荏原町駅入口行き万福寺  
前バス停下車徒歩5分  
都営浅草線西馬込駅(南口)から徒歩約10分



龍子記念館・熊谷恒子記念館・龍子公園 周辺図

【交通案内】

- JR京浜東北線「大森」駅  
西口・北口(山王方面)より徒歩15分
- 「大森」駅より東急バス  
上池上循環 内回り「新代田駅前」行  
都営浅草線「馬込」駅より東急バス  
上池上循環 外回り「大森陸軍所」行  
いずれも「山王二丁目」バス停下車  
徒歩5分



山王草堂記念館、尾崎士郎記念館 周辺図



## 6 OTAふれあいフェスタ

2年度予算額 47,163 千円 (元年度予算額 45,093 千円)

区民が集い、楽しみ、ふれあえる機会を創り出し、区民の連帯意識を醸成するため開催しています。

【2年度計画】令和2年11月7日(土)、8日(日)

予想来場者数：延べ30万人

【元年度実績】令和元年11月2日(土)、3日(日・祝) 来場者数：延べ32万人

平和島周辺(平和島公園、平和の森公園、大森ふるさとの浜辺公園、ボートレース平和島)

## 7 地域間交流事業

2年度予算額 1,410 千円 (元年度予算額 1,264 千円)

友好都市提携を結ぶ長野県東御市、秋田県美郷町及び宮城県東松島市とパネル展やイベントを通して、区民が3友好都市を知るきっかけをつくり、大田区と3友好都市との交流を促します。

### (1) 各友好都市事業への参加

#### 【2年度計画】

長野県東御市：巨峰の王国まつり 令和2年9月19日(土)、20日(日)

秋田県美郷町：六郷のカマクラ 令和3年2月15日(月)

宮城県東松島市：夏まつり 令和2年8月22日(土) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

#### 【元年度実績】

長野県東御市：巨峰の王国まつり 令和元年9月21日(土)、22日(日)

秋田県美郷町：六郷のカマクラ 令和2年2月15日(土)

宮城県東松島市：夏まつり 令和元年8月24日(土)

### (2) 友好都市パネル展

テーマを決め、本庁舎1階ロビーにおいて友好都市をパネル、ポスター等で区民に紹介します。

#### 【2年度計画】

内容	期間
友好都市パネル展(3都市合同) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	令和2年5月20日(水)～25日(月)
友好都市パネル展(美郷町・東松島市)	令和2年9月25日(金)～9月30日(水)
友好都市パネル展(東御市)	令和2年10月中旬

【元年度実績】

内容	期間
友好都市パネル展（3都市合同）	令和元年7月3日（水）～9日（火）
友好都市パネル展（東松島市）	令和元年9月12日（木）～17日（火）
友好都市パネル展（東御市・美郷町）	令和元年10月11日（金）～20日（日）

（3）友好都市ふれあいひろば

友好都市の魅力を特産品等の販売を通して広く区民に紹介することで交流の発展を図ります。

【2年度計画】令和2年10月17日（土）、18日（日）

【元年度実績】令和元年10月19日（土）、20日（日）

※ 来場者数：延べ5,000人



OTA ふれあいフェスタ



友好都市ふれあいひろば  
（蒲田駅西口駅前広場）

8 文化祭

2年度予算額 2,122 千円 （元年度予算額 2,122 千円）

区民による文化・芸術活動の発表・鑑賞・交流の機会を設け、文化・芸術活動と地域文化の振興を図ります。

【2年度計画】 11 部門(委託 10 団体)

開催日		事業名	開催場所
10月	17日（土）、18日（日）	書道展	大田区民ホール・アプリコ
	18日（日）	合唱祭	大田区民ホール・アプリコ
	18日（日）	こと・尺八の集い	大田文化の森
	23日（金）～25日（日）	絵画・写真展	池上会館
	24日（土）、25日（日）	動画上映の集い	池上会館
	25日（日）	詩吟剣詩舞大会	大田文化の森

開催日		事業名	開催場所
11月	3日(火・祝)	短歌大会	池上会館
	7日(土)	芸術フェスティバル ※新型コロナ感染拡大防止のため中止	大田区民プラザ
	7日(土)、8日(日)	華道展	大田区民プラザ
	15日(日)	郷土芸能大会	大田区民プラザ
	21日(土)	洋舞サークルフェスティバル	大田区民ホール・アプリコ
12月	6日(日)	吹奏楽祭	大田区民ホール・アプリコ

【元年度実績】 12部門で開催(内委託11団体) 出場者数1,233人 来場者数3,122人

※詩吟剣詩舞大会、洋舞サークルフェスティバル、書道展、合唱祭については、台風19号の影響により中止

開催日		事業名	開催場所	【元年度実績】 上段：出場者数 下段：来場者数
10月	11日(金) ～13日(日)	絵画・写真展	池上会館	43人 106人
	12日(土)	詩吟剣詩舞大会	大田文化の森	※
	12日(土)	洋舞サークルフェスティバル	大田区民ホール・アプリコ	※
	12日(土)、 13日(日)	書道展	大田区民ホール・アプリコ	※
	13日(日)	合唱祭	大田区民ホール・アプリコ	※
	19日(土)、 20日(日)	動画上映の集い	池上会館	184人 499人
	26日(土)、 27日(日)	華道展	池上会館	75人 548人
11月	3日(日・ 祝)	短歌大会	池上会館	62人 62人
	23日(土)	郷土芸能大会	大田文化の森	124人 220人
	23日(土)	芸術フェスティバル	大田区民プラザ	258人 258人
	24日(日)	吹奏楽祭	大田区民プラザ	357人 779人
	24日(日)	こと・尺八の集い	大田文化の森	130人 650人

## 9 郷土博物館の管理運営

2年度予算額 288,318 千円 (元年度予算額 63,268 千円)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の施設を休館

- ・馬込文士村資料展示室 令和2年3月3日から5月31日まで休館
- ・郷土博物館 令和2年3月2日から6月1日まで休館

■郷土博物館（昭和54年11月3日開館・南馬込五丁目11番13号）

大田区の歴史、文化、産業を中心とした貴重な資料等を適切に保管・展示するため、施設の維持管理を行うとともに、博物館事業を円滑に進めるための環境を整えます。

### 【2年度計画】

#### （1）資料燻蒸及び館内消毒

令和2年10月22日（木）～29日（木）

#### （2）博物館設備改修工事

令和2年10月上旬～令和3年3月下旬（予定）

### 【元年度実績】

#### （1）設備修理

①機械室設備修理 令和元年8月

②温水設備修理 令和元年12月

#### （2）資料燻蒸及び館内消毒

令和元年6月24日（月）～28日（金）

## 10 郷土博物館の事業

2年度予算額 31,851 千円 (元年度予算額 16,119 千円)

大田区に関連する人文科学系の資料を中心に収集・整理・保存し、調査・研究に努め、区民の文化及び学術の発展に寄与するため、常設展示を充実させ、特別展を開催するほか、体験学習会等の事業を実施します。

### （1）常設展

館内には、考古・歴史・民俗関係資料 58,493 点（令和2年3月末現在）を収蔵し、これらの資料を基礎とした研究の成果を常設展示しています。

#### ア 1階ロビー展示

考古・歴史・民俗・文化財の最新調査・研究成果を随時展示し、紹介しています。

#### イ 2階展示室「大田区の地中の歴史」

大田区内の遺跡を時代順に紹介し、発掘調査等で出土した土器、石器、骨角器、金属器、木器、埴輪等の遺物を展示しています。また、遺跡の発掘の手順を模型で紹介し、「大田区の遺跡の散歩道」をご案内しています。

#### ウ 2階展示室「水をめぐるふるさとの暮らし」

約400年前に水田耕作用に掘りめぐらされた六郷用水、長雨止めにつまわる「厳正寺水止舞」の実物大の獅子舞人形や、幅約7メートルの「六郷のとんび凧」等を展示しています。

#### エ 3階展示室「馬込文士村」

馬込地区を中心に大正末期から昭和初期にかけて、多くの小説家・詩人・画家たちが住み、後に「馬込文士村」と呼ばれるようになりました。その文士たちの作品や自筆原稿、遺品、当時の馬込の地形模型、小林古径邸の復元模型等を展示しています。

#### オ 3階展示室「昔の道具・海苔養殖・大森麦わら細工・大田のモノづくり」

70年ほど前に使われていた生活用具、東京湾で江戸時代の中頃から始まった海苔生産の歴史や道具、江戸から明治初期にかけて大森の名産であった「大森麦わら細工」、大田区の工業を支えてきた町工場の模型等を展示しています。

### 【2年度計画】

1階ロビーの特集展示コーナーにおいては、区内の遺跡、歴史、民俗、文化財、特別展開連など設定したテーマに沿って、定期的に展示替えを行い、所蔵資料やパネルを展示します。

- ・「古墳の中の武装な面々ー古墳時代の武器・武具ー」（令和2年6月2日（火）～7月26日（日））
- ・「沼部の庚申さま」（令和2年7月28日（火）～9月22日（火・祝））

### 【元年度実績】

- ・開館日数：279日（1日平均68人）
- ・入館者数：19,045人（大人16,975人、子供2,070人）

（一般団体79 団体1,117人、学校団体11団体841人）

2階の常設展示室の地中の歴史コーナーでは、博物館講座の内容に合わせて、古墳時代の鉄製品を追加し、位置図やキャプションを更新しました。また、弥生時代の土器を一部入れ替え、相互貸借事業として、長野県立歴史館所蔵の北信地域の弥生土器を展示しました。

3階の常設展示室の馬込文士村コーナーの川瀬巴水の版画を「今月の川瀬巴水」として月ごとに展示し、大田区ゆかりの版画家・高橋松亭の作品も月ごとで3点ずつ展示替えを行いました。さらに、2020年のカレンダーに使用されている作品を中心に、スポット展示「川瀬巴水」を開催しました。また、馬込文士村関係の展示資料の一部をミュージアムトーク「馬込文士と歴史小説」の開催にあわせて入れ替え、「子母澤寛」「大田区の勝海舟」コーナーを展示替えしました。大田のモノづくりコーナーでは「近代工業のパイオニアたち」として大森にあった東京瓦斯電気工業株式会社関連の資料を新たに展示しました。羽田空港の展示コーナーの一部資料を入れ替え、「漁村の暮らし」と「空港のある風景」の写真パネルを新設しました。

特集展示は、以下のように実施しました。

- ・「幕末・明治における勝海舟と大田区ー勝海舟と大田区のつながりを探ろう！ー」（平成31年3月22日（金）～令和元年5月31日（金））
- ・「羽田からストックホルムへー三島弥彦の挑戦ー」（令和元年6月1日（土）～8月6日（火））
- ・「渡邊庄三郎が生み出した新版画」（令和元年7月2日（火）～7月31日（水））

- ・「映画の都 蒲田」(令和元年8月7日(水)～9月29日(日))
- ・「地中の歴史、3万年」(令和元年10月5日(土)～12月1日(日))
- ・「文化財パネル展」(令和元年11月19日(火)～令和2年1月5日(日))
- ・「大横穴墓地帯、大田区」(令和2年1月7日(火)～3月1日(日))



特集展示「渡邊庄三郎が生み出した新版画」  
展示風景



特集展示「大横穴墓地帯、大田区」  
展示風景

## (2) 特別展

常設展では紹介しきれない様々な資料について、テーマを設けて特別展・企画展を開催し、地域文化の比較検討の場として、区民に提供しています。

### 【2年度計画】

◎特別展：「川瀬巴水」

・開催期間：令和2年7月18日(土)～9月22日(火・祝)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年度に延期

・概要：川瀬巴水(1883-1957)は、日本全国を歩き、懐かしくも美しい風景を版画作品として残しました。前期は、巴水の故郷でもある「東京の風景」を、後期は旅を愛した巴水が歩いた「旅先の風景」を中心に展示します。あわせて書簡や愛用品を紹介し、等身大の川瀬巴水にふれていただく機会とします。

### 【元年度実績】

◎特別展：「嶺の御嶽山と一山行者」

・開催期間：令和元年10月5日(土)～12月1日(日)

・入場者数：3,922人

・概要：大田区北嶺町の御嶽神社は、「嶺の御嶽山」と呼ばれています。一山行者が開いた神社は木曾御嶽山の関東第一分社とも言われ、多くの参拝者を集めました。本展では、地域における御嶽神社の歴史的展開を中心に、神社に参集した「御嶽講」について考えました。その結果、嶺の御嶽山は関東における木曾御嶽信仰の中心地となり、大田区内においても類を見ない霊場となった過程を導き出しました。また、会期前には嶺町特別出張所で特別展に関連するパネル展(1回)を行い、会期中には講演会(5回、参加人数265人)、フロアトーク(5回)、まち歩き(2回、参加人数44人)を実施しました。

・成果：①大田区内及び関連地において調査を進め、地域資料の掘り起こしに努めました。その結果、新事実や新出資料が確認でき、特別展で紹介することができました。  
②御嶽神社のある嶺町地区及びその周辺の方々へ博物館や特別展の情報を周知することで、今まであまり来訪が見られなかった地域からも多くの方が来館されました。

③資料の借用先である練馬区・板橋区・さいたま市などの教育委員会や、木曽御嶽山のある木曽町町長・職員が来訪され、交流や意見交換を図ることができました。



特別展の一部



基調講演

### (3) 博物館講座・体験学習会・ミュージアムトーク・見学会

大田区の考古、歴史、民俗について学び、より理解を深めるため体験学習会等を開催します。

#### 【2年度計画】

<博物館講座>※新型コロナ感染拡大防止のため中止

開催日	名 称	内 容	回数 募集人数
6月21日(日)	「大森厳正寺と水止舞」 講義編	神田より子氏(敬和学園大学名誉教授)をお招きし、民俗芸能における水止舞についてご講演いただきます。	1回 100人
6月28日(日)	「大森厳正寺と水止舞」 まち歩き編	前掲の講義編に関連し、当館学芸員が大森厳正寺とその周辺を案内します。	1回 30人

<夏休み体験学習会>※新型コロナ感染拡大防止のため中止

開催日	名 称	内 容	回数 募集人数
7月29日(水) 8月5日(水)	麦わら遊び 「大森麦わら張り細工」	染色した「麦わら」を木箱に張って、オリジナルのデザインによる麦わら張り細工の額絵を作製	2回 各回30人
7月30日(木)	麦わら遊び 「麦わらのホタルカゴづくり」	麦わらを使ってホタルカゴを作り、昔の郷土の産業と夏の遊びを学ぶ	1回 30人
7月31日(金) 8月1日(土)	勾玉づくり	滑石を加工して、自分だけの勾玉を作製	3回 (30日は午前・午後開催) 各回30人
8月6日(木)	麦わら遊び 「麦わらのガラガラ鳴るおもちゃづくり」	麦わらを使って昔の子どものおもちゃを作製	1回 30人

開催日	名 称	内 容	回数 募集人数
8月21日(金)	六郷のとんび凧づくり	江戸時代終わり頃から六郷地区で作られていた“とんびの形をした凧”を作製	1回 15組

<体験講座>※新型コロナ感染拡大防止のため中止

開催日	名 称	内 容	回数 募集人数
5月10日(日) 5月17日(日) 5月31日(日)	縄文土器づくり(3回連続)	古代の土器作りを復元した方法で、縄文土器づくりを体験	1回 25人
6月14日(日)	大森麦わら象嵌細工	大森麦わら細工の歴史を学び、伝統の象嵌細工を体験	1回 20人
7月5日(日)	大森麦わら編み細工	大森麦わら細工の歴史を学び、編み細工の初歩を体験	1回 20人

<赤ちゃんと一緒に博物館へ> ※新型コロナ感染拡大防止のため中止

開催日	名 称	内 容	回数 募集人数
6月4日(木) 9月3日(木)	赤ちゃんと一緒に博物館へ	0～2歳未満の乳幼児と保護者を対象とした、親子遊びと常設展、特別展の展示解説	2回 各回12組

<ミュージアムトーク>

開催日	名 称	内 容	回数 募集人数
5月9日(土)	沼部の庚申さま	密蔵院(田園調布南)にある青面金剛の信仰について、学芸員が解説 ※新型コロナ感染拡大防止のため中止	1回 50人
7月11日(土)	古墳の中の武装な面々ー古墳時代の武器・武具ー	特集展示「古墳の中の武装な面々」を中心に、学芸員が展示解説	1回 20人

【元年度実績】

<博物館講座>

開催日	名 称	内 容	回数 募集人数 参加人数
1月26日(日)	大田区の横穴墓ー古墳時代の埋葬方法とその観念ー	古墳時代の横穴墓や当時の人々の死生観について、大田区とその周辺地域を中心にご講演いただいた。展示解説や土器に触れる体験も行った。	1回 100人 73人



開催日	名 称	内 容	回数 募集人数 参加人数
2月16日(日)	多摩川汽水域と大田区の 近世－六郷領八幡塚村の 社会と空間－	六郷地区の一角に成立した八幡塚村の名主・鈴木家に伝来した古文書や村絵図を主たる素材として、近世の多摩川汽水域の社会と空間についてご講演いただきました。	1回 100人 65人

成 果：大田区の考古や歴史のテーマに沿った外部講師の先生をお招きし、専門的内容を深く学べる講座を開催しました。いずれもわかりやすい内容であったと好評であり、質疑応答の時間も設けたため、参加者からも好評でした。

<講演会>

開催日	名 称	内 容	回数 募集人数 参加人数
9月21日(土)	キネマの天地－松竹キネ マ蒲田撮影所－	松竹キネマ蒲田撮影所で青春をかけた人たちと、彼らが成し遂げた業績についてご講演いただきました。	1回 100人 52人

成 果：特集展示「映画の都 蒲田」の関連催事として、講演会を開催した。博物館を広くPRする好機となったとともに、松竹キネマ蒲田撮影所開設100年を迎える令和2年に向けて機運醸成を図ることができました。

<夏休み体験学習会>

開催日	名 称	内 容	回数 募集人数 参加人数
7月23日(火)	麦わら遊び 「ホタルカゴづくり」	麦わらを使ってホタルカゴを作り、昔の郷土の産業と夏の遊びを学んだ。	1回 30人 23人
7月26日(金) 7月27日(土)	勾玉づくり	滑石をヤスリなどで研磨・加工して、勾玉を作った。	3回 (27日は午前・午後開催) 各回30人 延べ90人
7月30日(火) 8月20日(火)	麦わら遊び 「大森麦わら張り細工」	染色した「麦わら」を木箱に張って、オリジナルのデザインによる麦わら張り細工の額絵を作製	2回 各回30人 延べ41人
8月2日(金)	大麦の脱穀と 麦粉菓子づくり	昔の農具を使って麦を脱穀し、麦粉菓子や麦茶づくりなどを体験	1回 30人 26人

開催日	名 称	内 容	回数 募集人数 参加人数
8月18日(日)	多摩川台公園 古墳探検ツアー	多摩川台公園の古墳をめぐり、クイズを解きながら学んだ。	1回 10組 延べ22人
8月21日(水)	麦わら遊び 「ガラガラづくり」	麦わらを使っておもちゃのガラガラを作った。	1回 30人 14人
8月22日(木)	六郷のとんび凧づくり	江戸時代終わり頃から六郷地区で作られていた“とんびの形をした凧”を作製	1回 15組 延べ21人

成 果：夏休み中の小・中学生向けに、地域の文化的資源を生かした講座を開催することで、博物館の活用に結び付き、地域の歴史を楽しく学ぶ機会をつくることができました。自由研究のテーマとしても好評でした。

<体験学習会>

開催日	名 称	内 容	回数 募集人数 参加人数
4月30日(火)	大森麦わら象嵌細工	大森麦わら細工の歴史を学び、伝統の象嵌細工を体験	1回 20人 14人
9月1日(日) 9月8日(日) 9月22日(日)	縄文土器づくり(3回連続)	古代の土器作りを復元した方法で、縄文土器づくりを体験	1回 25人 27人
11月30日(土)	麦わらのクリスマスリースづくり	麦わらを使い、クリスマスリースを作る	2回 (午前・午後開催) 各回20人 延べ38人
12月7日(土)	しめ飾りづくり	稲わらを使い、正月飾りの「しめかざり」を作る	2回 (午前・午後開催) 各回20人 延べ39人
2月9日(日)	大森麦わら編み細工	大森麦わら細工の歴史を学び、編み細工の初歩を体験	1回 20人 14人

成 果：地域特有の文化的資源を生かした体験講座を開催することによって、地域の歴史に関して理解を深めていただく機会となりました。



大森麦わら象嵌細工



縄文土器づくり



しめ飾りづくり



麦わらのクリスマスリースづくり

<赤ちゃんと一緒に博物館へ>

開催日	名 称	内 容	回数 募集人数 参加人数
6月6日(木) 11月7日(木) 3月5日(木)	赤ちゃんと一緒に博物館へ	0～2歳未満の乳幼児と保護者を対象とした、親子遊びと常設展、特別展の展示会解説	2回 各回12組 延べ29人

※令和2年3月5日(木)は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

成 果：展示解説を通して大田区の歴史について関心を深めるとともに、乳幼児連れでも利用しやすい環境づくりを行ったことで、年間を通しリピーターも見られました。



「ねんじっこお話の会」による読み聞かせと手遊び



常設展示の解説

<ミュージアムトーク>

開催日	名 称	内 容	回数 募集人数 参加人数
4月27日(土)	幕末・明治における勝海舟と大田区 勝海舟と大田区をつながりを探ろう！	学芸員が特集展示「幕末・明治における勝海舟と大田区 勝海舟と大田区をつながりを探ろう！」を中心に展示解説	1回 20人 29人
5月11日(土)	海舟が眠る洗足池	学芸員が常設展示「海舟が「眠る洗足池」を中心に展示解説	1回 20人 31人
7月13日(土)	渡邊庄三郎と新版画	学芸員が座学と特集展示「渡邊庄三郎が生み出した新版画」を中心に展示解説	1回 30人 51人
9月14日(土)	馬込文士と歴史小説	学芸員が座学と常設展示「馬込文士村コーナー」を中心に展示解説	1回 30人 38人
11月16日(土)	地中の歴史、3万年	学芸員が特集展示「大田区の歴史、3万年」を中心に解説	1回 20人 22人
2月8日(土)	大横穴墓地帯、大田区	学芸員が特集展示「大横穴墓地帯、大田区」を中心に解説。	1回 20人 18人

成 果：常設展示や特集展示の見どころを展示解説や講座を通じて解説することで、展示資料や地域の歴史に関する理解を深めていただく機会となりました。未公開資料の展示観覧に加え、最新の研究成果が聴講できるため好評を得ており、リピーターの獲得にも寄与しました。

<学芸員と歩く、遺跡・まちめぐり>

開催日	名 称	内 容	回数 募集人数
10月12日(土)	田園調布編	田園調布のまちや古墳群をめぐる予定であったが、台風のため中止となった。	1回 20人
3月20日(金・祝)	山王編	山王の住宅街や遺跡を歩く予定であったが、新型コロナ感染拡大防止のため中止となった。	1回 20人

#### (4) 出張事業

学芸員が要望に応じて館外に出張し、現地見学会や体験学習会、講演会等を行います。

##### 【2年度計画】

区内小学校をはじめ関係機関からの依頼に対し、協力します。

##### 【元年度実績】

- ・対象：小学校・町会・区組織等の関係機関
- ・実績：27回、参加者延べ814人
- ・内訳：現地案内4回 113人 体験教室4回 405人 講座5回 233人、展示解説3回 63人 展示11回
- ・成果：館外活動を通じて、博物館の蓄積してきた資源や学芸員の有する専門的知識を参加者に提供し、博物館のPRに結び付けることができました。

#### (5) 学校見学

小学校による郷土博物館への団体見学では、社会科見学・総合学習の一環として、学習内容に合わせて展示を説明します。学年によっては「昔の道具」の体験学習も実施します。また、職場体験やインタビューを希望する中学生を受け入れます。

##### 【2年度計画】

区内小・中学校からの依頼に対し、学校同士のスケジュールを調整して協力します。

##### 【元年度実績】

- ・対象：区内各小学校 8校来館  
内訳 3年生7校 6年生1校  
区内各中学校 4校来館  
内訳 1年生2校 2年生2校
- ・実績：利用人数合計823人（小学校805人、中学校18人）
- ・成果：身近な地域や大田区に関する学びの場と機会を提供することで学校教育に貢献した。体験学習は貴重な実物資料に触れる機会として学習意欲を高める効果をもたらしました。

#### (6) 所蔵資料の観光的活用

##### 【2年度計画】

- ・特別展図録「川瀬巴水」の作成
- ・川瀬巴水カレンダーの作成、販売
- ・川瀬巴水絵葉書の作成、販売
- ・川瀬巴水団扇の作成、販売
- ・川瀬巴水チケットフォルダーの作成、販売

##### 【元年度実績】

- |                    |        |
|--------------------|--------|
| ・特別展図録「嶺の御嶽山と一山行者」 | 1,800部 |
| ・大田区立郷土博物館起用 第23号  | 600部   |
| ・川瀬巴水クリアファイル「馬込の月」 | 1,000部 |
| ・川瀬巴水一筆箋「馬込の月」     | 1,000部 |
| ・川瀬巴水壁掛カレンダー作成、販売  | 500部   |
| ・川瀬巴水扇子「池上市之倉（夕陽）」 | 200部   |
| ・川瀬巴水扇子「池上本門寺之塔」   | 200部   |



特別展図録「嶺の御嶽山と一山行者」



川瀬巴水クリアファイル「馬込の月」

## 11 大森 海苔のふるさと館の運営

2年度予算額 59,590 千円 (元年度予算額 56,403 千円)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年3月3日から5月31日まで休館

### ■大森 海苔のふるさと館 (平成20年4月6日開館・平和の森公園二丁目2)

「大森 海苔のふるさと館」は、大田区沿岸の海苔づくりの歴史を伝える施設として、平成20年4月6日に開館しました。「大森およびその周辺地域の海苔生産用具」の名称で国の重要有形民俗文化財に指定された881点をはじめとする海苔資料を保存・展示し、地域の人々と協働して海苔にかかわる多彩な活動を行う博物館です。また、隣接する「大森ふるさとの浜辺公園」の環境を理解するビジターセンターの役割も併せ持っています。

・開館日数：318日

・入館者数：85,320人 (大人 52,264人、子供 33,056人)

(一般団体 193団体 3,390人) (学校団体 71団体 5,229人)

#### (1) 催しもの (体験学習会等)

【2年度計画】※海苔つけ体験 (4月4日 (土))、緑のカーテンを編もう、海藻おしばづくり、あみあみペットボトルホルダーづくりについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

	名 称	内 容	回数 募集人数
1	海苔つけ体験 (区報公募)	かつての大森の海苔づくりの方法で、乾し海苔作りを体験	10回 (内1回は 実績記載) 各回 80人
2	大森の伝統を学ぶ海苔つけ体験	海苔づくりについて学習し、元海苔生産業者の指導でかつての乾し海苔作りを体験	2回 各回 40人
3	海苔でお絵描き 海藻おしばづくり	海苔や身近な海藻を使って、自由に絵や文字を描いた海藻おしばのカードをつくる	2回/日 (実績記載) 各回 30人
4	緑のカーテンを編もう	海苔漁師の網づくりの技術を応用して、緑のカーテン (ネット) を編む	1回 (実績記載) 18人
5	浜辺の生き物探検隊	浜辺の生き物の採集と観察をし、海の生き物の生態や環境を学ぶ	2回 各回 20人
6	あみあみペットボトルホルダーづくり	海苔漁師の網づくりの技術を応用して、ペットボトルホルダーを制作	1回 18人
7	貝がら工作	紙箱に貝殻を貼り付けて、貝の水族館を制作	2回/日 各回 40人
8	自然素材でフォトフレームづくり	自然素材のヨシで海苔簀を編み、貝などで飾り付けしたフォトフレームを作る	1回 20人
9	タペストリーをつくろう	海苔漁師が海で使用した結びの手法でタペストリー (壁掛け) を制作	1回 20人

	名 称	内 容	回数 募集人数
10	ペーパークラフトで 海苔とり舟をつくらう	ペーパークラフトでベカブネを制作	1回 20人
11	自由研究で海苔を調べよう	海苔の説明を聞いたり、記録映像を見たりして、昔の海苔の作り方や歴史を学ぶ	1回 30人
12	フジツボを観察しよう	仕掛けに付いた赤ちゃんフジツボを観察したり、フジツボが好きな環境を調べたりする	1回 20人
13	海苔簀づくり	自然素材のヨシで、乾し海苔に使う海苔簀を編む	2回 各回20人
14	浅草海苔のふるさと大森を 歩く	浅草海苔の一大生産地だった痕跡を探し、大森東地域の史跡や寺社などを巡る	1回 20人
15	映像上映「海の畑」	海苔養殖終焉前後の海苔生産者の苦悩と葛藤が描かれている作品「海の畑」を上映する	1回 80人

【元年度実績】

	名 称	内 容	回数 募集人数 参加人数
1	海苔つけ体験（区報公募）	かつての大森の海苔づくりの方法で、乾し海苔作りを体験 ※3月14日・22日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	10回 各回80人 延べ690人
2	大森の伝統を学ぶ海苔つけ 体験	海苔づくりについて学習し、元海苔生産業者の指導でかつての乾し海苔作りを体験	2回 各回40人 延べ66人
3	緑のカーテンを編もう	海苔漁師の網づくりの技術を応用して、緑のカーテン（ネット）を編む	1回 20人 18人
4	海藻おしばづくり	海苔や身近な海藻を使って、海藻おしば作りを体験	2回/日 各回40人 延べ50人
5	あみあみペットボトル ホルダーづくり	海苔漁師の網づくりの技術を応用して、ペットボトルホルダーを制作	1回 20人 19人
6	浜辺の生き物探検隊	浜辺の生き物の採集と観察をし、海の生き物の生態や環境を学ぶ	2回 各回20人 延べ34人
7	貝がら工作	紙箱に貝殻を貼り付けて、貝の水族館を制作	2回/日 各回40人 延べ76人

	名 称	内 容	回数 募集人数 参加人数
8	自然素材でフォトフレームづくり	自然素材のヨシで海苔簀を編み、貝などで飾り付けしたフォトフレームを作る	1回 20人 20人
9	タペストリーをつくろう	海苔漁師が海で使用した結びの手法でタペストリー（壁掛け）を制作	1回 20人 15人
10	ペーパークラフトで海苔とり舟をつくろう	ペーパークラフトでベカブネを制作	1回 20人 20人
11	自由研究で海苔を調べよう	海苔の説明を聞いたり、記録映像を見たりして、昔の海苔の作り方や歴史を学ぶ	1回 30人 28人
12	フジツボを観察しよう	仕掛けに付いた赤ちゃんフジツボを観察したり、フジツボが好きな環境を調べたりする	1回 20人 11人
13	海苔簀づくり	自然素材のヨシで、乾し海苔に使う海苔簀を編む	2回 各回20人 延べ38人
14	浅草海苔のふるさと大森を歩く～海苔の史跡めぐり～	浅草海苔の一大生産地だった痕跡を探し、大森東地域の史跡や寺社などを巡る	1回 20人 12人
15	映像で知る海苔づくりいまむかし	かつての大森の海苔づくりや現在の生産地の海苔づくりなどの映像を上映する	1回 80人 7人

- ・成 果：海苔づくりの伝統技術を学ぶ講座では元海苔生産者から直接指導を受けることができ、参加者からも好評でした。また、高齢化が進む元海苔生産者からの技術継承の場になっています。生物に関する講座では都内では珍しい人工海浜を活用して、海に親しむ体験と海の学びを提供しています。



海苔つけ体験



海藻おしばづくり



## (2) 企画展

### 【2年度計画】

#### ア 大田の船模型展

- ・会 期：令和2年6月1日（月）～8月16日（日）
- ・概 要：海苔生産後に船大工や生産者などの手によって作られた船模型を展示し、海苔生産の在りし日の姿をたどる。

#### イ 海苔簀づくり（仮）

- ・会 期：令和2年8月18日（火）～11月15日（日）
- ・概 要：海苔簀の材料準備の過程や道具、作り方などを実際の材料や道具を展示して解説する。

#### ウ 海苔生産写真展（仮）

- ・会 期：令和2年11月17日（火）～令和3年4月18日（日）
- ・概 要：海苔生産作業の1年間の流れを写真パネルで紹介する。

### 【元年度実績】

#### ア 船大工の仕事一切る・削る・組むー

- ・会 期：平成31年4月16日（火）～令和元年7月15日（月・祝）
- ・来場者：22,614人
- ・概 要：船大工が使用していた道具、中ベカ復元の紹介パネルを展示し、かつて大田区沿岸部で使用されていた船について紹介した。

#### イ 大森ふるさとの浜辺公園の生き物たちー命を育む東京湾の浅瀬ー

- ・会 期：令和元年7月17日（水）～11月17日（日）
- ・来場者：35,013人
- ・概 要：夏休みに浜辺を利用する親子向けに、ふるさとの浜辺公園にいる生物や、環境について紹介した。

#### ウ 海苔づくりの風景ー海苔つけという技術ー

- ・会 期：令和元年11月19日（火）～令和2年4月19日（日）  
※新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館のため、3月2日まで実施
- ・来場者：21,330人
- ・概 要：海苔のシーズンに合わせ、海苔生産の様子を記録した写真パネルを展示し、海苔生産の歴史を伝えた。
- ・成 果：常設展示の中から来館者の興味強いテーマを抽出し、通常よりも丁寧に紹介することによって、来館者に対しわかりやすく、満足度の高い展示ができました。



企画展「船大工の仕事」



企画展「大森ふるさとの浜辺公園の生き物たち」

### (3) 海苔の生育観察事業

海苔生産の技術の継承とかつて大田区の海辺で見られた海苔づくりの光景を再現して、地域の歴史や伝統を学ぶことを目的に、元生産者等の協力者とふるさと浜辺の浅瀬で実施します。

#### 【2年度計画（4月の事業は実績記載）】

	日 程	名 称	内 容	回数
1	4月25日（土）	ヒビ抜き・棒抜き	竹ヒビや支柱を撤去する。	1回
2	8月3日（月）	アク抜き	竹ヒビに使用する竹を海に設置。	1回
3	9月17日（木）	竹引き上げ・洗い	8月に海中に沈めた竹を引上げる。	1回
4	9月26日（土）	ヒビごさえ	竹ヒビを作成する。	1回
5	9月28日（月）	場割り	ヒビ建て・支柱建ての場所を決める。	1回
6	10月17日（土）	ヒビ立て、棒立て	竹ヒビと支柱を海に設置する。	1回
7	12月のいずれか	網張り	海苔網を支柱にくくりつける。	1回

#### 【元年度実績】

- ・活動日数：14日 参加者数：140人
- ・成 果：ふるさとの浜辺に竹ヒビや海苔網を設置することで、公園に遊びに来た人の関心を引くことができ、海苔のふるさと館への来館促進につながりました。また、職員やボランティアにとっては実際の作業を通じての技術習得の機会となりました。



ヒビ立て、棒立て



網張り

### (4) 出張事業

学芸員が要望に応じて館外に出張し、体験学習会、まち歩き、講演会等を行います。

#### 【2年度計画】

区内小学校をはじめ関係機関からの依頼に対し、協力します。

#### 【元年度実績】

- ・対 象：小学校・区組織等の関係機関・観光協会・法人など
- ・実 績：19回、参加者延べ2,082人
- ・内 訳：体験学習5回530人 授業・研究発表4回240人  
ふるさとの浜辺清掃6回523人 展示2回
- ・成 果：学校へ職員が赴き見学の事前・事後学習の補助をすることによって、学びが深まりました。また、地域の催し物などに参加することでより多くの人に海苔や地域の歴史を知ってもらう機会となりました。

## (5) 学校見学

郷土博物館への見学に際し、社会科見学・総合学習の一環として、学習内容に合わせて展示を説明します。学年によっては「海苔つけ体験」の体験学習も実施します。

### 【2年度計画】

区内小学校からの依頼に対し、学校同士のスケジュールの重複を調整して協力します。

### 【元年度実績】

- ・対 象：区内各小学校 49 校来館  
区外小学校 12 校来館  
中学校 3 校（区内1校）  
高校 1 校（区内1校）  
小学校内訳 3年生47校 4年生9校 5年生3校 6年生2校
- ・実 績：利用人数小学校4,817人 中学校11人 高校8人
- ・成 果：小学生にとっては自分たちの地域の生き立ちを学ぶ良い機会となりました。また、同じような歴史を持つ東京湾沿岸の他自治体の小学校の来館も増えました。中学生の職場体験や中高生の調べ学習も毎年受入れています。



学校見学（海苔つけ）



学校見学（海苔の解説）

## 12 勝海舟記念館の運営

2年度予算額 112,684 千円 （元年度予算額 105,498 千円）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年3月2日から6月1日まで休館

勝海舟記念館は、令和元年5月15日の竣工後、展示制作、初度調弁、窓口受託業者の選定等を進め、令和元年9月7日に開館しました。令和元年9月7日から令和2年3月1日まで22,400人（開館日数144日・1日平均155人）に来館いただきました。

記念館のPR及び来館促進に資する取組、区内外での広報を進めています。

## 【2年度計画】

### (1) 魅力ある展示の継続

年数回の企画展を中心に、テーマ及び構成を変え、実物資料及びデジタルコンテンツ（海舟ブレイン、資料検索タッチパネル、モニター、模型AR等）を活かした魅力ある展示を行います。

### (2) グッズの充実・広報の促進

記念館の魅力を高めるため、各種広報媒体による区内外へのPRを促進します。また、併せてミュージアムショップのグッズを充実させるほか、各種広報媒体による区内外へのPRも促進します。

### (3) 勝海舟基金への寄附喚起

目標額の達成に向け、寄附の活用状況（購入資料や修復状況等）を公開するなどして、同基金へ寄附する意義を高め、寄附促進につなげます。

## 【元年度実績】

### (1) 開館準備・運営

ア 記念館運営（展示、事務、資料収蔵、ミュージアムショップグッズ等）に必要な初度調弁等を揃えました。窓口、館内巡視等を業務委託とするなど運営体制を整備しました。

イ 企画展テーマ

令和元年9月7日～令和2年1月13日 開館記念銘品展

令和2年1月16日～4月26日 海舟が見た19世紀の日本と国際社会、常設展も一新

ウ その他追加制作等

来館者アンケート（9～3月・644件）等のご意見も踏まえ、開館後も、案内表示の追加、パネルの追加作成、コインロッカーラッピング、こども向け冊子の制作を行うなど、魅力向上のための取組を進めました。

エ 成果

来館者アンケートでは、展示について、「大変満足・まあ満足」が80%以上、「やや不満・不満」が1～2%であり、一定の評価をいただきました。一方、グッズの充実や子どもへの発信に期待する多くの声をいただきました。今後の課題として捉え、魅力向上に努めます。

### (2) 気運醸成事業等の実施

ア 主催事業等

(ア) オープニング前カウントダウンイベント「勝海舟記念館を120%楽しむために」

・実施日：令和元年7月3日（水）

・会場：大田区民プラザ大ホール

・参加者数：390人

・成果：記念館の認知度向上及び来館促進を目指し、明治時代の勝海舟に関する講演及び勝海舟に関するクイズを実施しました。アンケートでは「初めて知ることが多かった」という感想を多くいただき、勝海舟への関心を更に深めたほか、展示資料に対する多くの期待の声をいただきました。

(イ) 内覧会

- ・実施日：令和元年9月3日（火）～5日（木）
- ・会場：勝海舟記念館
- ・参加者数：274人及び報道機関10社

(ウ) 開館セレモニー

- ・実施日：令和元年9月7日（土）
- ・会場：勝海舟記念館、大森第六中学校
- ・参加者数：186人及び報道機関7社



セレモニーの様子

- ・成果：内覧会及び開館セレモニーについて、新聞、テレビ、インターネット等で報道いただき、広く全国へPRを図ることができました。

(エ) 学芸員案内による墓所散策

- ・実施日：令和2年1月19日（日）
- ・会場：勝海舟記念館及び洗足池公園
- ・参加者数：68人
- ・成果：勝海舟の命日に、学芸員が洗足池公園の墓所付近で解説（3回）を行いました。区内外から多くの方が参加され、勝海舟に想いを馳せていただき、記念館及び洗足池公園のPRを図りました。

イ 他所属主催の事業等【参考】

(ア) 勝海舟と新しい時代（主催：東京工業大学リベラルアーツ研究教育院、区後援）

- ・実施日：令和元年6月20日（木）
- ・会場：東京工業大学大岡山キャンパス
- ・参加者数：280人
- ・成果：区職員が同校教授等とパネルディスカッションを行いました。同校学生を始め、地域の方々に記念館をPRし、地域における官学連携を図りました。

(イ) 大田区立勝海舟記念館オープン記念展 3区合同パネル展（主催：（公財）特別区協議会）

- ・実施日：令和元年8月27日（火）～9月26日（木）
- ・会場：区政会館
- ・成果：勝海舟ゆかりの港区及び墨田区との合同企画として、パネル展示を行い、広くPRを図りました。

(ウ) 文化財公開見学会「洗足池公園の魅力再発見！」（主催：大田区教育委員会）

- ・実施日：令和元年10月26日（土）
- ・会場：勝海舟記念館等
- ・参加者数：18人
- ・成果：東京都教育委員会主催東京文化財ウィーク2019（令和元年10月26日（土）～11月4日（月・祝））の機会を活かし同日、学識経験者が文化財を解説しPRを図りました。

(エ) もみじふれあい元気塾講演会（主催：鶴の木特別出張所）

- ・実施日：令和元年11月28日（木）
- ・会場：鶴の木特別出張所
- ・参加者数：40人
- ・成果：記念館の認知度向上及び来館促進のため、学芸員が記念館の紹介及び大田区と勝海舟のつながりについて講演を行いました。アンケートでは「早速行ってみたい」「勝海舟への興味を持つことができた」といった感想をいただき、地域でPRを進める機会となりました。

ウ 広報

(ア) ポスターの発行

- ・発行月：開館前（令和元年8月）、企画展（令和2年1月）
- ・配布先：区内（文化施設、特別出張所、文化センター、区民センター、小中学校、図書館）  
区外関係施設、会議体等

(イ) 広報紙「海舟だより」5号の発行

- ・発行月：令和2年1月
- ・配布先：区内（文化施設、特別出張所、文化センター、区民センター、小中学校、図書館）  
区外関係施設、会議体等

(ウ) プロモーションビデオ第2弾の制作

- ・YouTubeで公開（令和2年3月4日（水）～）
- ・昨年度制作のものは竣工前の内容であったが、今回は館内、展示の詳細を紹介した。

(エ) 紙媒体での発信

- ・おおた区報9月1日号（開館特集号）
- ・本庁舎3階パネル展（令和元年8月16日（金）～8月29日（木））
- ・本庁舎横断幕掲出（JR蒲田駅ホーム前）（令和元年9月2日（月）～9月20日（金））
- ・このほか、地域情報紙での特集（久が原特別出張所、雪谷特別出張所、千束特別出張所）、ART BEE HIVE 9月号（大田区文化振興協会）、海舟が愛した洗足池おさんぽ手帖（観光課）、東急電鉄生活名所池上線広告への掲載（観光課）、大田の観光 秋号（大田観光協会）、広報東京都（東京都）、大田区×川崎市中原街道周辺篇（観光課・川崎市）、23区情報誌（（公財）特別区協議会）、ライフアップ（特別区職員互助組合）、歴史雑誌4件、まち歩き雑誌等
- ・成果：庁内外と広く連携した広報が行うことができました。民間業者からも無料で掲載の依頼を受けるものもあり、広報推進に寄与しています。

(オ) WEB媒体での発信

- ・区ホームページのトップページに専用コンテンツ及びバナーの設置
- ・区シティプロモーションホームページでの特集記事
- ・WEB広告

概要：全国に向けて、記念館の認知度向上及び勝海舟基金への寄附募集のため、Facebook、Instagram及びTwitterにPR広告を掲載しました。約129万回表示。

期間：令和2年1月23日（木）～3月26日（木）

成果：WEB広告をきっかけとする寄附の申し込みをいただいたほか、記念館Twitterのフォロワー数の大幅増（1月下旬の約400から3月下旬の約1,600へ）につながりました。

### (3) 資料購入

令和2年2月10日(月)開催の資料収集評価委員会で学識委員の評価を踏まえて、43点を購入しました。

### (4) 勝海舟基金

ア 平成31年4月1日から令和2年3月31日までに、321件27,284,309円の寄附を受領。

平成30年8月からの累計698件、45,095,654円。

イ 寄附累計のうち、31,328,817円について寄附金及び利子から基金への積み立てを行いました。

また、基金から7,639,228円を取り崩し、展示資料の購入及び修復経費に充当しました。

## 13 勝海舟記念館の整備

2年度予算額 53,745千円(元年度予算額 488,366千円)

国登録有形文化財建造物である旧清明文庫を保存・活用し、勝海舟の想い、洗足池とのゆかり、その想いを展示する勝海舟記念館を、令和元年9月7日に開館しました。

### 【2年度計画】

記念館隣地は、憩いのスペースとして整備し、記念館と一体で管理していきます。

洗足池図書館付近から記念館までの石畳の路面には、勝海舟ゆかりのタイルを敷き、記念館へ誘うとともに、記念館周辺を含め、面として魅力を発信していきます。

### 【元年度実績】

令和元年5月15日に建築工事が竣工、7月31日に展示制作が納品され、その後は、開館準備に移行しました。

開館後も、より鑑賞しやすくするための展示台の追加制作、洗足軒模型にAR(拡張現実)のデジタルコンテンツ設置など、魅力向上及びリピーター獲得のための取組を段階的に進めました。

#### (4) スポーツ推進課

「スポーツを通じて健康で豊かに暮らせるまち」の実現に向け、平成30年3月に策定した「大田区スポーツ推進計画（改定版）」に基づき施策を展開します。庁内はもとより、（公財）大田区スポーツ協会、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ、民間事業者などと積極的に連携し、スポーツ実施率の維持・向上と、スポーツを通じた福祉・健康・産業・観光など他分野における課題解決をめざします。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、スポーツ庁のガイドラインや都のロードマップに準拠し、区民が、運動・スポーツをする際には、密閉・密集・密接を避け、体調管理、手洗いや消毒を徹底するなど、安全に実施していただくよう理解・協力を求めています。

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、東京2020大会が延期され、オリンピックは令和3年7月23日から8月8日まで、パラリンピックは令和3年8月24日から9月5日までの開催となりました。現在、大会組織委員会や東京都は大会の運営計画を見直しており、大田区においても、予定していた取組を見直していきます。

今年度は、引き続き、大会の成功に向けて、大会組織委員会や東京都に全面的に協力していくことを前提に、大会本番に向けた準備を進めるとともに、イベント開催が困難な中でも区民が大会に関する情報に触れることができるように、また、活動が制限される中で大会出場に向け努力している、区にゆかりのある選手やホッケー代表選手などを応援するために、情報発信を充実いたします。

さらに、新型コロナの影響を考慮しながら、区主催イベントで大会を目指す区ゆかり選手の声を区民に届けるなどの取組により大会に向けた関心を高めていけるよう検討してまいります。

予算事務事業名	事業名	頁
<b>スポーツ振興費</b>		
(公財)大田区スポーツ協会運営費補助		
	1 (公財)大田区スポーツ協会	93
<b>スポーツ教室</b>		
	2 小・中学生スポーツ教室	94
	3 障がい者水泳教室	95
	4 成人スポーツ教室	95
<b>スポーツ奨励</b>		
	5 地域スポーツクラブ	96
	6 スポーツ奨励事業	97
	7 寿ハイキング	98
<b>指導者養成</b>		
	8 ラジオ体操指導者講習会	98
	9 スポーツ指導者養成講習会	99
<b>区民スポーツ大会</b>		
	10 区民スポーツ大会	99
<b>都民体育大会等代表派遣</b>		
	11 都民体育大会等代表派遣	100



予算事務事業名	事業名	頁
スポーツ推進委員		
	12 スポーツ推進委員	100
スポーツ推進審議会		
	13 スポーツ推進審議会	101
スポーツ健康都市宣言記念事業		
	14 O T Aウォーキング	101
	15 区民スポーツまつり	102
	16 おおたスポーツ健康フェスタ	103
新スポーツ健康ゾーン活性化事業		
	17 新スポーツ健康ゾーン活性化事業	104
スポーツ推進広報事業		
	18 スポーツ推進広報事業	105
東京 2020 レガシー事業		
	19 東京 2020 レガシー事業	106
大田スタジアム維持管理		
	20 大田スタジアム	107
大森スポーツセンター維持管理 (大森本町複合施設維持管理等含む)		
	21 大森スポーツセンター	108
大田区総合体育館維持管理		
	22 大田区総合体育館	110
東京オリンピック・パラリンピック推進事業		
	23 東京オリンピック・パラリンピック推進事業	112

## 1 公益財団法人 大田区スポーツ協会 (管理運営費補助)

2年度予算額 52,957 千円 (元年度予算額 52,160 千円)

大田区内におけるスポーツ及びレクリエーションの普及・振興を図り、区民の心身の健全な発達と明るく豊かな地域社会の形成に寄与することを目的に活動しています。区では運営費補助を通じ、協会の体制強化を支援しています。

### 【2年度計画】

#### (1) 大田区の受託事業

- ・区民スポーツ大会、区民スポーツまつり等の実施

#### (2) 指定管理業務

- ・大森スポーツセンター、大田スタジアムの指定管理者グループの代表団体として施設の管理運営

### (3) その他（自主事業）

- ・各種スポーツ教室 : 4種目
- ・各種講習会 : 3回
- ・年少者スポーツ育成事業 : 48回
- ・大田スポーツバイキング : 3回
- ・ボッチャ教室／交流大会 : 1回



#### 【元年度実績】

※事業の詳細は、以下2、3、4、8、9、10、11、14、15、20、21に掲載

## 2 小・中学生スポーツ教室（(公財)大田区スポーツ協会委託事業）

2年度予算額 4,563 千円（元年度予算額 4,557 千円）

小・中学生スポーツ教室は、スポーツとの出会いを通じてその基礎を学ぶとともに、心身の健全な成長と豊かな情操を育むことを目的に実施しています。総合型地域スポーツクラブとの連携により実施している種目もあり、地域の指導者が運営するなど、この事業が地域活動のひとつとなっています。平成30年度からすべての種目が（公財）大田区スポーツ協会委託事業となりました。

#### 【2年度計画】

（実績記載）4月～6月は新型コロナ感染拡大防止のため中止

- ・回数 : 7種目 13教室
- ・定員 : 各 30～50人



#### 【元年度実績】

- ・回数 : 7種目 13教室 延べ回数 : 224回
- ・参加人数 : 登録者数 429人 延べ 4,330人
- ・種目 : ソフトテニス、硬式テニス、ダンス、卓球、バドミントン、陸上、剣道
- ・成果 : 小・中学生の授業や部活動以外で、気軽にスポーツに参加できる場として、幅広い種目を提供し、初心者がスポーツに親しめるようわかりやすい指導に努めました。小学4年生から中学生まで、幅広い年齢層と一緒に、スポーツを通じて交流できる事業になりました。

### 3 障がい者水泳教室 ((公財) 大田区スポーツ協会委託事業)

2年度予算額 3,645 千円 (元年度予算額 3,639 千円)

障がい者がスポーツに親しむ機会の提供及び健康の保持増進を目的とし、障がい者のスポーツを通じた交流の場や仲間づくりの場となっています。プールは、浮力があるため体に負担が少なく、消費エネルギーの多い水泳は、広く障がい者の運動機能の維持・向上が期待でき、また温水効果によるストレス解消や水圧による効果的な筋力トレーニングにもつながっています。平成 30 年度から (公財) 大田区スポーツ協会委託事業となりました。

#### 【2年度計画】

(実績記載) 4月～6月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- ・回数：12回
- ・定員：50人



#### 【元年度実績】

- ・開催日：前期6回、後期6回
- ・場所：平和島公園プール
- ・参加人数：登録者数56人、延べ497人
- ・成果：障がい者がスポーツに参加できる場をつくることで、障がい者同士の交流を促進しました。さらに、個々の障がいの特性に沿ったマンツーマンの指導を実施するため、障がい者指導者養成講習会による指導者の資質の向上を図り、参加者の身体状況やニーズに応じて、楽しく取り組めるプログラムを提案し、障がい者のスポーツ実施の機会につながりました。

### 4 成人スポーツ教室 ((公財) 大田区スポーツ協会委託事業)

2年度予算額 2,019 千円 (元年度予算額 2,234 千円)

初心者にはスポーツに親しむ機会を提供するとともに基礎的・技術的な指導を行い、生涯スポーツへの動機づけを図ります。また、幅広い世代の方が一堂に会し、スポーツを通して地域交流の輪を広げるきっかけづくりの場とします。

#### 【2年度計画】

(実績記載) 4月～6月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- ・種目：8種目、10教室
- ・定員：各30～80人(教室により異なります。)



### 【元年度実績】

- ・種 目：7種目、9教室  
水泳、卓球、弓道、ミニテニス、ソフトテニス、  
テニス、グラウンド・ゴルフ
- ・参加人数：登録者数 359 人、延べ 1,966 人
- ・成 果：新しいスポーツを始めてみたいという方に、基礎レベルから指導することにより、初心者が参加しやすい教室として、スポーツのきっかけづくりの場となりました。また、15歳～60歳以上までの幅広い参加者のスポーツを通じた交流を促進しました。

## 5 地域スポーツクラブ

2年度予算額 1,092 千円 （元年度予算額 1,092 千円）

### （1）「総合型地域スポーツクラブ」創設・運営支援

「地域スポーツクラブ」とは「だれでも、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しむことができ、地域の日常的なスポーツの活動の場として、子どもから大人まですべての人が参加でき、地域住民自らが主体となって運営するスポーツクラブ」です。

「おおた未来プラン 10 年(後期)」及び「大田区スポーツ推進計画(改定版)」にて、その支援を定めています。

令和元年度にはレスポ大森クラブが新たに設立されました。

総合型地域スポーツクラブ	
1	NPO法人地域総合スポーツ倶楽部ピボットフット
2	(一社) 田園調布グリーンコミュニティ
3	NPO法人大田ウェルネスクラブ
4	NPO法人スマイルかまた
5	NPO法人ベアーズ
6	NPO法人大森コラボレーション 総合型地域スポーツクラブ ソシオ大森
7	(一社) 大森フットボールクラブ
8	レスポ大森クラブ



### （2）地域スポーツクラブ指導者養成講習会

地域スポーツクラブの運営や活動について学び、情報を共有する場となっています。指導者の実技向上のほか、クラブの経営充実に向けた広報戦略やマーケティング等の講習会を行っています。

#### 【2年度計画】

- ・回 数：1講座1回 受講予定者数約 20 人

#### 【元年度実績】

※新型コロナ感染拡大防止のため中止

### (3) 地域スポーツクラブ指導者出張事業【新規】

スポーツ実施率の低い 20～40 歳代のビジネスパーソン及び子育て世代が集まる企業や児童館に総合型地域スポーツクラブの指導者を派遣し、様々なスポーツプログラムを実施することで、スポーツ実施率の向上と事業を通じた総合型地域スポーツクラブの育成を図ります。



#### 【2年度計画】

- ・回数：区内の企業及び児童館等で延べ 60 回程度実施予定

#### 【元年度実績】

- ・回数：区内 6 か所計 56 回実施
- ・種目：ヨガ、親子体操、脳トレ他
- ・参加人数：延べ 1,133 人
- ・成果：企業や児童館で、スポーツ実施率の低い層である、ビジネスパーソン及び子育て世代向けに、総合型地域スポーツクラブの指導者を派遣して、運動する機会を定期的に提供し、スポーツ実施率の向上を図りました。

地域スポーツクラブが、実践的で、質の高いプログラムを、対象のニーズに合わせて提供することで、参加者は継続的にスポーツに取り組むことができると好評でした。特に、乳児と母親が一緒に行う産後ヨガは、人気が高く、リピーターも多かったことから、新たなニーズの発掘につながりました。さらに、参加者と地域スポーツクラブのスタッフが毎回顔を合わせることで、クラブの認知度向上に寄与しました。

## 6 スポーツ奨励事業

2年度予算額 3,494 千円 （元年度予算額 3,494 千円）

スポーツ意識の高揚及びスポーツ振興を図るため、スポーツ競技で全国大会等に出場する個人または団体に対して、大田区スポーツ全国大会等出場奨励金を交付しています。全国大会に出場する区内在住または在学の高校生以下の方、または、国際大会に出場する区内在住、在勤、在学の方が対象となります。

#### 【2年度計画】

- ・交付者数：300 人

#### 【元年度実績】

- ・交付者数：208 人

## 7 寿ハイキング

2年度予算額 228 千円 （元年度予算額 228 千円）

区内在住の 60 歳以上の方を対象としたスポーツ事業を開催しています。参加者にレクリエーションの機会を提供することで、体力の保持増進と健康に対する意識の高揚を図るとともに、参加者相互のふれあいと交流の場の役割を果たしています。

### 【2年度計画】

- ・回数：年1回
- ・定員：未定

### 【元年度実績】

- ・神奈川県小田原市 石垣山・一夜城ハイキングコース
- ・開催日：令和元年11月23日（土・祝）
- ・参加者数：19人（平成30年度から公共交通機関を利用）
- ・成果：当日は雨天で参加者が減りましたが、高齢者に人気のハイキングを実施し、高齢者同士の交流及び健康増進の場となりました。また、参加者が安心してハイキングに親しめるよう、事前講習会を開き、ハイキングの注意点・ポイントについて説明し、体力に合わせたグループ編成を行い、コースマップを配布することで安全な開催につなげました。



## 8 ラジオ体操指導者講習会 （（公財）大田区スポーツ協会委託事業）

2年度予算額 195 千円 （元年度予算額 194 千円）

ラジオ体操を広く普及させ、区民の健康増進を図るために、区内在住・在勤・在学の16歳以上の方を対象に指導方法を講習し、地域指導者を養成します。また、区民が指導者となり地域の方を指導することで、区民の交流を促進します。

### 【2年度計画】

（実績記載）新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- ・定員：150人

### 【元年度実績】

- ・開催日：令和元年7月11日（木）、12日（金）の2日間
- ・場所：大森スポーツセンター
- ・参加者数：234人
- ・成果：夏休期間の各地で実施するラジオ体操に向けた技術の再確認の場であり、幅広い年齢層の区民が手軽に親しむことができるラジオ体操の指導者を養成し、地域に広めていくことで区民の健康増進に寄与することができました。



## 9 スポーツ指導者養成講習会（障がい者水泳指導者養成講習会）（（公財）大田区スポーツ協会委託事業）

2年度予算額 251 千円（元年度予算額 260 千円）

障がい者スポーツの理解と普及を目的に、障がい者水泳の意義と指導方法について講習し、指導者の育成を図ります。平成30年度から（公財）大田区スポーツ協会委託事業となりました。

### 【2年度計画】

- ・講習期間：4日間
- ・定員：20人

### 【元年度実績】

- ・講習期間：4日間
- ・参加者数：12人
- ・成果：障がい者が水泳を楽しめるように、指導者を養成することで、安全で効果的な障がい者水泳教室の運営につなげることができました。障がい者のスポーツには多くの指導者が必要となりますが、指導員の増加につなげることができました。



## 10 区民スポーツ大会（（公財）大田区スポーツ協会委託事業）

2年度予算額 17,470 千円（元年度予算額 17,584 千円）

区内在住・在勤・在学の方を対象に、各種スポーツ団体の協力のもとで実施するスポーツ大会です。本大会は、区民の日頃の練習成果の発表の場であり、広く区民の間にスポーツ活動への参加意欲を高める目的で実施しています。また、選手同士の交流を図り、区民が健康で豊かな生活を実現する一助となっています。

### 【2年度計画】

（実績記載）4月～6月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- ア 春・夏季大会：39種目
- イ 秋・冬季大会：44種目

### 【元年度実績】

- ア 春・夏季大会
  - ・種目数：40種目
  - ・参加者等：計 31,140 人  
(参加者 28,915 人、スタッフ 2,225 人)
- イ 秋・冬季大会
  - ・種目数：43種目（45種目中2種目は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
  - ・参加者等：計 31,224 人（参加者 28,780 人、スタッフ 2,444 人）
  - ・成果：子どもから大人まで多くの区民のスポーツ活動への意識向上を図り、生涯スポーツ社会の実現に貢献することができました。



## 11 都民体育大会等代表派遣 ((公財) 大田区スポーツ協会委託事業)

2年度予算額 3,833 千円 (元年度予算額 3,824 千円)

区民スポーツ大会において優秀な成績をおさめた選手を大田区の代表として都民体育大会等へ派遣することで、選手のスポーツ活動意識を高め、地域スポーツの振興と都内各地区との交流を図ります。

### 【2年度計画】

(実績記載) 新型コロナ感染拡大防止のため中止

- ・派遣者数：540 人

### 【元年度実績】

- ・種目数：33 種目
- ・派遣者数：521 人
- ・成果：男女ともに準優勝となり、男子は4連覇、女子は10連覇を逃してしまいましたが、総合得点は例年と変わらず高水準であり、区民の活動意識をさらに高めるとともに、大田区のスポーツの力を他自治体に示すことができました。



## 12 スポーツ推進委員

2年度予算額 9,965 千円 (元年度予算額 9,706 千円)

スポーツ基本法に基づきスポーツ推進事業の実施に係る連絡調整並びにスポーツの実技指導及びスポーツに関する指導・助言を行うことを任務とする非常勤職員です。

日常、地域においてスポーツに対する区民の理解を深め、区民へのスポーツ推進を図り、大田区の行うスポーツ事業に協力しています。(定員 65 人)

### 【2年度計画】

各地域での委員活動のほか、以下を計画しています。

- ・区の事業への協力 (OTA ウォーキング、おおたスポーツ健康フェスタ、寿ハイキング、区民スポーツ大会総合開会式、区民スポーツまつり、ポッチャ推進事業他)
- ・その他スポーツ事業への協力 (東京マラソン他)

### 【元年度実績】

スポーツ推進委員協議会では毎月会議を開催し、スポーツ事業について検討するほか、委員間の情報共有の場としました。

- ・協力事業

OTA ウォーキング、おおたスポーツ健康フェスタ、寿ハイキング、区民スポーツ大会総合開会式、区民スポーツまつり、障がい者の日のつどい、虹まつり、体力テスト、東京マラソン等



## 13 スポーツ推進審議会

2年度予算額 364 千円 （元年度予算額 364 千円）

スポーツ基本法に基づき設置された区長の付属機関です。スポーツに関する学識経験者及び関係行政機関の職員で構成されています。スポーツの推進に関する計画及び重要事項に関し意見を述べるほか、諮問に応じて調査審議し、区長に建議することを役割としています。

### 【2年度計画】

- ・回数：2回（スポーツ推進計画の実施について）

### 【元年度実績】

「大田区スポーツ推進計画（改定版）」の実現化ための審議

- ・開催日：令和元年12月12日（木）

令和2年2月17日（月）

- ・成果：スポーツや健康に係る課題解決に向けて、スポーツ潜在層へのアプローチなどについて審議し、地域スポーツクラブの指導者出張事業やSPOOTAなどの新規事業につなげられました。

「する」「みる」「ささえる」に加え、第4の目的として、3つを「つなげる」ことの必要性が提案され、新スポーツ健康ゾーン内の施設の活用方法や連携した事業などが検討事項となりました。今後、この意見をもとに、スポーツや健康を目的とした各施設の活用も含め、審議してまいります。



## 14 OTAウォーキング（スポーツ健康都市宣言記念事業）（（公財）大田区スポーツ協会委託事業）

2年度予算額 1,235 千円 （元年度予算額 1,555 千円）

平成24年6月に行った「スポーツ健康都市宣言」を記念した事業として実施しています。

日常生活に直結した、もっとも身近な運動である「歩くこと」を奨励し、スポーツへの興味・関心を高めるとともに、スポーツの継続実施を目指し開催します。平成30年度から（公財）大田区スポーツ協会委託事業となりました。

### 【2年度計画】

- ・回数：2回
- ・定員：各500人程度

#### （1）第14回OTAウォーキング

～春爛漫の多摩川から HANEDA へ～

- ・コース：矢口小学校～多摩川河川敷～ソラムナード羽田緑地

- ・開催日：令和2年4月19日（日）

（実績記載）4月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止



## (2) 第15回 OTA ウォーキング

- ・コース：未定
- ・開催日：未定

### 【元年度実績】

- ・回数：2回

#### (1) 第12回 OTA ウォーキング ～多摩川を初夏の爽やかな風にふかれて…～

- ・コース：西蒲田公園～多摩川沿い～洗足池
- ・開催日：令和元年5月26日（日）
- ・参加者等：計278人（参加者227人、スタッフ51人）

#### (2) 第13回 OTA ウォーキング ～歩いて感じよう新スポーツ健康ゾーンの魅力！～

- ・コース：入新井第一小～大田スタジアム～昭和島二丁目公園～ふるさとの浜辺公園～青少年交流センター「ゆいっつ」
- ・開催日：令和元年11月17日（日）
- ・参加者等：計250人（参加者201人、スタッフ49人）
- ・成果：区の魅力的なコースを歩くことで、区民の、健康増進と継続的なスポーツの実施の促進につなげました。  
また、勝海舟記念館・ゆいっつなどの区内で新たにオープンする施設や新スポーツ健康ゾーンを巡ることで、区民の興味や関心を高め、新たな区の魅力を発見する場になりました。

## 15 区民スポーツまつり（スポーツ健康都市宣言記念事業）（(公財)大田区スポーツ協会委託事業）

2年度予算額9,461千円（元年度予算額9,128千円）

スポーツ基本法において、「体育の日」に国民の間に広くスポーツについての関心と理解を深め、その意欲を高めるような行事を実施するよう努めることが記されています。その趣旨に則り、スポーツ健康都市として、国民に様々なスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会を提供します。なお、令和2年度から「体育の日」は「スポーツの日」に名称が変わります。なお、今年度の「スポーツの日」は、7月24日になります。

子どもから高齢者までが家族ぐるみで参加することにより、世代を超えたふれあいと、健康・体力づくり・生きがいを図るとともに、住民相互の交流を通して地域づくりの契機とします。

会場は、大田区総合体育館・大森スポーツセンター・大田スタジアム・多摩川河川敷等となっており、区内各地で自由参加の各種スポーツイベントを開催します。

### 【2年度計画】

- ・開催日：令和2年10月11日（日）
- ・種目：約70イベント

### 【元年度実績】

- ・開催日：令和元年10月14日（月・体育の日）※雨天開催
- ・イベント数：73 イベント
- ・参加者等：計約16,600人（参加者約14,300人、スタッフ約2,300人）
- ・場所：51会場（内荒天のため8会場中止）  
大田区総合体育館、大森スポーツセンター、大森ふるさとの浜辺公園及び地域会場含む
- ・成果：大田区総合体育館のメインアリーナにおいては元バレーボール女子日本代表の大山加奈氏を招き、講演と体験会を実施しました。体験会には372人の区民が参加し、バレーボールに親しむことができました。  
また、サブアリーナでは東京2020大会の気運醸成を図るため、ホッケーとブラインド伴走の体験会を実施しました。中でもホッケー体験会は、日本代表の選手に会場を盛り上げていただき、区内開催競技であるホッケーの関心を高めることができました。  
なお、前日の台風の影響により、野外の会場については一部で中止となりました。

## 16 おおたスポーツ健康フェスタ（スポーツ健康都市宣言記念事業）

2年度予算額5,527千円（元年度予算額5,527千円）

スポーツ健康都市宣言を記念するとともに、区民にこれを広く周知するため、平成26年から実施しています。スポーツ体験、スポーツ教室や公開演技への参加の機会を提供することで、区民のスポーツ実施率の向上、健康の維持増進を図るとともに、スポーツの楽しさを実感し、スポーツ参加の契機となることを目指しています。令和元年度第6回のフェスタでは、約4千人の来場者があり、「誰でも気軽に」参加できるスポーツイベントとして区民に定着しつつあります。

### 【2年度計画】

- ・開催日：未定
- ・場所：大森スポーツセンター（予定）
- ・内容：スポーツ実施率の低い20～40代（特に女性）がスポーツに親しめるプログラムを実施します。また、子どもから大人まで幅広く楽しめるプログラムや、親子で楽しめるプログラムを実施します。



### 【元年度実績】

- ・開催日：令和元年7月6日（土）
- ・参加者等：計4,050人（参加者3,879人、スタッフ171人）
- ・場所：大田区総合体育館
- ・成果：「ココロとカラダの健康フェスタ！体育館が1日限定の公園に！」というテーマでカリスマトレーナーAYA氏によるボディメイキングや暗闇エクササイズ、ピラティスの他に、子どもから大人まで楽しめるボッチャやスラックライン、親子で楽しめるスポーツプログラムを実施しました。従来の「運動」に加え、「美容・健康」の要素をプログラムに取り込んだ結果、スポーツ実施率の低い20～40代（特に女性）の来場者が多く、ターゲット層のスポーツ実施率の向上につながる事業となりました。

## 17 新スポーツ健康ゾーン活性化事業

2年度予算額2,268千円（元年度予算額1,988千円）

大田区総合体育館、大森スポーツセンターから臨海部にかけて、スポーツ施設や公園が集積するエリアを「新スポーツ健康ゾーン」としています。区民がスポーツに親しみ、体力・健康づくり、家族や仲間との交流を図ることができる等、「スポーツ健康都市おおた」を象徴するエリアとして活性化を図ります。

大森ふるさとの浜辺公園は、公設では、都内唯一の常設ビーチバレー場を有しており、今年度もビーチテニスなどのスポーツ教室を実施するほか、ビーチバレー場を無料開放し、スポーツ体験や認知度の向上を図ります。

### （1）ビーチスポーツ教室・無料開放 DAY

#### 【2年度計画】

#### ア ビーチスポーツ教室

- ・回数：34回
- ・種目：ビーチテニス、ビーチヨガ

#### イ ビーチバレー場無料開放 DAY

- ・回数：24回

#### 【元年度実績】

#### ア ビーチスポーツ教室

- ・ビーチテニス 26回（中止4回）参加者数：延べ390人
- ・ビーチヨガ 6回（中止1回）参加者数：延べ113人
- ・ビーチフラダンス 4回 参加者数：延べ32人



イ ビーチバレー場無料開放 DAY : 24 回 (中止 2 回) 参加者数 : 延べ 851 人

成果 : ビーチテニスは初心者デーを新たに設けたことで、新規参加者が増えました。また、リピーターの方は教室参加後、各自でコートを予約する方向となり、きっかけづくりの事業として効果がありました。

ビーチヨガは男性や外国人の方の参加もあり、参加者からは引き続き取り組んで欲しいとの声を多く得ました。

今年度から新たに実施した無料開放 DAY には、851 人が参加し、ビーチバレー場の認知度向上につながりました。

## (2) 新スポーツ健康ゾーン PR チラシの発行【新規】

新スポーツ健康ゾーン内スポーツ施設の紹介及びスポーツ教室・大会などのイベントを 1 枚のチラシに掲載することで新スポーツ健康ゾーンの魅力を PR し、認知度アップに繋がります。

### 【2 年度計画】

- ・発行部数 4 回 (予定 各 5,000 部)

## 18 スポーツ推進広報事業

2 年度予算額 3,587 千円 (元年度予算額 3,432 千円)

### (1) スポーツ情報紙の発行

スポーツ実施率が低い 20~40 歳代をターゲットに、職場や自宅で気軽にできる体操・ストレッチ等を紹介する情報紙を発行します。スポーツ以外にも食や健康、エンターテイメントなどを絡めた記事を掲載することで、スポーツに馴染みが薄い方々にも手に取ってもらえるよう工夫します。

### 【2 年度計画】

- ・発行部数 4 回 各 5,000 部

※新聞折り込みチラシ配信アプリ「shufoo!」を利用し、情報紙を発信する。

### 【元年度実績】

- ・発行部数 4 回 各 5,000 部

- ・成 果 : 事業開始 2 年目ですが、徐々に認知度が上がり、区民の方より次号を待ち望む声や区内の民間企業より、店頭で来客者へ配布したいとの問い合わせもいただきました。

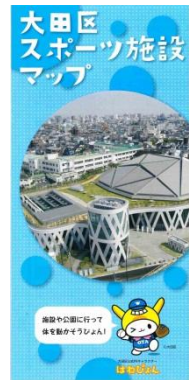
また、新型コロナによる自粛生活において、自宅でできる簡易ストレッチなどを紹介している本紙が各分野で注目され、反響がありました。さらなる認知度向上とともに、手に取ってもらい、動画を参考に実践してもらえる情報紙を目指してまいります。



## (2) スポーツ施設マップの増刷

平成 31 年 3 月に作成した「大田区スポーツ施設マップ」を増刷します。  
このマップでは大田区内のスポーツ施設を一覧でまとめており、区民の方が興味のあるスポーツを実施できる施設を手軽に調べることができます。

また、ウォーキングコースや健康遊具のある公園を紹介しており、近隣で体を動かしたい場合にも活用することができます。



### 【2 年度計画】

- ・発行部数 10,000 部

## 19 東京 2020 レガシー事業【新規】

2 年度予算額 9,709 千円

東京 2020 大会の開催に向け、スポーツへの関心が高まり、大会終了後も誰もがスポーツを楽しめる環境を整備し、区民のスポーツ実施率向上につなげていきます。

このレガシーを継続した事業として残していくため、ランニングとボッチャに注力した事業を実施します。

### 【2 年度計画】

#### (1) ランニング環境の整備事業

ランニングは、個人で取り組みやすいスポーツです。新型コロナウイルス感染症対策の観点から、体調管理に留意し、周囲の人と距離を空ける、など自らを感染から守るだけでなく、自らが周囲に感染を拡大させない対応が重要です。そのため、基本的な対応を図り、ランニングに取り組みやすい環境を整えると共に、レガシーとなる大会の開催を検討します。

##### ア ランニングステーション

継続的にランニングに親しめるために、安全な荷物管理や走りやすいコースなどを大森スポーツセンターに整備し、ランニングステーションとします。

##### イ 大田スタジアム・大井ホッケー競技場周辺ランニング等活用調査

東京 2020 大会のホッケー競技が開催される「大井ホッケー競技場」、野球・ソフトボールの公式練習会場となる「大田スタジアム」の周辺を活用した事業を専門機関の調査を踏まえ、検討します。

#### (2) ボッチャ推進事業

東京 2020 大会を契機に、子どもから高齢者まで、誰もが楽しめるスポーツとして、パラリンピックの正式種目である「ボッチャ」競技を、区内に普及し、大会終了後のレガシーへとつなげます。

体力の有無に関わらず、誰もが気軽にできるボッチャの体験会を開催することにより、区民がスポーツに親しむ機会を提供し、スポーツ実施率を高めます。

##### ア 指導者出張型事業

区民がボッチャに触れ合うきっかけづくりとして、区民に身近な特別出張所の会議室等を活用し、指導者を 6 出張所に 4 回程度（予定）派遣し、ボッチャ教室を実施します。

イ ボッチャ競技大会の開催

2年度中に、大田区全域を対象に、区民の交流を図り、ボッチャ競技を盛り上げるためボッチャ競技大会を開催します。予定する6特別出張所を含め、多くの区民が参加できる大会とします。

**20 大田スタジアム ((公財) 大田区スポーツ協会の管理運営)**

2年度予算額 155,526 千円 (元年度予算額 184,087 千円)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月11日から5月31日まで使用停止

平成7年7月に開設し、様々な世代の野球の試合や大会に利用されるなど区民の余暇活動の充実及び健康増進に寄与してきました。

老朽化施設の機能更新、バリアフリー・ユニバーサルデザイン化の推進、さらに多目的利用の拡大を目的に改修が行われ、令和元年7月1日にリニューアルオープンいたしました。

**【指定管理者】**

公益財団法人大田スポーツ協会グループ (平成31年4月～)

**【施設概要】**

- ・所在地：東海一丁目2番10号
- ・電話：03-3799-5820
- ・建物：①構造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
- ②階数 地下1階、地上3階
- ③敷地面積 約24,525.92㎡
- ・交通：京急バス 大田スタジアム下車 徒歩1分
- 東京モノレール 流通センター駅
- または大井競馬場駅下車 約徒歩15分
- ・利用：7:00～21:00
- ・休館：12月29日～1月3日、臨時休館日



**【元年度実績】**

- ・施設利用状況

野球場	平日			土・日・休			合計		
	貸出枠	利用枠	利用率 (%)	貸出枠	利用枠	利用率 (%)	貸出枠	利用枠	利用率 (%)
早朝 7～9時	290	136	46.9	138	130	94.2	428	266	62.1

野球場	平日			土・日・休			合計		
	貸出枠	利用枠	利用率 (%)	貸出枠	利用枠	利用率 (%)	貸出枠	利用枠	利用率 (%)
日中 9～17時	1,136	982	86.4	576	572	99.3	1,712	1,554	90.8

野球場	平日			土・日・休			合計		
	貸出枠	利用枠	利用率 (%)	貸出枠	利用枠	利用率 (%)	貸出枠	利用枠	利用率 (%)
ナイター 17～21時	572	496	86.7	282	268	95.0	854	764	89.5

### (1) 大田スタジアムフェス

- ・開催日：令和元年6月29日（土）
- ・参加者数：4,600人
- ・成果：ステージエリア・スポーツエリア・アウトドアエリア・フードエリアに分け、誰もがまる一日楽しめるフェス型イベントを開催し、多くの参加者にリニューアルした大田スタジアムの魅力を発信することができました。



### (2) 野球 DAY

- ・開催日：令和元年6月30日（日）
- ・参加者数：2,000人
- ・成果：午前中は東都大学野球連盟協力の下、区内の子供たちを対象とした野球教室を実施しました。また、午後からは東都大学野球オールスターと大田区に拠点を置く東京ガス硬式野球部による記念試合を行い、「するスポーツ」と「みるスポーツ」の推進に寄与することができました。

## 21 大森スポーツセンター ((公財) 大田区スポーツ協会の管理運営)

2年度予算額 314,020 千円 (元年度予算 331,053 千円)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月11日から5月31日まで使用停止

区民の体育・スポーツ及びレクリエーションの普及振興を図り、区民心身の健全な発達に寄与することを目的に平成9年4月1日に開設しました。

アリーナは各種室内競技そのほか、トレーニングルーム、健康体育室、小ホール、ミーティングルームや100台収容可能な地下駐車場（有料）などの施設があります。トレーニングルームでは、トレーニングマシンの利用ができるほかトレーニング教室も開催しています。

#### 【指定管理者】

公益財団法人大田区スポーツ協会グループ（平成31年4月～）

#### 【施設概要】

- ・所在地：大森本町二丁目2番5号
- ・電話：03-5763-1311
- ・建物：①構造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造  
②階数 地上2階、地下2階  
③延床面積 約6,393㎡（駐車場を除く）



- ・交通：京浜急行本線 平和島駅下車 徒歩約6分
- ・利用：9：00～22：00
- ・休館：12月29日～1月3日、臨時休館日

【施設内容】

- ・2階スタンド 376席
- ・アリーナ 1,620㎡
- ・トレーニングルーム 375㎡
- ・健康体育室B 225㎡
- ・健康体育室C 150㎡
- ・ミーティングルームA 25㎡
- ・ミーティングルームB 20㎡
- ・小ホール 180㎡
- ・駐車場 100台



【元年度実績】

- ・施設利用状況

施設	項目	利用可能コマ数 (回)	利用コマ数 (回)	利用率 (%)	利用者数 (人)
アリーナ		846	798	94.3	99,039
トレーニングルーム (注1)		299	299	100.0	74,008
健康体育室B		997	958	96.1	20,202
健康体育室C		997	941	94.4	13,494
ミーティングルームA		997	234	23.5	1,656
ミーティングルームB		997	202	20.3	1,189
小ホール		997	324	32.5	10,579
合計		5,831	3,457	59.3	220,167

(注1) 教室参加者数含む。 他施設のトレーニングルーム利用券枚数 188枚

- ・アリーナ利用状況 スポーツ種目別利用状況

種目	アリーナ		健康体育室B		健康体育室C	
	利用回数 (回)	利用割合 (%)	利用回数 (回)	利用割合 (%)	利用回数 (回)	利用割合 (%)
バレーボール	84	10.61	—	—	—	—
バスケットボール	183	23.11	—	—	—	—
バドミントン	67	8.46	—	—	—	—
卓球	181	22.85	689	74.57	280	31.08
テニス	141	17.80	—	—	—	—
ハンドボール	7	0.88	—	—	—	—
ダンス、舞踊	5	0.63	44	4.76	54	5.99
武道	18	2.27	86	9.31	109	21.75

種目	施設	アリーナ		健康体育室B		健康体育室C	
		利用回数 (回)	利用割合 (%)	利用回数 (回)	利用割合 (%)	利用回数 (回)	利用割合 (%)
体操		22	2.78	58	6.28	109	12.10
バトン、カラーガード		39	4.92	0	0.00	0	0.00
その他のスポーツ		45	5.68	47	5.09	262	29.08
合 計		792	—	924	—	901	—

・スポーツ・その他(スポーツ以外)の割合

種目	施設	アリーナ		健康体育室B		健康体育室C	
		利用回数 (回)	利用割合 (%)	利用回数 (回)	利用割合 (%)	利用回数 (回)	利用割合 (%)
スポーツ		792回	99.1%	924回	97.1%	901回	95.9%
その他		7回	0.9%	28回	2.9%	39回	4.1%
合 計		799回	—	952回	—	940回	—

・成 果

スポーツで使われる「アリーナ」「健康体育室」は、90%以上の利用率というように身近な区民のスポーツ活動の拠点として、区民の健康増進に貢献しました。また、令和元年度はアリーナを無料で9回開放して卓球やバドミントンの備品を貸し出し、664人の来場者に気軽にスポーツに親しんでもらうことができました。

## 22 大田区総合体育館

2年度予算額 187,269千円 (元年度予算額 212,284千円)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月11日から5月31日まで使用停止

旧大田区体育館を改築し、平成24年6月30日に開館しました。

メインアリーナ(48m×38m)は、固定席と可動席を加えた約4,000席の観客席を有しています。区民が各種スポーツを楽しむことができるとともに各競技のトップレベルのプレーを観戦することもできる施設です。大田区総合体育館は、「するスポーツ」と「みるスポーツ」をコンセプトに区民の生涯スポーツの活動拠点となることを目指しています。また、「ささえるスポーツ」の場としての充実も図っています。

そのほか、サブアリーナ(34m×19m)、体育室1・2、弓道場、会議室等の施設があります。地下2階には、62台収容可能な駐車場(有料)があります。

### 【指定管理者】

住友不動産エスフォルタ・NTTファシリティーズグループ  
(令和2年4月1日～)

### 【施設概要】

- ・開設日：平成24年6月30日
- ・所在地：東蒲田一丁目11番1号
- ・電 話：03-5480-6688



- ・規 模：敷地面積 9,236 m<sup>2</sup>  
           建築面積 5,826 m<sup>2</sup>  
           延床面積 14,478 m<sup>2</sup>  
           鉄骨鉄筋コンクリート造  
           一部鉄筋コンクリート造鉄骨造  
           地下2階 地上2階建
- ・交 通：京浜急行本線梅屋敷駅下車 徒歩5分  
           京浜急行本線京急蒲田駅下車 徒歩7分
- ・利 用：9：00～21：00
- ・休 館：不定期



### 【元年度実績】

#### (1) 施設別利用状況

施設 \ 項目	利用可能コマ数 (回)	利用コマ数 (回)	利用率 (%)	利用者数 (人)
メインアリーナ	2,248	1,869	83.1	191,940
サブアリーナ	1,144	970	84.8	9,647
体育室1	1,204	961	79.8	13,930
体育室2	1,204	950	78.9	12,549
控室1	1,124	497	44.2	—
控室2	1,124	486	43.2	—
会議室	1,140	896	78.6	4,132
弓道場	917	898	97.9	10,641
合 計	10,105	7,527	—	242,839

#### (2) スポーツ種目別利用状況 (メインアリーナ・サブアリーナ)

種 目	利用コマ数(回)	種目別利用割合(%)
バレーボール	400	14.1
バスケットボール	759	26.7
フットサル・サッカー	236	8.3
バドミントン	15	0.5
卓球	96	3.4
テニス	294	10.4
その他のスポーツ	1,039	36.6
合 計	2,839	100.0

### (3) スポーツ・集会等の割合

利用種別	利用コマ数(回)	利用割合(%)
スポーツ	7,076	94.1
集会等	447	5.9
合計	7,523	100.0

### (4) 元年度の主な大会等開催実績

日程	内容
4月13日、14日	スズキワールドカップ2019 第30回エアロビック世界大会
4月17日	平成三十一年春巡業 大相撲 羽田国際場所
10月4日、5日	WJBL2019-2020 シーズン 第21回Wリーグ開幕戦
10月20日	第39回しょうがい者の日のつどい
11月23日、24日	Vリーグ2019-2020 サントリーサンバーズホームゲーム
12月31日	LIFE TIME BOXING FIGHT 3 世界3大タイトルマッチ

#### ・成果

4月には大相撲巡業「羽田国際場所」が開催され、近隣の特養ホームから多くのご高齢者が招待され、本物の力士たちの姿を間近に見られる機会を創出できました。また各大会や試合の観客を近隣商店街や宿泊施設を利用するよう、パンフレットやホームページで積極的に働きかけ、地域経済の活性化に寄与しました。各都道府県の自治体からの視察も非常に多く、認知度が高まる中で、平日や個人開放DAYを設けるとともに、積極的に屋上を開放することにより、近隣保育園児などの散歩コースとなるなど、区民利用の機会拡大を図りました。

また、4月下旬～6月にかけてメイン・サブアリーナの床全面改修工事を行いました。安全・安心な体育館を今後も維持してまいります。

## 23 東京オリンピック・パラリンピック推進事業

2年度予算額 208,344 千円 (元年度予算額 111,135 千円)

今年度は、これまでの取組の集大成として、ブラジルオリンピック選手団の事前キャンプ受入れやおおたウエルカムボランティアの活動を通じ、区民の国際意識やボランティアマインドを高めることや、ライブサイトや聖火リレーなど、大会ならではの取組を通じ、区民と一体となって大会を盛り上げ、感動を共有し、大会後のスポーツや文化の振興等につなげていく予定でした。また、各イベントの来訪者に区の魅力を伝え、次の来訪につなげていくことを目指し取り組むこととしていました。

大会の延期を受けて、事業の多くを令和3年度に延期することになりますが、今できることを検討し取り組んでまいります。

### (1) 事前キャンプ受入れ事業

平成29年6月にブラジルオリンピック委員会と事前キャンプに関する覚書を締結し、大会開幕の約1か月前から男子バレーボール、ハンドボール、ビーチバレーボールの各チームの事前キャンプを受け入れます。昨年度は、男子バレーボールチーム、女子ハンドボールチームの合宿を受け入れました。

## 【2年度計画】

### ア 3競技の事前キャンプ受入れ ⇒ 延期

3競技の事前キャンプを7月上旬から大会終了前まで受け入れます。またキャンプ期間中には、選手の食事・宿泊の拠点として大田区青少年交流センター「ゆいっつ」を、全選手の受入拠点として大田区総合体育館を活用します。

### イ 合宿時の区民交流 ⇒ 延期

昨年度までの合宿同様、公開練習をはじめとした交流の機会を通じ、区民に大会の素晴らしさを感じてもらおうとともに、国際理解を深めます。

## 【元年度実績】

### ア ブラジル男子バレーボールチームの合宿

- ・期間：令和元年9月26日（木）～9月28日（土）
- ・公開練習（来場者数：約600人）

### イ ブラジル女子ハンドボールチームの合宿

- ・期間：令和元年11月20日（水）～11月28日（木）
- ・歓迎セレモニー・日本文化体験
- ・公開練習（来場者数：約120人）
- ・競技者講習会（参加者数：24人）
- ・選手による区立小学校訪問（大森第五小学校4年生2クラス）
- ・テストイベント「ジャパンカップ」の区民観戦（約300人）

### ウ ブラジルに中学生を派遣し、全国総合学生スポーツ大会に参加（2人）

### エ 区立小・中学校にブラジル料理にちなんだ給食の提供（10校程度）

### オ ホストタウン交流事業（学校や地域でのブラジル文化体験）（14件）



※ホストタウンは国の事業です。

## カ 成果

ブラジルチームの合宿受け入れでは、区側の運営体制やボランティアの活動内容の検証を行うなど、大会本番を想定した貴重な経験となり、次年度に向け多くのノウハウを得ることができました。また、合宿期間中の区民とブラジル選手との交流では、一流のプレーを間近で見ること、競技の迫力や魅力を知ることができ、大会への感心を高めることができました。このほか、サンバ・カポエイラの体験やブラジル大使館の訪問など学校や地域でのブラジル文化体験を通して、ブラジルの魅力を伝えることで区民の国際意識の向上につなげることができました。

## (2) 東京 2020 大会気運醸成事業

区内の主要駅や区施設等で、東京 2020 大会に関する装飾や、区の実績を紹介する動画を放映するなど、大会開催に向けて気運を盛り上げます。大会の祝祭感を演出し、区民や来訪者の期待感を高めまします。区の魅力を伝え、より多くの人に区の実績を知ってもらうことで、大会に関する事業等への参加を促します。

今年度は当面、区民が自宅で、大会関連情報に触れられるように、区ホームページを充実します。困難な状況の中で大会出場を目指す区にゆかりのある選手などの情報や、区民が今、自分に何ができるのか、大会時に何をしたいのか考えるヒントになるような情報を発信します。年度後半は、新型コロナの影響を踏まえながら、まちの装飾の実施時期や、イベントの事業実施について検討してまいります。

### 【2年度計画】

#### ア 東京 2020 大会に向けたまちの装飾

区内開催競技のホッケー、事前キャンプを受入れるブラジル、区にゆかりのある選手等を紹介する装飾を行うことで、大会への祝祭感を演出するとともに、シティプロモーションとして区の実績をPRします。

#### イ 気運醸成のためのプロモーション

大会に向けた区の実績を紹介する動画を制作して放映する等、区民や来訪者に東京 2020 大会への興味・関心を喚起するプロモーションを実施します。区内開催のホッケーや区にゆかりのある選手の応援、事前キャンプを受入れるブラジルとの国際交流やボランティアの参加など、より多くの区民が大会に積極的に関わられるよう促します。

### 【元年度実績】

#### ア イベントや展示等による気運醸成事業

- ・大会 1 年前イベント 「おおたアクションデー夏 for 2020」(令和元年 8 月 4 日(日)開催)

より多くの人に大会に関心をもってもらうために、通行量の多い JR 蒲田駅前で実施しました。約 12,000 人に来場いただき、大田区の実績をPRしました。また、大蒲田祭と同日開催することで、蒲田東西の商店街、大田区観光情報センター等とも連携し、お客様の区内回遊を促しました。



- ・大会 200 日前イベント 「国際都市おおた 和太鼓フェスティバル」(令和 2 年 2 月 1 日(土)開催)

大田区の文化プログラムのひとつとして、大田区太鼓連盟と連携して実施しました。大田区民踊連盟の皆さんにも「東京五輪音頭・2020-」の踊りを披露いただき、会場を盛り上げました。また、パネル展示などを通じて、コンサートに来場された約 800 人に大田区の実績をPRしました。

- ・「おおた活動新聞」の発行(年 2 回、12 月、3 月 区内小中学生(約 40,000 人)対象)

区内小中学校で実施しているオリンピック・パラリンピックへの理解促進や競技体験、国際交流などの取組を中心にまとめた、「おおた活動新聞」を発行しました。

- ・出張所等でのオリンピック・パラリンピック関連展示 9 件

- ・区大規模イベント内実施（ホッケー及びパラリンピック競技体験会等） 4件（下記参照）
- ・ホストタウン交流事業（学校や地域でのブラジル文化体験） 14件（下記参照）

	実施日	イベント名	参加人数
1	7月6日（土）	おおたスポーツ健康フェスタ（ボッチャ）	50人
2	8月4日（日）	大会1年前イベント 「おおたアクションデー夏 for 2020」	12,000人
3	9月18日（水）	ホストタウン交流事業（オリンピック講演）	196人
4	9月20日（金）	ホストタウン交流事業（大使館訪問）	21人
5	9月28日（土）	国際都市おおたフェスティバル in 「空の日」 羽田 アスリートトークショー	200人
6	10月14日（月）	大田区区民スポーツまつり（ホッケー、ブラインド伴走）	167人
7	10月15日（火）	ホストタウン交流事業（カポエイラ体験、ポルトガル語講座）	100人
8	10月27日（日）	ホストタウン交流事業（サンバ）	500人
9	11月2日（土） 3日（日・祝）	OTA ふれあいフェスタ （ホッケー、義足体験、トークショー）	2,500人
10	11月8日（金）	ホストタウン交流事業（ポルトガル語講座）	170人
11	11月14日（木）	ホストタウン交流事業（ブラジル音楽）	584人
12	11月15日（金）	ホストタウン交流事業（カポエイラ体験）	427人
13	11月15日（金）	ホストタウン交流事業（大使館訪問）	46人
14	11月24日（日）	ホストタウン交流事業（フットメザ体験）	30人
15	1月30日（木）	ホストタウン交流事業（カポエイラ体験）	36人
16	2月1日（土）	大会200日前イベント 「国際都市おおた 和太鼓フェスティバル」	800人
17	2月8日（土）	ホストタウン交流事業（ブラジル音楽）	595人
18	2月12日（水）	ホストタウン交流事業（大使館訪問）	58人
19	2月24日（月・祝）	ホストタウン交流事業（ブラジル音楽）※中止	—
20	3月6日（金）	ホストタウン交流事業（大使館訪問）※中止	—



・大会1年前イベントでは、浜口京子さん（レスリングのオリンピックメダリスト）によるトークショーに加え、地域の子どもたちのパフォーマンスによる「大田区らしさ」の演出や来場者参加型のクイズなど、充実したプログラムにより、幅広い層の方々に来場いただき、大会の魅力と区の取組を伝えることができました。また、当日アンケートによると、約40%の方が「たまたま通りかかってイベントを知った」、約93%が「大会への関心が高まった」と回答しており、本イベントの目的である「大会への関心が薄い層へのアプローチ」を行うことができました。その他、様々なイベントと連携した事業や出張所・学校での展示、全区立小中学校への「おおた活動新聞」配布等を通じ、区の取組をPRすることができました。

#### イ トップアスリート等派遣事業

区内の小・中学生等に、オリンピックやパラリンピックの出場選手等と直接触れ合うことで、アスリートの目標達成に向けたひたむきな姿勢や競技の魅力を感じてもらい、大会への興味・関心を高めることができました。

##### ・令和元年度トップアスリート等派遣事業実績一覧

	実施日	事業名	派遣 アスリート	競技	参加 人数
1	9月28日(土)	国際都市おおたフェスティバル in「空の日」羽田	谷本歩実(2004年アテネ大会金メダル、2008年北京大会金メダル)	柔道	200人
2	9月29日(日)	糺谷地区連合会運動会	高田千明(2016年リオ大会8位入賞) 高田裕士(デフリンピック3大会連続出場)	陸上 (パラリンピック) 陸上 (デフリンピック)	70人
3	10月20日(日)	第3回ふる浜まつり	小林久枝	陸上 (パラリンピック)	22人
4	11月3日(日・祝)	OTAふれあいフェスタ	レメキ・ロマノ・ラヴァ(RWC日本代表、2016年リオ大会出場) 三阪洋行(2004年アテネ大会から3大会連続出場)	ラグビー ウィルチェアラグビー	1,800人
5	11月3日(日・祝)	さぼーとぴあスペシャルデー	廣道純(2000年シドニー大会銀メダル、2004年アテネ大会銅メダル)	陸上 (パラリンピック)	50人
	年間	総合型地域スポーツクラブへの派遣 (20件実施)	谷真一郎、渡辺高博(1992年バルセロナ大会出場)、加藤健人等	サッカー、陸上 ブラインドサッカー 等	2,600人
	年間	小・中学校への派遣実施 (13回実施)	高平慎士(2004年アテネ大会から3大会連続出場、2008年北京大会4×100m銅メダル)、鈴木隆行、森田智己等	陸上、サッカー、 競泳 等	6,825人



#### ウ まちの装飾や動画による気運醸成事業

- ・区役所本庁舎及びグランデュオ蒲田東西連絡口における装飾物の制作  
(新型コロナウイルス感染拡大により装飾は中止)
- ・ホッケー応援動画、及び区ゆかりアスリート応援動画の制作、放映  
(区役所本庁舎、イトーヨーカドー大森店大型ビジョン、東急蒲田駅前サイネージにて放映)
- ・ホッケー及び区ゆかりアスリートの応援動画は、区ホームページからのアクセス数が公開後2か月で約1,000件となるなど、区民の関心を高めるコンテンツとして効果を生んでいます。

### (3) 東京 2020 大会開催時関連事業

キックオフイベントやコミュニティライブサイト、聖火リレー併催イベントなど様々な取組を行うことで、区民と一体となって大会を盛り上げ、感動を共有し、大会後のスポーツや文化の振興等にもつなげていきます。また、区民のおもてなしを通じて、来訪者に区の魅力を伝え、次の来訪につなげます。



今年度は、来年度に向けた準備に取り組みます。

#### 【2年度計画】

#### ア コミュニティライブサイト及び関連イベント事業 ⇒ **延期**

大会期間中に、大田区総合体育館やHICityを会場としたコミュニティライブサイト\*を行います。競技放映やステージイベント等を実施することで、観戦チケットを持たない人でも、東京2020大会を楽しめる機会を提供します。区民や来訪者に、スポーツの素晴らしさや地域の魅力を感じてもらい、スポーツや区内の文化資源への関心を高め、大会後のレガシーにつなげていきます。

また、区独自のキックオフイベントをJR蒲田駅前で行い、大会情報を積極的に発信し、より多くの人に大会の魅力を伝えます。

\*コミュニティライブサイト：競技放映の他、ステージプログラムや展示・体験・飲食ブースなどを含めた自治体が行うイベント

#### イ 聖火リレー関連事業 ⇒ **延期**

聖火リレー走行時(7月22日)にミニセレブレーション及び区独自イベントを実施します。聖火ランナーが大田区を走る感動を区民とともに共有し、地域から大会を盛り上げます。

また、万全の態勢で聖火リレーを行うため、大会組織委員会等との役割分担をもとに、交通規制の周知や沿道規制を補助するボランティアの運営などを行います。

#### ウ 文化プログラム事業 ⇒ **延期**

大会直前期に、区独自の文化プログラムとして、読売交響楽団によるパラリンピック応援コンサートを実施し、障がいのある方が音楽を楽しむ機会を提供し、共生社会の実現に向けた、区民理解の促進を図ります。また、大会期間中に各文化施設で特別企画展等が行われ、その情報をコミュニティライブサイト会場や区内鉄道駅で来訪者にPRし、区の魅力的な文化や芸術に触れる機会を提供します。

#### (4) おおたウエルカムボランティア事業

国内外から来訪する観戦客やブラジル選手団を区民とともに「おもてなし」するため、区独自に行うボランティア事業です。東京 2020 大会期間中に来訪者を案内する観光ボランティア、事前キャンプを支えるスポーツボランティア、語学力を活かし、観光・スポーツ分野を支える国際交流ボランティアが活動します。

今年度は、オリンピック・パラリンピックに関する直接的な活動の機会がなくなりました。来年度に向けてボランティアのモチベーションを維持するため、メールでの情報発信や在宅でできること、新たな活動の機会などを検討し取り組んでまいります。

##### 【2年度計画】

ア ボランティア活動 ⇒ 延期

時期	分野	活動内容
7月～9月上旬	スポーツ 国際交流	・ブラジル事前キャンプサポート等
8月～9月上旬 大会期間中	観光 国際交流	・区関連イベントや区内主要駅での案内等

##### 【元年度実績】

ア ボランティア募集

(ア) ボランティア第二次募集

- ・期間：令和元年8月9日（金）～9月27日（金）
- ・各分野のボランティア数：観光分野 48人、スポーツ分野 47人、国際交流分野 52人  
（令和2年3月末時点）

(イ) 高校生ボランティア募集

- ・期間：令和元年8月9日（金）～令和2年4月28日（火）
- ・ボランティア数：44人  
（令和2年4月24日時点）

イ 研修

(ア) 分野別研修（全3回のうち1回参加）

分野	実施日	参加人数
観光・国際交流（観光）	6月28日（金）、29日（土）、7月7日（日）	111人
スポーツ・国際交流 （スポーツ）	8月23日（金）、24日（土）、31日（土）	162人

(イ) 第二次募集分野別研修（全2回のうち1回参加）

分野	実施日	参加人数
観光・国際交流（観光）	1月18日（土）、2月9日（日）	38人
スポーツ・国際交流 （スポーツ）	2月7日（金）、8日（土）	96人

## (ウ) アフター研修 (全3回～4回のうち1回参加)

分野	実施日	参加人数
観光・国際交流 (観光)	2月7日 (金)、8日 (土) 2月22日 (土) → 中止	81人
スポーツ・国際交流 (スポーツ)	2月7日 (金)、8日 (土) 3月1日 (日)、3日 (火) → 中止	76人

## ウ 試験的活動

実施日	分野	場所	内容
7月27日 (土)、 8月3日 (土)、 4日 (日)	観光・ 国際交流 (観光)	京急蒲田駅	特設ブースで観光案内
8月4日 (日)	観光・ 国際交流 (観光)	JR 蒲田駅	大蒲田まつり&1年前イベントで観光案内
10月17日 (木)～ 20日 (日)	観光・ 国際交流 (観光)	JR 蒲田駅	特設ブースで観光案内
10月19日 (土)、 20日 (日)	観光・ 国際交流 (観光)	大田産業プラザPi0	おおた商い観光展でオリパラ紹介
9月26日 (木)	スポーツ・ 国際交流 (スポーツ)	大田区総合体育館	バレーボールチームの練習補助
9月26日 (木)～ 28日 (土)	スポーツ 国際交流 (スポーツ)	池上会館	バレーボールチームの食事補助
10月6日 (日)	スポーツ・ 国際交流 (スポーツ)	大井ホッケー競技場	ホッケー教室の運営補助
11月18日 (月)、 21日 (木)～23日 (土)、26日(火) ～29 (金)	スポーツ・ 国際交流 (スポーツ)	大森スポーツセンター	ハンドボールチームの練習補助
11月19日 (火)～ 24日(日)、26日 (火)～28日 (木)	スポーツ・ 国際交流 (スポーツ)	大田区青少年交流センター	ハンドボールチームの食事補助 歓迎式典の運営補助
11月21日 (木)～ 24日 (日)	スポーツ・ 国際交流 (スポーツ)	代々木第一体育館	テストイベントの受付対応
11月22日 (金)	スポーツ・ 国際交流 (スポーツ)	大森第五小学校	通訳、運営補助

## エ 成果

各研修では、参加者が意欲的に取り組み、ボランティア活動に必要なおもてなしの心構えを習得し、区独自の活動内容について理解を深めてもらうことができました。また、ブラジルオリンピックチームの合宿や駅での観光案内など、大会本番を想定した実践的な活動によって、必要なノウハウを養い、知見を深めることができました。

## 6 参考資料:各課の事業開始年度一覧

### (1) 観光課

事業名	開始年度	事業実施根拠・備考
おおた商い観光展	平成20年	(一社) 大田観光協会への補助事業
観光情報の提供	平成20年	平成25年度から (一社) 大田観光協会への支援へ名称変更
おおたの観光魅力創出事業	平成20年	平成25年度から (一社) 大田観光協会への支援へ名称変更
(一社) 大田観光協会への支援	平成20年	【大田観光協会に対する補助金交付に関する要綱】 平成25年度から名称変更(「おおたの魅力創出事業」、「観光情報の提供」を統合)
品川・大田広域観光まちづくりの支援	平成20年	品川・大田地域観光まちづくり推進協議会事業に対する補助金交付に関する要綱 平成28年度で終了
観光案内サインの整備	平成21年	平成21年度にて整備計画を策定。22年度からサインを設置
大田区観光大使	平成21年	平成27年度から「国際都市おおた大使」として国際都市・多文化共生推進課に移管
観光紹介用パンフレットの作成	平成21年	
観光・産業情報コーナーの運営	平成21年	財団事業「情報コーナーの運営」(平成8年～)から移行 平成26年度から産業振興課に移管
羽田空港国際線旅客ターミナル大田区観光情報コーナーの運営	平成22年	国際線ターミナル
観光まちづくり助成金	平成23年	観光振興に取り組む区民活動団体に対する助成、平成24年度で終了
訪日外国人旅行者受入環境整備事業	平成23年	
大田区まちかど観光案内所事業	平成23年	
六郷用水せせらぎウォーキング	平成23年	六郷用水400周年、六郷水門80周年 平成23年度限り
羽田空港国際化1周年事業「いらっしやいOTA」	平成23年	平成23年度限り
梅ちゃん先生観光PR事業	平成23年	平成24年度で終了
観光展示会出展事業	平成23年	平成25年度からインバウンド誘致事業へ統合
海外等へ向けての観光情報の提供	平成23年	
大田区観光推進協議会の運営	平成24年	【大田区観光推進連絡協議会に対する補助金交付要綱】
大田区観光PR特使	平成24年	【大田区観光PR特使設置要綱】
観光まちづくり推進支援事業	平成25年	事業者や団体による観光まちづくりに関する取り組みに対する助成、平成26年度で終了
大田区産業観光促進事業	平成25年	【大田区産業観光資源整備補助金交付要綱】 平成29年度から、大田の観光にぎわい創出事業補助金に統合
インバウンド誘致事業	平成25年	
MICE誘致事業	平成25年	
映画・ドラマを活かした観光PR事業	平成25年	
京急線品川駅構内大田区観光情報コーナーの運営	平成25年	平成29年度で終了
観光マーケティング調査	平成26年	平成29年度 第2回目実施
川崎市連携事業	平成26年	【大田区と川崎市との産業連携に関する基本協定】 【大田区・川崎市観光まちづくり連携事業に係る協定書】
観光サポーター育成事業	平成26年	平成27年度で終了
公衆無線LAN(Wi-Fi環境)整備事業	平成27年	
大田区公式観光サイトの運営	平成27年	
大田区観光情報センターの運営	平成27年	

## 観光課(続き)

事業名	開始年度	事業実施根拠・備考
大田区観光PR動画制作	平成28年	平成29年度で終了
国際都市おおたフェスティバルin「空の日」羽田	平成29年	平成29年度、国際都市・多文化共生推進課から事務移管 【国際都市おおたフェスティバルin「空の日」羽田実行委員会設置要綱】
大田の観光にぎわい創出事業補助金	平成29年	【大田の観光にぎわい創出事業補助金交付要綱】
大田区公式PRキャラクター「はねびよん」の活用	平成30年	平成30年度、総務課から事務移管
来訪者向け観光コンテンツ及び推奨ルートの造成	令和元年	令和元年度限り
ナイトタイムコンテンツによる地域にぎわい事業	令和2年	

## (2) 国際都市・多文化共生推進課

事業名	開始年度	事業実施根拠・備考
アメリカ合衆国セーラム市との交流の推進	平成3年	【セーラム市、ピーポディー・エセックス博物館親善訪問団派遣事業実施要綱】
中国北京市朝陽区等との交流の推進	平成10年	【日中青少年相互交流事業実施要綱】
多文化共生推進センター運営事業	平成23年	【大田区多文化共生推進センター条例】 平成30年度から一般財団法人国際都市おおた協会が実施
多文化共生のネットワークづくり	平成23年	【大田区多文化共生推進協議会設置要綱】、【大田区立山王会館内国際交流施設等の設置及び管理運営要綱】ほか
国際都市事業	平成23年	【国際都市連携調整会議設置要綱】、【国際都市おおた大使設置要綱】
交流事業費（その他の海外都市との交流）	平成24年	
カナダ国プリンス・エドワード島州との交流の推進	平成27年	平成30年度から交流事業費（その他の海外都市との交流）に含む
一般財団法人国際都市おおた協会の運営	平成30年	【一般財団法人国際都市おおた協会定款】 平成29年12月設立

## (3) 文化振興課

事業名	開始年度	事業実施根拠・備考
平和都市宣言記念事業	昭和59年	【大田区平和都市宣言記念事業「花火の祭典」実施要綱】 花火の打ち上げは昭和62年度から実施 平成9年度より花火の祭典とする
大田区文化振興協会の運営	昭和62年	昭和62年7月創立
文化施設管理運営	昭和62年	区民プラザ昭和62年10月31日開設
OTAふれあいフェスタ	平成2年	開始当初の名前は「OTA夢博'90」 平成4年度から現在の事業名になった
地域間交流事業	平成8年	長野県東御市（当時は東部町）と友好都市提携協定締結 秋田県美郷町とは平成17年度に締結 宮城県東松島市とは平成28年度に締結
大田区民ホール等管理運営	平成10年	
区民ギャラリー	平成20年	
大森 海苔のふるさと館管理運営	平成20年	
地域文化の振興	平成23年	平成29年度から大田区伝統工芸士認定制度開始
勝海舟記念館の整備・運営	令和元年	【大田区立勝海舟記念館条例】 令和元年9月7日開館

#### (4) スポーツ推進課

事業名	開始年度	事業実施根拠・備考
区民スポーツ大会	昭和22年	
都民体育大会等代表者派遣	昭和22年	
(公財)大田区スポーツ協会	昭和23年	【公益財団法人大田区スポーツ協会定款】 平成25年に財団法人から公益財団法人へ変更 令和元年5月1日から(公財)大田区体育協会から(公財)大田区スポーツ協会へ名称変更
スポーツ推進委員	昭和32年	【大田区スポーツ推進委員に関する要綱】 平成23年に社会体育指導員からスポーツ推進委員へ名称変更
成人スポーツ教室	昭和36年	
寿ハイキング	昭和49年	
小・中学生スポーツ教室	昭和52年	
スポーツ推進審議会	昭和58年	【大田区スポーツ推進審議会条例】
障がい者スポーツ教室	昭和59年	
区民スポーツまつり	昭和59年	
ラジオ体操指導者養成講習会	昭和61年	
大田スタジアム	平成7年	平成7年7月開設、平成30年度大規模改修工事に伴い条例廃止 新たな【大田スタジアム条例】を、令和元年7月1日から施行
大森スポーツセンター	平成9年	【大田区立大森スポーツセンター条例】
障がい者水泳指導者講習会	平成10年	
スポーツ健康都市宣言	平成24年	平成24年6月30日の大田区総合体育館開館に合わせて宣言を行った
OTAウォーキング	平成24年	「歩こう会」をリニューアルして、スポーツ健康都市記念事業として実施
大田区総合体育館	平成24年	【大田区総合体育館条例】
地域スポーツクラブ	平成26年	【大田区総合型地域スポーツクラブ等支援要綱】
おおたスポーツ健康フェスタ	平成26年	6月30日の宣言日にちなんだ記念事業として実施
ユニバーサルスポーツ	平成27年	
大田区オリンピック・パラリンピックアクションプログラムにおけるトップアスリート等派遣事業実施要綱	平成27年	【大田区オリンピック・パラリンピックアクションプログラムにおけるトップアスリート等派遣事業実施要綱】
ホッケー競技体験会	平成28年	平成27年9月に、東京2020オリンピック競技大会のホッケー競技が区内会場で開催となったことを受けて実施
大田区スポーツ全国大会等出場奨励事業	平成28年	【大田区スポーツ全国大会等出場奨励金実施要綱】
新スポーツ健康ゾーン活性化事業	平成29年	
スポーツ推進広報事業	平成30年	
ブラジル選手団の事前キャンプ・合宿の受入れ	平成30年	平成29年6月に、東京2020オリンピックに出場するブラジル選手団の事前キャンプ受入れに関する覚書を締結したことを受けて実施
おおたウエルカムボランティア事業	平成30年	
東京2020レガシー事業	令和2年	









## HOST CITY

大田区は東京 2020 オリンピック・パラリンピックを応援しています

Compass 2020

観光・国際都市部 事業概要

令和2年7月発行

編集：大田区観光・国際都市部観光課

〒144-8621

東京都大田区蒲田 5-13-14

電話：03-5744-1322

FAX：03-5744-1323